

常 総 市

竈 沼 遺 跡  
竈 場 遺 跡

県道取手豊岡線バイパス整備  
事業地内埋蔵文化財調査報告書

令和 7 年 3 月

茨城県常総工事事務所  
公益財団法人茨城県教育財団



茨城県教育財団文化財調査報告第480集

常 総 市  
かご ぬま  
竈 沼 遺 跡  
かご ば  
竈 場 遺 跡

県道取手豊岡線バイパス整備  
事業地内埋蔵文化財調査報告書

令和 7 年 3 月

茨城県常総工事事務所  
公益財団法人茨城県教育財団



## 序

公益財団法人茨城県教育財団は、国や県などの各事業者からの委託を受けて埋蔵文化財の調査と整理作業を実施する組織として、昭和52年に調査課を設置して以来、数多くの遺跡の調査を実施し、その成果として調査報告書を刊行してきました。

この度、茨城県常総工事事務所による県道取手豊岡線バイパス整備事業に伴って実施した、常総市箆沼遺跡・箆場遺跡の調査報告書を刊行する運びとなりました。

今回の調査によって、縄文・奈良・平安・江戸時代の集落跡や墓域を確認し、遺跡の一端が明らかになりました。特に箆沼遺跡で確認した縄文時代の地点貝塚と奈良・平安時代の火葬墓は、当時の生活と墓制などを知る上で、貴重な資料となります。

本書が、歴史研究の学術資料としてはもとより、郷土の歴史に対する理解を深め、教育・文化の向上のための資料として、広く活用いただければ幸いです。

最後になりますが、調査から本書の刊行に至るまで、多大な御協力を賜りました委託者であります茨城県常総工事事務所に対し、厚く御礼申し上げますとともに、茨城県教育委員会、常総市教育委員会をはじめ、御指導、御協力をいただきました関係各位に対し、心から感謝申し上げます。

令和7年3月

公益財団法人茨城県教育財団

理事長 森 作 宜 民



## 例 言

- 1 本書は、茨城県常総工事事務所の委託により、公益財団法人茨城県教育財団が令和4年度に調査を実施した、茨城県常総市坂手町字籠場 2893 番地2ほかに所在する竈沼遺跡と同市坂手町字籠場 2907 番地2ほかに所在する竈場遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 調査期間と整理期間は以下のとおりである。  
調査 令和4年8月1日～10月31日  
整理 令和6年11月1日～令和7年2月28日
- 3 調査は、調査課長駒澤悦郎のもと、首席調査員兼班長塙厚宜、次席調査員山崎絵美子、調査員萩原宏季が担当した。
- 4 整理と本書の執筆・編集は、整理課長櫻井完介のもと、嘱託調査員島田和宏が担当した。
- 5 本書の作成にあたり、蔵骨器内焼成人骨の鑑定については、国立科学博物館人類研究部の梶ヶ山眞里氏、坂上和弘氏に指導いただいた。金属製品のX線写真撮影と地点貝塚の貝層土壌科学分析は、バリノ・サーヴェイ株式会社に委託した。結果については付章で掲載した。
- 6 当遺跡の出土遺物と実測図・写真などは、茨城県埋蔵文化財センターで保管している。

## 凡 例

- 1 当遺跡の地区設定は、日本平面直角座標第Ⅸ区座標に準拠し、X = + 2,800 m、Y = + 10,600 mの交点を基準点（I A 1 a1）とした。なお、この原点は、世界測地系（測地成果 2011）による基準点である。

この基準点を基に県遺跡地図（2024）に基づく遺跡範囲全てを包括するように東西・南北に各々400 m四方の大調査区に分割し、さらに、この大調査区を東西・南北に各々10等分し、40 m四方の中調査区を設定した。さらに、この中調査区を東西・南北に各々10等分し、4 m四方の小調査区を設定した。

大調査区の名称は、ローマ数字を用い、Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ・・・と呼称し、中調査区の名称は、アルファベットと算用数字を用い、北から南へA、B、C・・・、西から東へ1、2、3・・・とし、「A1区」のように呼称した。さらに小調査区は、北から南へa、b、c・・・j、西から東へ1、2、3、・・・0と小文字を付し、名称は、大調査区・中調査区の名称を冠して「I A 1 a1区」のように呼称した。

- 2 実測図、遺構・遺物一覧などで使用した記号は、次のとおりである。

遺構 P-ピット PG-ピット群 SA-柱穴列 SB-掘立柱建物跡 SD-溝跡 SE-井戸跡  
SI-竪穴建物跡 SK-土坑 SX-不明遺構  
土層 K-撹乱

- 3 遺構・遺物実測図の作成方法については、次のとおりである。

- (1) 遺構全体図は400分の1、各遺構の実測図は原則として60分の1の縮尺とした。種類や大きさにより異なる場合は、個々に縮尺をスケールで表示した。  
(2) 遺物実測図は、原則として3分の1の縮尺とした。種類や大きさにより異なる場合は、個々に縮尺をスケールで表示した。  
(3) 遺構・遺物実測図中の表示は、次のとおりである。

 焼土・貝層・施釉・灰釉・灰釉陶器断面・被熱痕  
 炉・火床面・黒色処理・鉄釉・繊維土器断面  
 竪穴硬地部分  
 須恵器断面  
● 土器 □ 石器 △ 金属製品 - - - 硬化面

- 4 土層解説と遺物における色調の判定は、『新版標準土色帖』（小山正忠・竹原秀雄編著 日本色研事業株式会社）を使用した。また、土層解説中の含有物の量、粘性・締まりの表示は、次のとおりである。

ローム・ロームブロック 焼土・焼土ブロック 粘土・粘土ブロック

A-多量 B-中量 C-少量 D-微量 O'-極めて

サイズは「大・中・小・粒」で、炭化物については「材・物・粒」で表記した。

粘-粘性 締-締まり

A-強い B-普通 C-弱い O'-極めて

- 5 遺構・遺物一覧の表記は、次のとおりである。

- (1) 計測値の単位はm、cm、gで示した。なお、現存値は（ ）を、推定値は[ ]を付して示した。  
(2) 遺構番号は遺構ごとの通し番号とし、本文、挿図、遺物一覧、写真図版に記した番号と同一とした。  
(3) 遺物一覧の備考欄は、残存率、写真図版番号とその他必要と思われる事項を記した。

- 6 竪穴建物跡の「主軸」は、炉・竪穴を通る軸線とし、主軸方向は、その他の遺構の長軸（径）方向と共に、座標北からみて、どの方向にどれだけ振れているかを角度で表示した（例 N-10°-E）。

- 7 調査・整理の段階で遺構名を変更したものと、欠番にしたものは以下のとおりである。

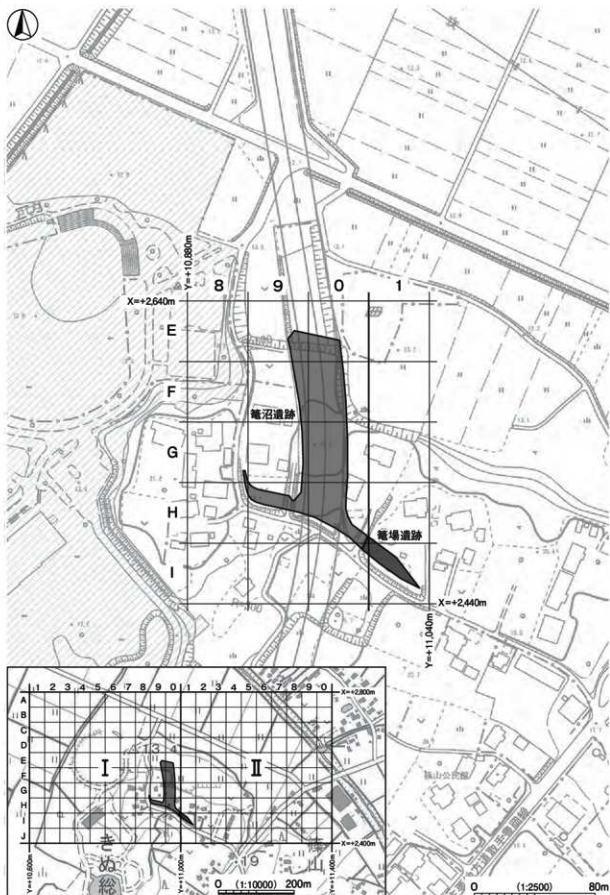
施沼遺跡 変更 SI 5→SK107、SB 1・SK11・33・35→40・42→PG 1、SB 3→SA 5  
SK34・41→SB 4、SK52→61・65→PG 3、SK66→第1号火葬墓  
SA 1・PG 1→PG 2、SA 2・SK86→PG 4、IS 1→SX 1

欠番 SK15・98

施場遺跡 変更 IS 1→SX 1

# 目 次

|                 |             |
|-----------------|-------------|
| 序               |             |
| 例 言             |             |
| 凡 例             |             |
| 目 次             |             |
| 第1章 調査経緯        | 1           |
| 第1節 調査に至る経緯     | 1           |
| 第2節 調査経過        | 1           |
| 第2章 位置と環境       | 2           |
| 第1節 位置と地形       | 2           |
| 第2節 歴史的環境       | 2           |
| 第3章 竈沼遺跡        | 6           |
| 第1節 調査の概要       | 6           |
| 第2節 基本層序        | 6           |
| 第3節 遺構と遺物       | 7           |
| 1 縄文時代の遺構と遺物    | 7           |
| (1) 堅穴建物跡       | 7           |
| (2) 土 坑         | 18          |
| (3) 不明遺構        | 19          |
| 2 奈良・平安時代の遺構と遺物 | 21          |
| (1) 堅穴建物跡       | 21          |
| (2) 火葬墓         | 31          |
| (3) 土 坑         | 31          |
| 3 江戸時代の遺構と遺物    | 32          |
| (1) 溝 跡         | 32          |
| (2) 井戸跡         | 34          |
| 4 時期不明の遺構と遺物    | 35          |
| (1) 掘立柱建物跡      | 35          |
| (2) 溝 跡         | 37          |
| (3) 柱穴列         | 38          |
| (4) 土 坑         | 39          |
| (5) ビット群        | 49          |
| 5 遺構外出土遺物       | 50          |
| 第4章 竈場遺跡        | 52          |
| 第1節 調査の概要       | 52          |
| 第2節 遺構と遺物       | 52          |
| 1 縄文時代の遺構と遺物    | 52          |
| (1) 堅穴建物跡       | 52          |
| (2) 不明遺構        | 53          |
| 2 時期不明の遺構と遺物    | 54          |
| (1) 溝 跡         | 54          |
| (2) 柱穴列         | 55          |
| (3) 土 坑         | 55          |
| 3 遺構外出土遺物       | 58          |
| 第5章 総 括         | 59          |
| 付 章 自然科学分析      | 61          |
| 写真図版            | PL 1 ~ PL12 |
| 抄 録             |             |
| 付 図             |             |



第1図 龍沼遺跡・龍場遺跡調査区設定図（常総市都市計画図2,500分の1に加筆）

# 第1章 調査経緯

## 第1節 調査に至る経緯

平成26年5月29日、茨城県常総工事事務所長は、茨城県教育委員会教育長あてに、県道取手豊岡線バイパス整備事業地内における埋蔵文化財の所在の有無とその取扱いについて照会した。これを受けて、茨城県教育委員会は平成26年9月29日に現地踏査を、令和2年7月10日、8月3日、10月29日に試掘調査を実施し、遺跡の所在を確認した。令和2年12月8日、茨城県教育委員会教育長は、茨城県常総工事事務所長あてに、事業地内に施沼遺跡・竜場遺跡が存在することと、その取扱いについて別途協議が必要であることを回答した。

令和4年3月1日、茨城県常総工事事務所長は、茨城県教育委員会教育長あてに文化財保護法第94条に基づく土木工事の通知を提出した。令和4年3月28日、茨城県教育委員会教育長は、茨城県常総工事事務所長あてに現状保存が困難であることから、記録保存のための調査が必要であると決定し、工事着手前に調査を実施するよう通知した。

令和4年4月28日、茨城県常総工事事務所長は、茨城県教育委員会教育長あてに県道取手豊岡線バイパス整備事業に係る埋蔵文化財調査の実施について協議書を提出した。令和4年5月19日、茨城県教育委員会教育長は、発掘調査の範囲と面積などについて回答し、併せて調査機関として公益財団法人茨城県教育財団を紹介した。

公益財団法人茨城県教育財団は、茨城県常総工事事務所長から埋蔵文化財発掘調査事業について委託を受け、令和4年8月1日から10月31日まで調査を実施した。

## 第2節 調査経過

施沼遺跡・竜場遺跡の調査は、令和4年8月1日から10月31日までの3か月間にわたって実施した。以下、その概要を表で記載する。

| 工程                   | 期間 | 8月 | 9月 | 10月 |
|----------------------|----|----|----|-----|
| 調査準備<br>表土除去<br>遺構確認 |    |    |    |     |
| 遺構調査                 |    |    |    |     |
| 遺物洗浄<br>注記<br>写真整理   |    |    |    |     |
| 補足調査<br>撤収           |    |    |    |     |

施沼遺跡
  竜場遺跡

## 第2章 位置と環境

### 第1節 位置と地形

竜沼遺跡は、茨城県常総市坂手町字龍場 2893 番地 2 ほかに、竜場遺跡は、同市坂手町字龍場 2907 番地 2 ほかに所在している。

両遺跡が所在する常総市は、県の南西部に位置し、市の東部を小貝川、中央部を鬼怒川と東仁連川、西部を飯沼川が南北に流れている。東部には沖積低地が開け、西部に台地が発達している。東部の低地は、約 2 万年前の海退期に、現在の小貝川・利根川の河道を流れていたとされる古鬼怒川が、古東京湾の堆積物である成田層群を開析して形成されたものである。約 8,000 ～ 5,000 年前の縄文海進期には、海水面上昇し、河谷に沿って海が侵入していたと考えられ、この低地の堆積層は鬼怒川・小貝川の氾濫原に堆積した標高約 12 m の沖積層からなり、河川堆積物である砂礫層や、小貝川や鬼怒川の氾濫時に形成された厚い泥炭層の堆積が見られる。西部の台地は、結城市から常総市にかけての結城台地と、利根川に平行して古河市方面から取手市に伸びる猿島台地で形成されている。猿島台地は、鬼怒川と飯沼川により開析された標高 20 ～ 24 m の平坦で比較的起伏の少ない台地で、古東京湾に堆積した成田層を基盤とし、竜ヶ崎砂礫層、常総粘土層、関東ローム層の層順が観察できる<sup>1)</sup>。

両遺跡は、鬼怒川と飯沼川に挟まれた、標高約 18 ～ 21 m の台地の縁辺部に位置している。台地は低地からの小支谷が樹枝状に入り込む複雑な地形を呈している。両遺跡の立地する台地の北縁は、土取りのために掘削されている。台地上と低地との比高差は約 7 m で、調査前の現況は宅地と畑地である。

### 第2節 歴史的環境

両遺跡が位置する台地上には、鬼怒川や飯沼川、その支流の河川によって浸食された谷が複雑に入り込み、河川や谷津に面した台地縁辺部を中心に多くの遺跡が確認されている。

旧石器時代の遺跡は、常総市内で 9 遺跡が知られている。いずれも、表面採集されたものや他の時代の遺構の覆土から出土したものである。

縄文時代の両遺跡周辺は、土器や貝が散布するところとして古くから知られ、早期から後期までの遺跡が確認されている。両遺跡と旧古谷沼を挟んだ対岸の台地上に位置する奥山下根遺跡<sup>2)</sup>では、早期末葉の炉穴 19 基、早期末葉を中心とする土坑 37 基が確認されている。また、隣接する奥山 C 遺跡<sup>3)</sup>では、早期中葉から末葉にかけての集石遺構 15 基、早期末葉の炉穴 6 基、土坑 65 基が確認されている。ほかに篠山遺跡<sup>4)</sup>、北呂山遺跡<sup>5)</sup>、山神戸遺跡<sup>6)</sup>、野口遺跡<sup>7)</sup>、西浦遺跡<sup>8)</sup>、竜場遺跡<sup>9)</sup>などが周知されており、河川や低地を望む台地の縁辺部だけではなく谷津沿いでも当期の遺跡が確認されている。前期の遺跡は、両遺跡の西方 1 km ほどもに位置する貝置西遺跡<sup>10)</sup>、貝置前沼遺跡<sup>11)</sup>、貝置東遺跡<sup>12)</sup>などのほかに、前沼遺跡<sup>13)</sup>、飯田山遺跡<sup>14)</sup>、竜ヶ崎遺跡<sup>15)</sup>、宿遺跡<sup>16)</sup>、弁天遺跡<sup>17)</sup>などが周知されており、早期と同じ立地に集落が営まれている。中期の遺跡としては、前述の遺跡のほかに中諏訪ノ入遺跡<sup>18)</sup>、諏訪ノ入遺跡<sup>19)</sup>、本郷遺跡<sup>20)</sup>、館下遺跡<sup>21)</sup>などが周知されている。後期以降になると遺跡数は減少していく。

弥生時代の遺跡は、弥生土器片が採集された吹上西遺跡、貝置前沼遺跡、本郷南志辺遺跡〈43〉の3遺跡で、現在のところ集落跡は確認されていない。

古墳時代前期の遺跡は、奥山A遺跡で堅穴建物跡3棟が確認されており、土師器と弥生土器が共存している。また、中諏訪ノ入遺跡<sup>4)</sup>で堅穴建物跡24棟、奥山下根遺跡で堅穴建物跡2棟が確認されている。後期は、本郷南志辺遺跡<sup>5)</sup>で堅穴建物跡6棟が確認され、そのうち1棟は一辺が9mの大型堅穴建物跡である。また、西原遺跡で堅穴建物跡15棟と土坑4基が、本郷西遺跡<sup>6)</sup>〈41〉で堅穴建物跡2棟が、古谷A遺跡<sup>7)</sup>〈48〉で堅穴建物跡6棟が、古谷東遺跡<sup>8)</sup>〈36〉で堅穴建物跡5棟が、それぞれ確認されている。古墳は市内に78基存在し、その多くが台地の縁辺部に築かれている。鉾崎遺跡〈22〉内に位置する鉾崎古墳群〈23〉では円墳2基が確認されており、戦時中石棺が発見され直刀や玉類などが出土している。また、萱場遺跡内の市立絹西小学校グラウンドから箱式石棺が発見されている。

奈良・平安時代になると、律令国家の成立と地方の国郡制の整備を背景に集落の再編が進み、両遺跡が位置する坂手地区と両遺跡の南に位置する内守谷地区は、下総国相馬郡相馬郷に属したと考えられている。内守谷地区では、近年の大型開発に伴い発掘調査が行われ、当時の様相が明らかになってきている。本郷南志辺遺跡では、一辺が8mを超える8世紀後半の大型堅穴建物跡から円面硯が出土している。隣接する本郷西遺跡では、8世紀後半から10世紀前半の堅穴建物跡が4棟確認されており、青銅製の鈎帯金具（巡方）や鉄滓が出土している。また、隣の畑地からは青銅製の巡方1点と丸鋸2点、羽口が採取されていることから、鍛冶関連や公的建物の遺構が存在する可能性がある。さらに、古谷A遺跡では、10世紀代の堅穴建物跡6棟と土坑7基がセットになった鍛冶関連遺構が確認されている。また、中諏訪ノ入遺跡でも同時期の堅穴建物跡8棟が確認され、鉄滓などの鍛冶関連遺物が出土しており、本郷西遺跡や古谷A遺跡との関連が指摘されている。10世紀以降は常陸平氏を中心に、平将門の一族と他氏族間の抗争の地となり、数多くの伝説が残されている。

中世の当地は下妻城主多賀谷氏の所領となり、関ヶ原の戦い以降には天領として、関東郡代伊奈氏の支配地となった<sup>9)</sup>。城館跡は、堀跡や土塁の一部が現存する大塚戸城址（33）、菅生城址（38）が知られている。特に、菅生城址<sup>10)</sup>は、半島状の台地を堀で分断し、直線的な曲輪を配置した連郭式の丘城であったが、天正期には後北条氏の影響のもと増強・改築が行われ、強固な城へと変容していった。

※ 本章は、既刊の『茨城県教育財団文化財調査報告』を参照し、加筆したものである。また、文中の〈 〉内の番号は、第2図と第1表の該当番号と同じである。

#### 註

- 1) 水海道市史編さん委員会 1983年『水海道市史 上巻』水海道市
- 2) 高村勇 1985年『水海道都市計画事業・内守谷土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書1 奥山B遺跡・奥山下根遺跡』『茨城県教育財団文化財調査報告』第29集
- 3) 小河邦男 1986年『水海道都市計画事業・内守谷土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書2 奥山A遺跡・奥山C遺跡・西原遺跡』『茨城県教育財団文化財調査報告』第31集
- 4) 松田政基 2014年『中諏訪ノ入Ⅱ遺跡』『常総市埋蔵文化財発掘調査報告』常総市教育委員会
- 5) 高野浩之 2007年『本郷南志辺遺跡』『常総市埋蔵文化財発掘調査報告』常総市教育委員会
- 6) 高野浩之 2007年『本郷西遺跡』『常総市埋蔵文化財発掘調査報告』常総市教育委員会
- 7) 小川和博ほか 2012年『古谷A遺跡』『常総市埋蔵文化財発掘調査報告』常総市教育委員会
- 8) 岩瀬勝彦ほか 2005年『古谷北・古谷東遺跡』『水海道市埋蔵文化財発掘調査報告書』水海道市教育委員会

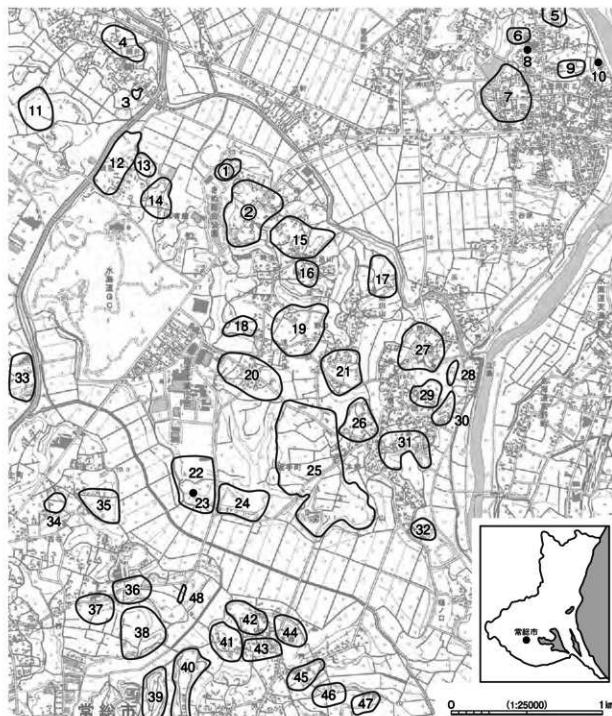
9) 市村正二ほか 1987 年「茨城県風土記」旺文社

10) 福山俊彰 2007 年「菅生城址」『常総市埋蔵文化財発掘調査報告』常総市教育委員会

#### 参考文献

・茨城県教育庁文化課編 2024 年「茨城県遺跡地図」茨城県教育委員会

・水海道市埋蔵文化財総合調査会 1992 年「水海道市埋蔵文化財包蔵地分布地図」水海道市埋蔵文化財調査報告書 1 水海道市教育委員会



第2図 籠沼遺跡・籠場遺跡周辺遺跡分布図(国土地理院 25,000 分の 1「水海道」[守谷]に加筆)

第1表 竈沼遺跡・竈場遺跡周辺遺跡一覧（茨城県遺跡地図一部改編）

| 番号 | 遺 跡 名       | 時 代         |             |             |        |           |           | 番号 | 遺 跡 名       | 時 代         |             |             |        |           |           |
|----|-------------|-------------|-------------|-------------|--------|-----------|-----------|----|-------------|-------------|-------------|-------------|--------|-----------|-----------|
|    |             | 旧<br>石<br>器 | 縄<br>文<br>器 | 弥<br>生<br>墳 | 古<br>墳 | 奈良・<br>平安 | 鎌倉・<br>桃山 |    |             | 旧<br>石<br>器 | 縄<br>文<br>器 | 弥<br>生<br>墳 | 古<br>墳 | 奈良・<br>平安 | 鎌倉・<br>桃山 |
| ①  | 竈 沼 遺 跡     |             | ○           |             | ○      | ○         | ○         | 25 | 萱 場 遺 跡     |             | ○           |             | ○      | ○         |           |
| ②  | 竈 場 遺 跡     |             | ○           |             | ○      |           |           | 26 | 本 郷 遺 跡     |             | ○           |             |        |           |           |
| 3  | 細 井 遺 跡     |             | ○           |             |        | ○         |           | 27 | 宿 遺 跡       |             | ○           |             |        |           |           |
| 4  | 下 田 台 遺 跡   |             | ○           |             |        | ○         |           | 28 | 弁 天 遺 跡     | ○           | ○           |             |        |           |           |
| 5  | 稲 荷 山 遺 跡   | ○           | ○           |             |        |           |           | 29 | 嶋 遺 跡       |             | ○           |             |        |           |           |
| 6  | 下 宿 北 遺 跡   |             | ○           |             |        |           |           | 30 | 岡ノ内遺跡       |             | ○           |             |        | ○         |           |
| 7  | 大 目 台 遺 跡   |             | ○           |             | ○      | ○         |           | 31 | 稲 荷 本 郷 遺 跡 |             | ○           |             | ○      | ○         |           |
| 8  | 横曾根下宿古墳     |             |             |             | ○      |           |           | 32 | 日 王 神 遺 跡   | ○           | ○           |             |        |           |           |
| 9  | 下宿屋敷遺跡      |             | ○           |             |        |           |           | 33 | 大 塚 戸 城 址   |             |             |             |        |           | ○         |
| 10 | 前原志部古墳群     |             |             |             | ○      |           |           | 34 | 古 谷 北 遺 跡   |             | ○           |             |        |           | ○         |
| 11 | 前 沼 遺 跡     |             | ○           |             | ○      |           |           | 35 | 初 戸 遺 跡     |             | ○           |             | ○      | ○         |           |
| 12 | 貝 置 西 遺 跡   |             | ○           |             | ○      |           |           | 36 | 古 谷 東 遺 跡   |             | ○           |             | ○      | ○         | ○         |
| 13 | 貝 置 前 沼 遺 跡 |             | ○           | ○           | ○      |           |           | 37 | 古 谷 南 遺 跡   |             | ○           |             | ○      | ○         |           |
| 14 | 貝 置 東 遺 跡   |             | ○           |             |        |           |           | 38 | 菅 生 城 址     |             | ○           |             |        | ○         | ○         |
| 15 | 篠 山 遺 跡     |             | ○           |             |        |           |           | 39 | 中 原 訪ノ入遺跡   |             | ○           |             | ○      | ○         |           |
| 16 | 北 呂 山 遺 跡   |             | ○           |             | ○      |           |           | 40 | 諏 訪 入 遺 跡   |             | ○           |             | ○      | ○         |           |
| 17 | 飯 田 山 遺 跡   |             | ○           |             |        |           |           | 41 | 本 郷 西 遺 跡   |             |             |             | ○      | ○         |           |
| 18 | 山 神 戸 遺 跡   |             | ○           |             | ○      | ○         |           | 42 | 本 郷 遺 跡     |             | ○           |             | ○      | ○         |           |
| 19 | 野 口 遺 跡     |             | ○           |             |        |           |           | 43 | 本郷南志込遺跡     |             |             | ○           | ○      | ○         |           |
| 20 | 新 田 遺 跡     |             | ○           |             |        | ○         |           | 44 | 館 下 遺 跡     |             | ○           |             | ○      | ○         |           |
| 21 | 西 浦 遺 跡     |             | ○           |             | ○      |           |           | 45 | 北 向 梅 遺 跡   |             | ○           |             | ○      | ○         |           |
| 22 | 鋸 崎 遺 跡     |             |             |             | ○      |           |           | 46 | 諏 訪 下 遺 跡   |             | ○           |             | ○      | ○         |           |
| 23 | 鋸 崎 古 墳 群   |             |             |             | ○      |           |           | 47 | 駒 崎 遺 跡     |             | ○           |             |        |           |           |
| 24 | 竜ヶ崎遺跡       |             | ○           |             | ○      |           |           | 48 | 古 谷 A 遺 跡   |             | ○           |             | ○      | ○         |           |

## 第3章 籠 沼 遺 跡

### 第1節 調査の概要

籠沼遺跡は常総市の南部に位置し、鬼怒川右岸の標高約18～21mの台地に立地している。遺跡の地形は、台地上はほぼ平坦で、東側に位置する竈場遺跡との間には南側から谷津が入り込んでいる。台地上と低地との比高差は約7mである。調査面積は4,220㎡で、調査前の現況は宅地と畑地である。

調査の結果、竪穴建物跡11棟（縄文時代6、平安時代5）、掘立柱建物跡2棟（時期不明）、溝跡4条（江戸時代3、時期不明1）、井戸跡1基（江戸時代）、火葬墓1基（奈良時代）、柱穴列3条（時期不明）、土坑81基（縄文時代2、平安時代1、時期不明78）、ピット群4か所（時期不明）、不明遺構1か所（縄文時代）を確認した。

遺物は、遺物収納コンテナ（60×40×20cm）に13箱出土している。主な遺物は、縄文土器（深鉢）、土師器（坏・高台付坏・粗製鉢・甕）、須恵器（坏・短頸壺・甕）、灰釉陶器（瓶）、陶器（碗）、磁器（碗）、土師質土器（皿・播鉢・焙烙）、石器（剥片・磨石・凹石・砥石）、金属製品（刀子・小刀・釘・不明工具）、銭貨（寛永通寶）、製鉄関連遺物（鉄滓・流動滓・炉壁）、焼成人骨、自然遺物（貝殻）などである。

### 第2節 基本層序

調査区南部の平坦面（IH9a9区）にテストピットを設定し、基本土層（第3図）の観察を行った。

第Ⅰ層は、黒褐色を呈する表土層である。層厚は54～72cmである。

第Ⅱ層は、にぶい黄褐色を呈するローム層への漸移層で、粘性・締りとも弱い。層厚は8～20cmである。

第Ⅲ層は、黄褐色を呈するソフトローム層で、粘性・締りとも普通である。層厚は10～42cmである。

第Ⅳ層は、褐色を呈するハードローム層で、黒色粒子・赤色粒子を極めて微量に含み、粘性は強く、締りは極めて強い。層厚は4～20cmである。

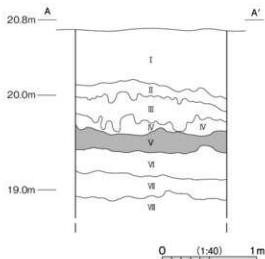
第Ⅴ層は、暗褐色を呈するハードローム層で、第2黒色帯に相当する。黒色粒子・赤色粒子を極めて微量に含み、粘性・締りとも強い。層厚は10～25cmである。

第Ⅵ層は、褐色を呈するハードローム層で、黒色粒子を極めて微量に含み、粘性・締りとも普通である。層厚は23～35cmである。

第Ⅶ層は、褐色を呈するハードローム層で、粘性・締りとも強い。層厚は16～30cmである。

第Ⅷ層は、褐色を呈するハードローム層で、粘性・締りとも強い。未掘のため、本来の層厚は不明である。

遺構は、第Ⅱ層の上面で確認した。



第3図 基本土層図（遺構全体図参照）

### 第3節 遺構と遺物

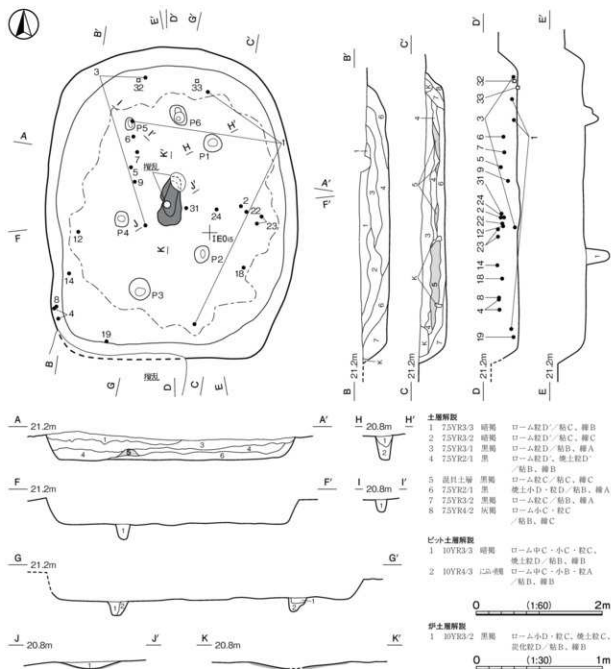
#### 1 縄文時代の遺構と遺物

竪穴建物跡6棟、土坑2基、不明遺構1か所を確認した。以下、遺構と遺物について記述する。

##### (1) 竪穴建物跡

##### 第2号竪穴建物跡（第4～7図 第2・3表 PL1・5・6）

位置 調査区北部のIE0h4区、標高21mほどの台地平坦部に位置している。



第4図 第2号竪穴建物跡実測図(1)

**規模と形状** 南部が攪乱のため確認できた規模は、長径4.95 m、短径4.00 mの楕円形で、主軸方向はN-1°-Eである。壁は高さ28～43cmで、外傾している。

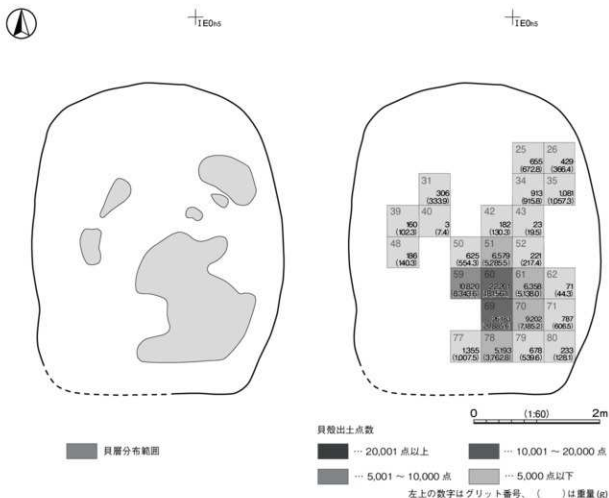
**床** 平坦で、壁際を除いて硬化している。

**炉** 中央部に位置している。長径76cm、短径37cmの不整楕円形で、深さ6cmほどの皿状を呈した地床炉である。炉床面は赤変硬化している。

**ピット** 6か所。P1～P6は深さ20～40cmで、配置から主柱穴と考えられる。覆土は人為堆積である。

**覆土** 8層に分層できる。ロームブロックを不均質に含むことから、人為堆積の可能性が高い。南東部から中央部にかけての覆土中層から、厚さ5～15cmでブロック状に堆積した貝層（第5層）を6か所確認した。

**遺物出土状況** 縄文土器片184点（深鉢）、石器2点（磨石、凹石）、礫4点（石英斑岩2、安山岩、石英）、貝殻94,000点以上（75,600.5 g）が出土している。ほかに混入した土師器片2点、須臾器片2点、土師質土器片1点が出土している。出土した土器の大半は、覆土中層の貝層（第5層）を中心に残存率の低い破片が散在した状態で出土している。1は北部と南部、3は北部と中央部の覆土下層から出土した破片が、それぞれ接合したものである。2・22・23は東部、4・8は南西コーナー際、5～7・9は中央部北西寄り、12・14は西壁寄り、18は南東部、24・31は中央部の覆土中層から、19は南壁際の覆土下層から、32・33は北部の床面からそれぞれ出土している。出土した貝殻は20種を確認した。主なものは、ヤマトシジミが93,323点（最小個体数47,933点）で最も多く、次いでアサリが692点（最小個体数357点）である（「付章 縄沼遺跡・竜場遺跡の自然科学分析」参照）。



第5図 第2号堅穴建物跡実測図(2)

所見 本跡を第6～8層で埋め戻した後、貝殻を廃棄したと考えられる。時期は、出土土器から前期前半（関山Ⅱ式期）と考えられる。

第2表 第2号竪穴建物跡出土貝殻集計表

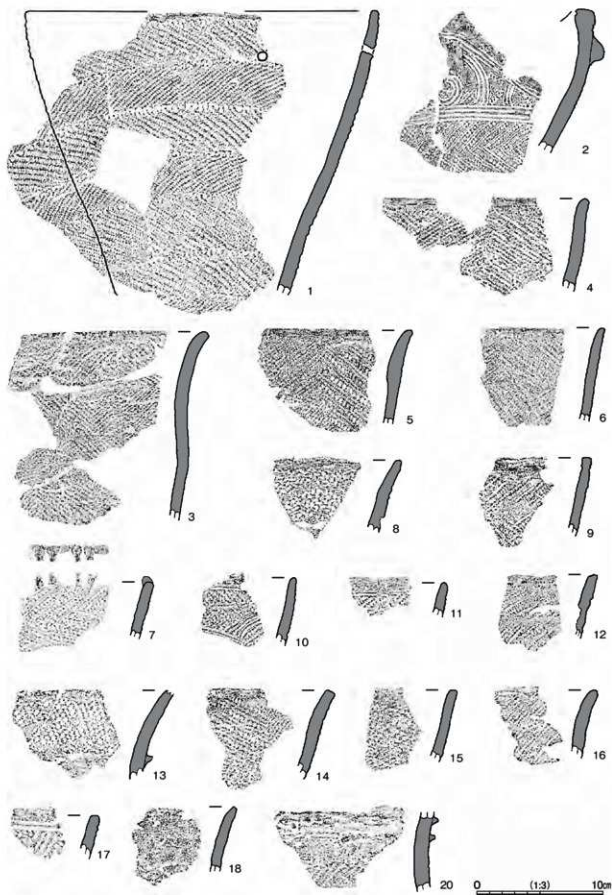
| 腹足綱       | 点 数    |        |        | 重 量 (g)  |          |         | 備考                       |
|-----------|--------|--------|--------|----------|----------|---------|--------------------------|
| アマオブネガイ科  | 3      |        |        | 0.0      |          |         | 0.005g 未満                |
| アマガイ      | 1      |        |        | 0.4      |          |         |                          |
| ウミミナ      | 24     |        |        | 22.5     |          |         |                          |
| オカチョウジガイ  | 5      |        |        | 0.0      |          |         | オカチョウジガイを<br>含む 0.05g 未満 |
| カワアイ      | 2      |        |        | 1.4      |          |         |                          |
| カワザンショウガイ | 20     |        |        | 0.0      |          |         | 0.05g 未満                 |
| コハクガイ科    | 6      |        |        | 0.0      |          |         | 0.05g 未満                 |
| ツブカワザンショウ | 2      |        |        | 0.0      |          |         | 0.005g 未満                |
| バイガイ      | 3      |        |        | 11.2     |          |         |                          |
| ヒロクチカノコ   | 4      |        |        | 6.2      |          |         |                          |
| フトヘナタリ    | 6      |        |        | 6.0      |          |         |                          |
| 腹足綱       | 103    |        |        | 0.3      |          |         |                          |
| 小計        | 179    |        |        | 48.0     |          |         |                          |
| 二枚貝綱      | 左殻     | 右殻     | 合計     | 左殻       | 右殻       | 不明      | 合計 備考                    |
| アサリ       | 357    | 335    | 692    | 624.8    | 605.0    | 118.6   | 1348.4                   |
| ウネナシトマガガイ | 8      | 12     | 20     | 0.1      | 0.2      | -       | 0.3                      |
| オオノガイ     | 1      | -      | 1      | 1.2      | -        | -       | 1.2                      |
| オキシジミ     | 4      | 1      | 5      | 12.3     | 3.7      | -       | 16.0                     |
| シオフキ      | 8      | 10     | 18     | 24.3     | 21.1     | 0.9     | 46.3                     |
| ヌマコダギガイ   | 24     | 28     | 52     | 0.2      | 0.4      | -       | 0.6                      |
| ハマダリ      | 32     | 33     | 65     | 133.6    | 146.4    | 2.3     | 282.3                    |
| マダキ       | 42     | 47     | 89     | 240.8    | 179.7    | 36.4    | 456.9 カキ類を含む             |
| ヤマトシジミ    | 45,399 | 47,933 | 93,332 | 33,269.2 | 35,645.7 | 3,974.7 | 72,889.6                 |
| 二枚貝綱      | -      | -      | -      | -        | -        | 236.2   | 236.2                    |
| 小計        | 45,866 | 48,399 | 94,265 | 34,306.5 | 36,692.2 | 4,369.1 | 75,277.8                 |
| 不明        | -      | -      | -      | -        | -        | 274.7   | 274.7 フジツボ類を含む           |
| 総合計       | 94,444 |        |        |          |          |         | 75,600.5                 |

※貝層は、遺構内を50cm四方に分割して土嚢袋に回収し、5mm・3mm・1mmの篩を通して水洗し選別した。

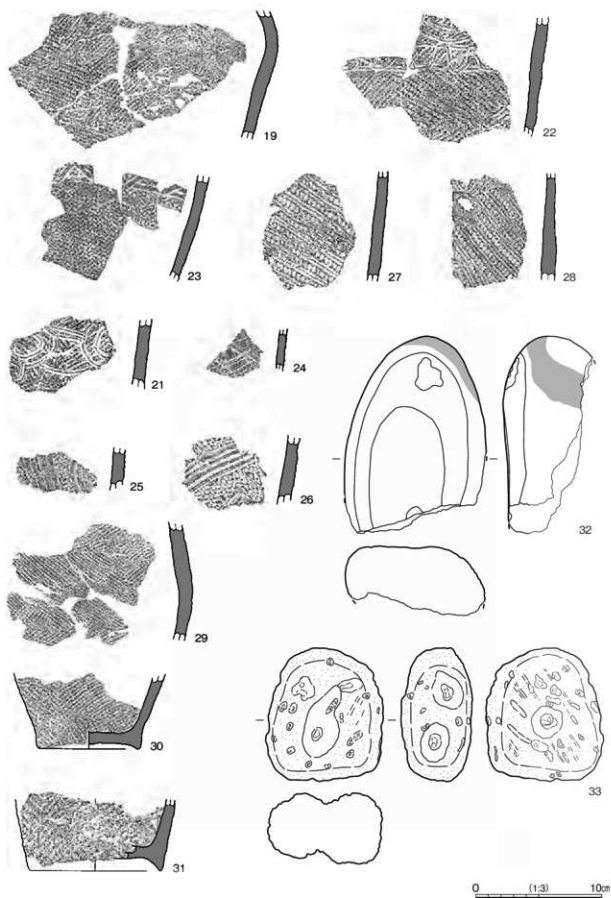
※破片のため貝種を特定できないものは不明とし、重量を掲載した。貝種が特定できても破片で左右の判別ができないものは、その貝種の不明の欄に重量を掲載した。

第3表 第2号竪穴建物跡出土遺物一覧（第6・7図）

| 番号 | 種 別  | 器種 | 口径     | 器高     | 底径 | 胎 土           | 色 調  | 焼成 | 特 徴                                   | 出土位置 | 備 考           |
|----|------|----|--------|--------|----|---------------|------|----|---------------------------------------|------|---------------|
| 1  | 縄文土器 | 深鉢 | [28.0] | (22.6) | -  | 長石・石英・赤色粘土・繊維 | 暗褐色  | 普通 | ループの付いた横位RLとLR 半胎縄文による羽状縄文。口縁部径6mmの孔。 | 覆土下層 | 10% PL.5 関山Ⅱ式 |
| 2  | 縄文土器 | 深鉢 | -      | (11.4) | -  | 長石・繊維         | 褐色   | 普通 | 横文直前段合熱縄文による羽状縄文。手載竹管による平行花縄文。        | 覆土中層 | 5% PL.5 関山Ⅱ式  |
| 3  | 縄文土器 | 深鉢 | -      | (15.1) | -  | 長石・石英・繊維      | 明赤褐色 | 普通 | 横位RLとLR 半胎縄文による羽状縄文。                  | 覆土下層 | 5% PL.5       |
| 4  | 縄文土器 | 深鉢 | -      | (7.4)  | -  | 長石・石英・赤色粘土・繊維 | 明赤褐色 | 普通 | 横位RLとLR 半胎縄文による羽状縄文。                  | 覆土中層 | 5% PL.5       |
| 5  | 縄文土器 | 深鉢 | -      | (7.4)  | -  | 長石・石英・繊維      | 明赤褐色 | 普通 | 直前段合熱縄文による羽状縄文。                       | 覆土中層 | 5% PL.5       |



第6图 第2号竖穴建物跡出土遺物実測図(1)



第7図 第2号竪穴建物跡出土遺物実測図(2)

| 番号 | 種 別  | 器種 | 口径 | 器高     | 底径     | 胎 土               | 色 調  | 装 成 | 特 徴                                 | 出土位置 | 備 考             |
|----|------|----|----|--------|--------|-------------------|------|-----|-------------------------------------|------|-----------------|
| 6  | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (7.5)  | —      | 長石・石英・繊維          | 褐    | 普通  | 単節縄文による羽状縄文                         | 覆土中層 | 5% PL.5         |
| 7  | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (5.1)  | —      | 長石・石英・繊維          | 褐    | 普通  | 口縁部に2個1単位の瘤状貼付け<br>地文直段合巻縄文による羽状縄文  | 覆土中層 | 5% PL.5<br>岡山Ⅲ式 |
| 8  | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (5.8)  | —      | 長石・石英・繊維          | にぶい褐 | 普通  | 組紐による縄文                             | 覆土中層 | 5% PL.5         |
| 9  | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (6.2)  | —      | 長石・石英・繊維          | 暗褐   | 普通  | 横位 RL と LR 単節縄文による羽状縄文              | 覆土中層 | 5% PL.5         |
| 10 | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (5.4)  | —      | 長石・石英・赤<br>色粘土・繊維 | 普通   | 普通  | 地文 LR 単節縄文による羽状縄文 半截竹管に<br>よる沈線文    | 覆土上層 | 5% PL.5<br>岡山Ⅲ式 |
| 11 | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (2.9)  | —      | 長石・石英・赤<br>色粘土・繊維 | 暗褐   | 普通  | 地文単節縄文による縄文 半截竹管による沈線<br>文          | 覆土   | 5% PL.5         |
| 12 | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (5.1)  | —      | 長石・石英・赤<br>色粘土・繊維 | 暗褐   | 普通  | LR 単節縄文による縄文                        | 覆土中層 | 5% PL.5         |
| 13 | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (7.1)  | —      | 長石・石英・繊維          | 明赤褐  | 普通  | 組紐縄文による縄文 熱土粒貼付け                    | 覆土上層 | 5% PL.5         |
| 14 | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (7.1)  | —      | 長石・石英・繊維          | 明赤褐  | 普通  | 直段合巻縄文による羽状縄文                       | 覆土中層 | 5% PL.6         |
| 15 | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (5.8)  | —      | 長石・石英・繊維          | にぶい褐 | 普通  | 組紐による縄文                             | 覆土上層 | 5% PL.6         |
| 16 | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (5.4)  | —      | 長石・石英・繊維          | 明赤褐  | 普通  | 横位 LR 単節縄文による縄文                     | 覆土   | 5% PL.6         |
| 17 | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (3.5)  | —      | 長石・石英・繊維          | 橙    | 普通  | 地文組紐による縄文 半截竹管による沈線文                | 覆土上層 | 5% PL.6<br>岡山Ⅲ式 |
| 18 | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (5.3)  | —      | 長石・石英・繊維          | にぶい褐 | 普通  | 無文                                  | 覆土中層 | 5% PL.6         |
| 19 | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (10.3) | —      | 長石・石英・赤<br>色粘土・繊維 | 明赤褐  | 普通  | RL 単節縄文による羽状縄文                      | 覆土下層 | 5% PL.6         |
| 20 | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (6.4)  | —      | 長石・石英・繊維          | 褐    | 普通  | 地文口段多基 LR 縄文による縄文 熱土粒貼付<br>けによる段帯2条 | 覆土   | 5% PL.6         |
| 21 | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (5.6)  | —      | 長石・石英・赤<br>色粘土・繊維 | 褐    | 普通  | 地文 RL 単節縄文による羽状縄文 半截竹管に<br>よる平行沈線文  | 覆土上層 | 5% PL.6<br>岡山Ⅲ式 |
| 22 | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (9.5)  | —      | 長石・石英・赤<br>色粘土・繊維 | 褐    | 普通  | 地文 RL 単節縄文による羽状縄文 半截竹管に<br>よる沈線文    | 覆土中層 | 5% PL.6<br>岡山Ⅲ式 |
| 23 | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (8.5)  | —      | 長石・石英・繊維          | 褐    | 普通  | 地文組紐による縄文 半截竹管による沈線文                | 覆土中層 | 5% PL.6<br>岡山Ⅲ式 |
| 24 | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (3.5)  | —      | 長石・石英・赤<br>色粘土・繊維 | 暗赤褐  | 普通  | 半截竹管による平行沈線文                        | 覆土中層 | 5% PL.6<br>岡山Ⅲ式 |
| 25 | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (3.5)  | —      | 長石・石英・繊維          | 褐    | 普通  | 地文組紐による縄文 半截竹管による平行沈線<br>文          | 覆土   | 5% PL.6<br>岡山Ⅲ式 |
| 26 | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (5.5)  | —      | 長石・石英・繊維          | 明赤褐  | 普通  | 地文組紐による縄文 半截竹管による平行沈線<br>文          | 覆土上層 | 5% PL.6<br>岡山Ⅲ式 |
| 27 | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (8.8)  | —      | 長石・石英・繊維          | 橙    | 普通  | 直段合巻縄文による縄文                         | 覆土   | 5% PL.6         |
| 28 | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (8.6)  | —      | 長石・石英・繊維          | 灰褐   | 普通  | 直段合巻縄文による羽状縄文                       | 覆土   | 5% PL.6         |
| 29 | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (9.4)  | —      | 長石・石英・赤<br>色粘土・繊維 | 赤褐   | 普通  | 横位 RL と LR 単節縄文による羽状縄文              | 覆土上層 | 5% PL.6         |
| 30 | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (6.0)  | 8.0    | 長石・石英・繊維          | 明赤褐  | 普通  | 横位 RL と LR 単節縄文による羽状縄文              | 覆土   | 5%              |
| 31 | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (5.7)  | [10.4] | 長石・石英・繊維          | 明赤褐  | 普通  | 横位 RL と LR 単節縄文による羽状縄文              | 覆土中層 | 5%              |

| 番号 | 器 種 | 長さ     | 幅      | 厚さ    | 重量      | 材 質    | 特 徴       | 出土位置 | 備 考  |
|----|-----|--------|--------|-------|---------|--------|-----------|------|------|
| 32 | 磨石  | (15.6) | (11.4) | (7.1) | 1,380.0 | 石英斑岩   | 表面磨痕 側面被熱 | 床面   | PL.6 |
| 33 | 門石  | 10.5   | 9.3    | 5.7   | 542.48  | 多孔質安山岩 | 表面磨痕      | 床面   | PL.6 |

#### 第4号竪穴建物跡（第8図 第4表 PL.1・7）

**位置** 調査区北部の I E 0 j l 区、標高 21 m ほどの台地平坦部に位置している。

**規模と形状** 長径 3.10 m、短径 2.75 m の楕円形で、主軸方向は N - 75° - W である。壁は高さ 9 ~ 17 cm で、外傾している。

**床** 平坦で、東部と西部が硬化している。

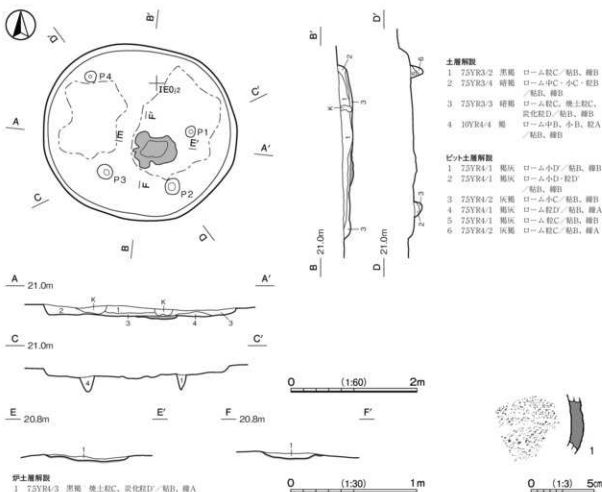
**炉** 中央部のやや南東寄りに位置している。長軸 70 cm、短軸 58 cm の不整形で、深さ 5 cm の皿状を呈した地床炉である。炉床面は赤変硬化している。

**ピット** 4 か所。P.1 ~ P.3 は深さ 12 ~ 24 cm で、配置から主柱穴と考えられる。P.4 は深さ 20 cm で、性格は不明である。覆土は人為堆積である。

**覆土** 4 層に分層できる。ロームブロックを不均質に含むことから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片 1 点（深鉢）が出土している。1 は南西部の覆土中から出土している。

**所見** 時期は、出土土器から前期と考えられる。



第8図 第4号竪穴建物跡・出土遺物実測図

第4表 第4号竪穴建物跡出土遺物一覧（第8図）

| 番号 | 種別   | 器種 | 口径 | 器高    | 底径 | 胎土            | 色調   | 焼成 | 特徴              | 出土位置 | 備考       |
|----|------|----|----|-------|----|---------------|------|----|-----------------|------|----------|
| 1  | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (4.8) | —  | 長石・石英・赤色粒子・磁鉄 | 明赤褐色 | 普通 | FL. 単点縄文による羽状縄文 | 覆土   | 5% PL. 7 |

#### 第7号竪穴建物跡（第9図 第5表 PL. 1・7）

**位置** 調査区北部の I F 05区、標高20mほどの台地平坦部に位置している。

**規模と形状** 長軸3.77m、短軸3.02mの隅丸長方形で、長軸方向はN-61°-Eである。壁は高さ10～15cmで、外傾している。

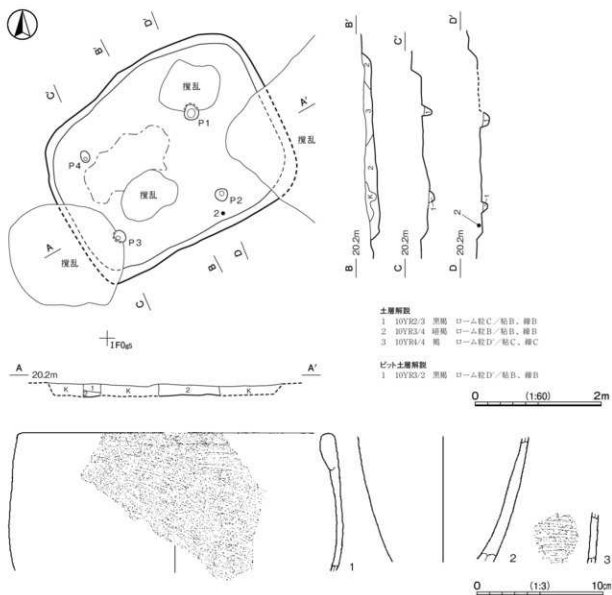
**床** 概ね平坦であるが、南西部がやや低い。中央部の北西寄りが硬化している。

**ピット** 4か所。P1～P4は深さ10～15cmで、配置から主柱穴と考えられる。覆土は人為堆積である。

**覆土** 3層に分層できる。不規則な堆積状況から、人為堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片13点（深鉢）が出土している。1は南西部、3は南東部の覆土中から、2は南壁際の覆土下層から、それぞれ出土している。

**所見** 時期は、出土土器から晩期（安行3b式期）と考えられる。



第9図 第7号竪穴建物跡・出土遺物実測図

第5表 第7号竪穴建物跡出土遺物一覧(第9図)

| 番号 | 種別   | 器種 | 口径    | 器高    | 底径 | 胎土         | 色調   | 焼成 | 特徴  | 出土位置 | 備考               |
|----|------|----|-------|-------|----|------------|------|----|-----|------|------------------|
| 1  | 縄文土器 | 深鉢 | [246] | (111) | —  | 長石・石英      | 橙    | 普通 | 条線文 | 覆土   | 5% PL.7<br>発行3b式 |
| 2  | 縄文土器 | 深鉢 | —     | (101) | —  | 長石・石英・赤色粘土 | 明期   | 普通 | 無文  | 覆土下層 | 5%<br>発行3b式      |
| 3  | 縄文土器 | 深鉢 | —     | (41)  | —  | 長石・石英      | にぶい橙 | 普通 | 条線文 | 覆土   | 5% PL.7<br>発行3b式 |

#### 第9号竪穴建物跡(第10図 第6表 PL.1・7)

**位置** 調査区北部の1F0e2区、標高20mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第12号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 掘削と削平のため確認できた規模は、長径3.07m、短径1.75mである。楕円形と推定でき、主軸方向はN-30°-Wである。壁の高さは最大18cmで、外傾している。

床 南に向かって低くなっている。炉やP1の周りが硬化している。

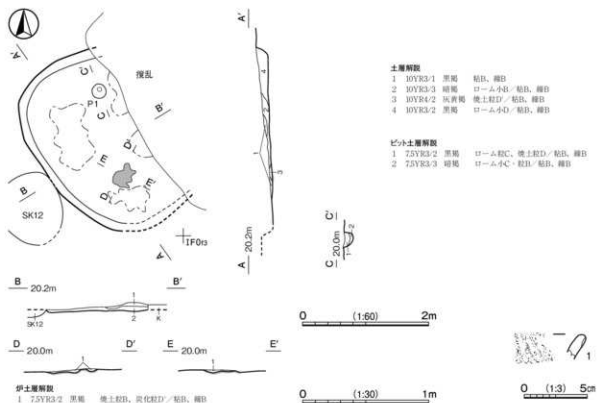
炉 南西部の壁寄りに位置している。長軸 40cm、短軸 30cmの不整形形で、床面とはほぼ同じ高さの地床炉である。炉床面は赤変硬化している。

ピット 1か所。P1は深さ 14cmで、性格は不明である。覆土は人為堆積である。

覆土 4層に分層できる。ロームブロックを含み不規則な堆積状況から、人為堆積である。

遺物出土状況 縄文土器片2点（深鉢）が出土している。ほかに混入した土師器片5点、鉄滓1点が出土している。1は北東部の覆土中から出土している。

所見 時期は、出土土器から前期後葉と推定される。



第10図 第9号堅穴建物跡・出土遺物実測図

第6表 第9号堅穴建物跡出土遺物一覧（第10図）

| 番号 | 種別   | 器種 | 口径 | 器高   | 底径 | 胎土         | 色調 | 焼成 | 特徴     | 出土位置 | 備考            |
|----|------|----|----|------|----|------------|----|----|--------|------|---------------|
| 1  | 縄文土器 | 深鉢 | -  | (20) | -  | 長石・石英・赤色粒子 | 褐色 | 普通 | 口縁部赤線帯 | 覆土   | 5% PL7<br>新津式 |

#### 第10号堅穴建物跡（第11図 PL1）

位置 調査区北部のIE04区、標高 21 mほどの台地平坦部に位置している。

重複関係 第6号堅穴建物に掘り込まれている。

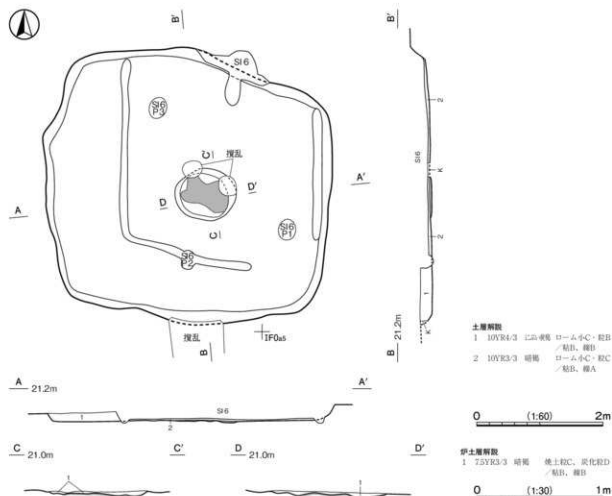
規模と形状 長軸 4.61 m、短軸 4.33 mの不整形形で、主軸方向は  $N-83^{\circ}-W$  である。壁は高さ 13～23cmで、外傾している。

床 平坦である。

**炉** 中央部に位置している。長径 100cm、短径 80cm の楕円形で、深さ 4 cm の地床炉である。炉床面は赤変硬化している。

**覆土** 2 層に分層できる。層厚が薄いため、堆積状況は不明である。

**所見** 遺物が出土していないため、詳細な時期は不明である。遺構の形状などから、縄文時代と推定される。



第 11 図 第 10 号竪穴建物跡実測図

### 第 11 号竪穴建物跡 (第 12 図 第 7 表 PL 2・7)

**位置** 調査区北部の I E 0 i l 区、標高 21 m ほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第 3 号竪穴建物に掘り込まれている。

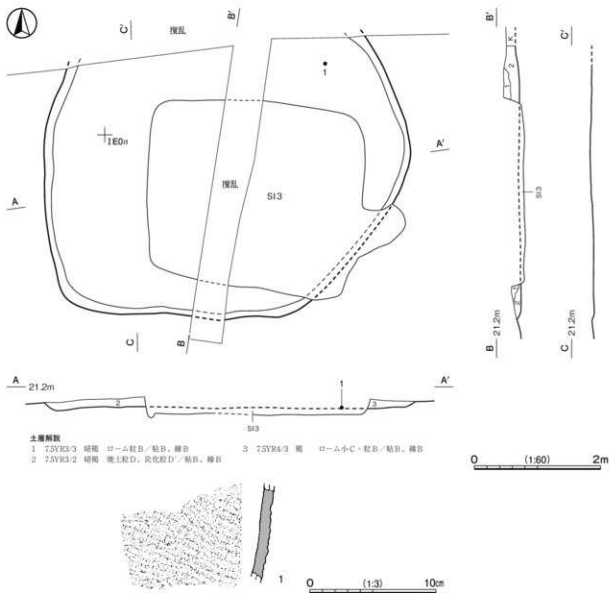
**規模と形状** 北部が攪乱のため確認できた規模は、長径 6.30 m、短軸 4.82 m である。不整楕円形と推定でき、長径方向は  $N-50^{\circ}-E$  である。壁は高さ 5 ~ 15 cm で、外傾している。

**床** 平坦である。

**覆土** 3 層に分層できる。覆土の遺存状況が不良のため、堆積状況は不明である。

**遺物出土状況** 縄文土器片 3 点 (深鉢) が出土している。ほかに混入した土師器片 2 点、金属製品 1 点が出土している。1 は北東部の覆土下層から出土している。

**所見** 時期は、出土土器から前期と考えられる。



第12図 第11号竪穴建物跡・出土遺物実測図

第7表 第11号竪穴建物跡出土遺物一覧（第12図）

| 番号 | 種別   | 器種 | 口径 | 器高    | 底径 | 胎土            | 色調  | 焼成 | 特徴            | 出土位置 | 備考      |
|----|------|----|----|-------|----|---------------|-----|----|---------------|------|---------|
| 1  | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (7.9) | —  | 長石・石英・赤色粘土・緑色 | 暗褐色 | 普通 | 横位0段多量のRL平皿縄文 | 竈土下層 | 5% PL 7 |

第8表 縄文時代の竪穴建物跡一覧

| 番号 | 位置   | 主軸方向    | 平面形 | 規模<br>長軸×短軸(m)  | 壁高<br>(cm) | 床面   | 壁溝 | 内部施設 |     |    |    |    |   | 土質 | 主な出土遺物  | 時期            | 備考      |
|----|------|---------|-----|-----------------|------------|------|----|------|-----|----|----|----|---|----|---------|---------------|---------|
|    |      |         |     |                 |            |      |    | 柱穴   | 出入口 | 土間 | 貯蔵 | 灰穴 | 灰 |    |         |               |         |
| 2  | 1E0h | N-1°-E  | 楕円形 | [1.95] × 0.60   | 28~43      | 平坦   | —  | 6    | —   | —  | 貯1 | —  | — | 人為 | 縄文土器 磨石 | 前期前半<br>(層出式) | 地点見塚    |
| 4  | 1E0j | N-75°-W | 楕円形 | 3.10 × 2.75     | 9~17       | 平坦   | —  | 3    | —   | 1  | 貯1 | —  | — | 人為 | 縄文土器    | 前期            |         |
| 7  | 1F05 | N-61°-E | 楕円形 | 3.77 × 3.02     | 10~15      | 概ね平坦 | —  | 4    | —   | —  | —  | —  | — | 人為 | 縄文土器    | 晩期<br>(定年3式)  |         |
| 9  | 1F02 | N-30°-W | 楕円形 | [3.07] × (1.75) | 18         | 傾斜   | —  | —    | —   | 1  | 貯1 | —  | — | 人為 | 縄文土器    | 前期後葉          | 本跡→SK12 |
| 10 | 1E0h | N-83°-W | 不整形 | 4.61 × 4.33     | 13~23      | 平坦   | —  | —    | —   | —  | 貯1 | —  | — | 不明 | 縄文土器    | 本跡→SI 6       |         |
| 11 | 1E0i | N-50°-E | 不整形 | 6.30 × (4.82)   | 5~15       | 平坦   | —  | —    | —   | —  | —  | —  | — | 不明 | 縄文土器    | 前期            | 本跡→SI 3 |

## (2) 土 坑

### 第 67 号土坑 (第 13 図 第 9 表 PL 7)

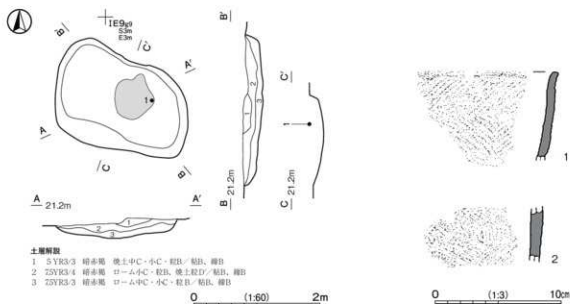
**位置** 調査区北部の I E 9 h9 区、標高 21 m ほどの台地平坦部に位置している。

**規模と形状** 長径 214 m、短径 158 m の不整形円形で、主軸方向は  $N-80^{\circ}-W$  である。深さは 30 cm で、底面は平坦である。壁は外傾している。

**覆土** 3 層に分類できる。ロームブロックを不均質に含むことから、人為堆積である。第 1 層は焼土を含んでいる。

**遺物出土状況** 縄文土器片 6 点 (深鉢) が出土している。1 は中央部東寄りの覆土上層から出土している。

**所見** 時期は、出土土器から前期前半 (関山Ⅱ式期) と考えられる。



第 13 図 第 67 号土坑・出土遺物実測図

第 9 表 第 67 号土坑出土遺物一覧 (第 13 図)

| 番号 | 種 別  | 器種 | 口径 | 器高    | 底径 | 胎 土           | 色 調 | 焼成 | 特 徴                         | 出土位置 | 備 考          |
|----|------|----|----|-------|----|---------------|-----|----|-----------------------------|------|--------------|
| 1  | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (7.1) | —  | 長石・石英・繊維      | 明褐色 | 普通 | 横位 LR と RL 単筋縄文による羽状縄文      | 覆土上層 | 5% PL 7      |
| 2  | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (4.4) | —  | 長石・石英・赤色粘土・繊維 | 赤褐色 | 普通 | 地文直面段合焼縄文による羽状縄文・半截唇管による点線文 | 覆土   | 5% PL 7 関山Ⅱ式 |

### 第 106 号土坑 (第 14 図 第 10 表 PL 2・7)

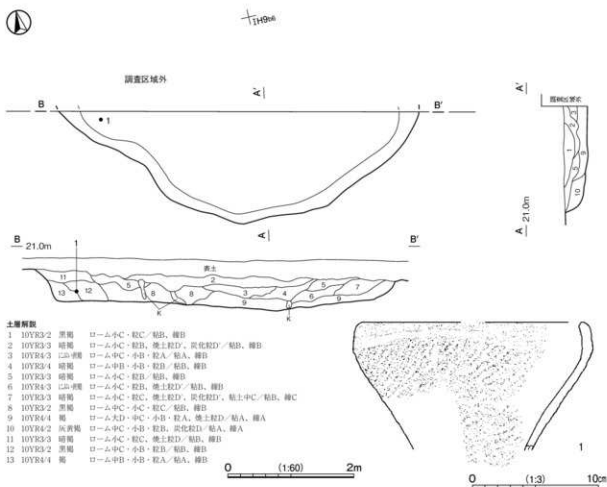
**位置** 調査区南部の I H 9 b5 区、標高 21 m ほどの台地平坦部に位置している。

**規模と形状** 北部が調査区域外のため確認できた規模は、長径 5.72 m、短径 1.78 m である。不整形円形と推定でき、長径方向は  $N-76^{\circ}-W$  である。深さは 52 cm で、底面は平坦である。壁は外傾している。

**覆土** 13 層に分類できる。ロームブロックを不均質に含むことから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片 15 点 (深鉢) が出土している。1 は西部の覆土中層から出土している。

**所見** 時期は、出土土器から中期後半 (加曾利 E Ⅲ式期) と考えられる。



第14図 第106号土坑・出土遺物実測図

第10表 第106号土坑出土遺物一覧(第14図)

| 番号 | 種別   | 器種 | 口径    | 器高    | 底径 | 胎土    | 色調   | 他成 | 特徴                   | 出土位置 | 備考                  |
|----|------|----|-------|-------|----|-------|------|----|----------------------|------|---------------------|
| 1  | 縄文土器 | 深鉢 | [175] | [104] | -  | 長石・石英 | 明赤褐色 | 普通 | 平截竹管による沈線 縦位RL, 単軸縄文 | 覆土中層 | 10% PL. 7<br>加得粒土層式 |

第11表 縄文時代の土坑一覧

| 番号  | 位置      | 長径方向    | 平面形     | 規模              |        | 壁面 | 底面 | 覆土 | 主な出土遺物 | 時期            | 備考 |
|-----|---------|---------|---------|-----------------|--------|----|----|----|--------|---------------|----|
|     |         |         |         | 長径×短径(m)        | 深さ(cm) |    |    |    |        |               |    |
| 67  | IE969   | N-80°-W | 不整楕円形   | 214×158         | 30     | 外傾 | 平坦 | 人為 | 縄文土器   | 前期前手<br>(前山式) |    |
| 106 | I H 965 | N-76°-W | [不整楕円形] | (5.72) × (1.78) | 52     | 外傾 | 平坦 | 人為 | 縄文土器   | 中期後手<br>(後山式) |    |

### (3) 不明遺構

#### 第1号不明遺構(第15図 第12表 PL. 2・7)

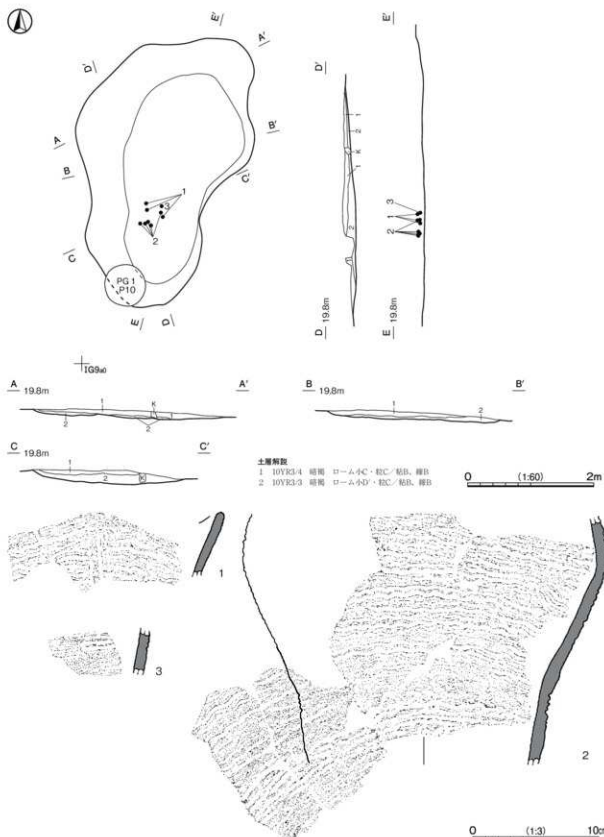
**位置** 調査区中央部の I F 9j0 区、標高 20 m ほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第1号ピット群 P10 に掘り込まれている。

**規模と形状** 東西 2.8 m、南北 4.3 m のなだらかな窪地に、層厚が最大で 20 cm の暗褐色土が自然堆積している。

**遺物出土状況** 縄文土器片 76 点(深鉢)が出土している。1～3 は南部の覆土上層から、それぞれ出土している。

**所見** 時期は、出土土器から前期中葉(黒浜式期)と考えられる。形状が不整で壁の立ち上がりも緩やかなため、自然の窪地や埋没谷の可能性もある。



第15図 第1号不明遺構・出土遺物実測図

第12表 第1号不明遺構出土遺物一覧(第15図)

| 番号 | 種別   | 器種 | 口径 | 器高   | 底径 | 胎土       | 色調    | 地成 | 特徴               | 出土位置 | 備考             |
|----|------|----|----|------|----|----------|-------|----|------------------|------|----------------|
| 1  | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (52) | —  | 長石・石英・繊維 | にぶ・赤黒 | 普通 | 平截竹管による波状文 平行沈線文 | 覆土上層 | 5% PL.7<br>黒拍式 |

| 番号 | 種別   | 器種 | 口径 | 器高     | 底径 | 胎土       | 色調     | 焼成 | 特徴         | 出土位置 | 備考              |
|----|------|----|----|--------|----|----------|--------|----|------------|------|-----------------|
| 2  | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (19.8) | —  | 長石・石英・燐灰 | にぶい赤褐色 | 普通 | 手載竹管による波状文 | 覆土上層 | 20% PL 7<br>断面式 |
| 3  | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (3.8)  | —  | 長石・石英・燐灰 | にぶい赤褐色 | 普通 | 櫛歯状工具による沈線 | 覆土上層 | 5% PL 7<br>断面式  |

## 2 奈良・平安時代の遺構と遺物

竪穴建物跡5棟、火葬墓1基、土坑1基を確認した。以下、遺構と遺物について記述する。

### (1) 竪穴建物跡

#### 第1号竪穴建物跡（第16・17図 第13表 PL 8）

**位置** 調査区中央部の I G O g3区、標高19 mほどの台地平坦部に位置している。

**規模と形状** 東部・西部・北部が掘乱のため確認できた規模は、長軸3.50 m、短軸2.20 mである。方形か長方形と推定できる。主軸方向はN-105°-Eである。壁は高さ11 cmで、外傾している。

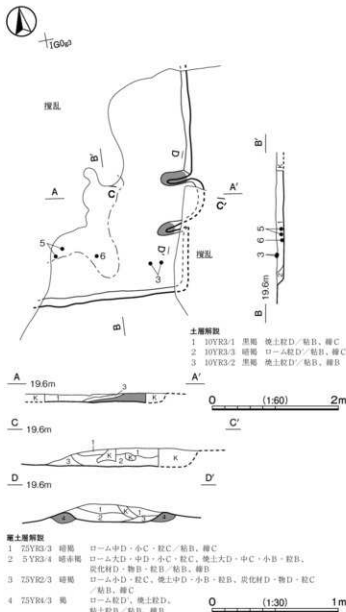
**床** 平坦で、確認できた範囲では中央部が硬化している。

**竈** 東壁の中央部やや南寄りに位置すると推定できる。掘乱のため確認できた規模は、焚口から煙道部まで85 cmで、燃焼部幅55 cmである。袖部は、地山の上に粘土粒子を含む第4層を積み上げて構築している。火床部は床面と同じ高さで、火床面は赤変硬化していない。確認できた範囲では、煙道部は壁内に17 cmほど張り出していると推定できる。

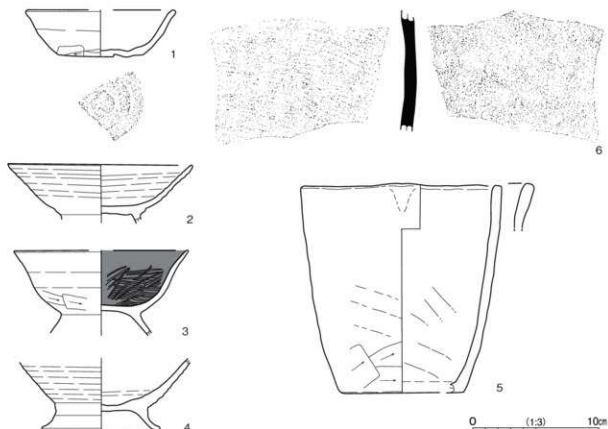
**覆土** 3層に分層できる。周囲からの流入を示す堆積状況から、自然堆積である。

**遺物出土状況** 土師器片69点（坏20、高台付坏6、粗製鉢1、甕42）、須恵器片7点（甕）が出土している。ほかに混入した縄文土器片2点が出土している。遺物は主に南部の覆土中層と上層から散在して出土している。1・2・4は南西部の覆土中から、3は南東コーナー寄りの覆土上層から、5・6は南壁寄りの覆土中層から、それぞれ出土している。

**所見** 時期は、出土土器から10世紀中葉と考えられる。



第16図 第1号竪穴建物跡実測図



第17図 第1号竪穴建物跡出土遺物実測図

第13表 第1号竪穴建物跡出土遺物一覧(第17図)

| 番号 | 種別  | 器種   | 口径     | 器高   | 底径   | 胎土         | 色調    | 焼成 | 特徴                              | 出土位置 | 備考       |
|----|-----|------|--------|------|------|------------|-------|----|---------------------------------|------|----------|
| 1  | 土師器 | 坏    | [11.5] | 3.7  | [66] | 長石・石英・赤色粒子 | にぶい橙  | 普通 | 体部下端手持ちへう張り 底部回転へう切り後へう張り       | 覆土   | 30%      |
| 2  | 土師器 | 高台付坏 | 146    | [48] | -    | 長石・石英      | 明褐    | 普通 | 高台貼付後ナデ                         | 覆土   | 70% PL 8 |
| 3  | 土師器 | 高台付坏 | [138]  | (68) | -    | 長石・石英・赤色粒子 | 褐     | 普通 | 体部下端手持ちへう張り 高台貼付後ナデ 内面へう磨き 黒色処理 | 覆土上層 | 30%      |
| 4  | 土師器 | 高台付坏 | -      | [57] | [94] | 長石・石英・赤色粒子 | 橙     | 普通 | 高台貼付後ナデ                         | 覆土   | 70% PL 8 |
| 5  | 土師器 | 粗製鉢  | [158]  | 166  | [98] | 長石・石英・赤色粒子 | 橙     | 普通 | 片口 体部外面へう張り 内面ナデ 全面摩耗 製造土質      | 覆土中層 | 30% PL 8 |
| 6  | 須恵器 | 甕    | -      | (96) | -    | 長石・石英      | にぶい赤黒 | 不良 | 体部外面平行叩き 内面当て真痕                 | 覆土中層 | 5%       |

### 第3号竪穴建物跡(第18・19図 第14表 PL 2・8)

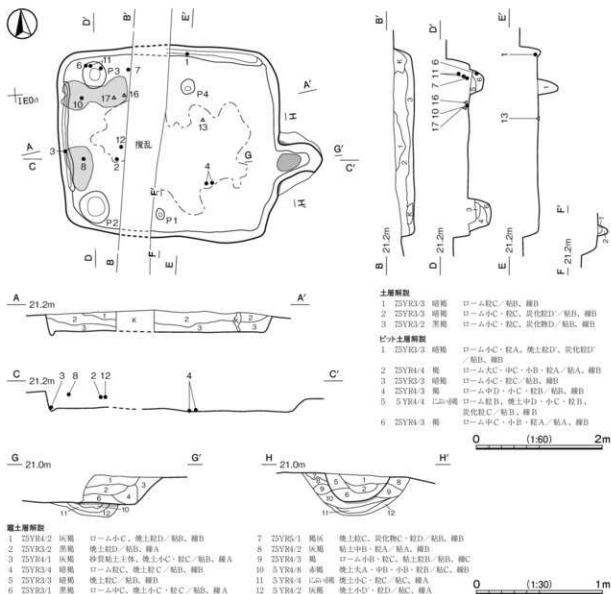
**位置** 調査区北部のIE 0il区、標高21mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第11号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

**規模と形状** 長軸352m、短軸307mの長方形で、主軸方向はN-96°-Eである。壁は高さ20～36cmで、外傾している。

**床** 平坦で、中央部が硬化している。北壁下と西壁下の一部に壁溝が巡っている。

**竈** 東壁の中央部やや南寄りに位置している。規模は焚口から煙道部まで72cmで、焼焼部幅は35cmである。焼焼部の下部と側面は、地山を土坑状に32cmほど掘りくぼめ、第7～12層を埋土して整地している。袖部は確認できなかった。火床部は床面と同じ高さである。火床面は第10～12層の上面で、赤変硬化している。煙道部は壁内に65cmほど張り出し、外傾して立ち上がっている。



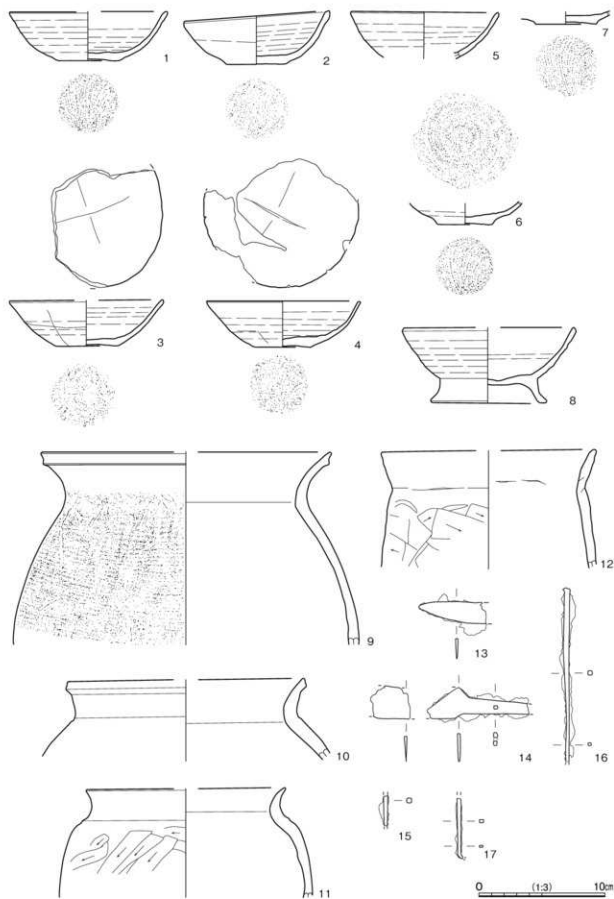
第18図 第3号竪穴建物跡実測図

**ピット** 4か所。P1は深さ17cmで、南壁寄りの中央に位置しており、出入り口施設に伴うものの可能性がある。P2～P4は深さ20～35cmで、性格は不明である。

**覆土** 3層に分層できる。焼土塊が第2・3層から出土していることから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 土師器片150点(坏41、高台付坏3、甕105、瓶1)、須恵器片3点(坏1、甕2)、金属製品6点(刀子1、小刀1、釘1、不明工具2、不明1)、鉄滓1点が出土している。ほかに混入した縄文土器片12点が出土している。遺物は主に北西部の覆土中から散在した状態で出土している。1は北壁際、4は中央部南東寄り、7・10・16・17は北西コーナー部、13は中央部北東寄りの覆土下層から、2・12は中央部西寄り、11は北西コーナー部、8は西壁寄り、14は南東部の覆土上層から、それぞれ出土している。3は西壁下の壁溝の覆土中から、6はP3の覆土中層から、5は南東部、9は南西部の覆土中から、それぞれ出土している。また、西壁際の第2・3下層から2か所の焼土塊を確認した。これらの焼土塊のほかに炭化材などが出土していないことから、本跡の廃絶後に焼土塊を廃棄したものと考えられる。

**所見** 時期は、出土土器から10世紀後葉から11世紀前葉と考えられる。



第19图 第3号竖穴建物跡出土遺物実測図

第14表 第3号竪穴建物跡出土遺物一覧(第19図)

| 番号 | 種別  | 器種   | 口径    | 器高     | 底径  | 胎土            | 色調    | 焼成 | 特徴                              | 出土位置     | 備考       |
|----|-----|------|-------|--------|-----|---------------|-------|----|---------------------------------|----------|----------|
| 1  | 土師器 | 坏    | [124] | 3.9    | 4.8 | 長石・石英・赤色粒子    | 明褐色   | 普通 | 底部回転糸切り後一方向のヘラ削り                | 覆土下層     | 60%      |
| 2  | 土師器 | 坏    | 11.5  | 4.2    | 4.6 | 長石・石英・赤色粒子    | 明褐色   | 普通 | 底部回転糸切り                         | 覆土上層     | 70% PL 8 |
| 3  | 土師器 | 坏    | [122] | 3.6    | 4.8 | 長石・石英・赤色粒子    | 明褐色   | 普通 | 底面ヘラ削り 体部外面・底部内面焼成後縁割           | 埋蔵覆土     | 50%      |
| 4  | 土師器 | 坏    | 12.1  | 3.7    | 4.7 | 長石・石英・赤色粒子    | 褐色    | 普通 | 底部回転糸切り 体部外面・底部内面焼成後縁割「+」       | 覆土下層     | 60% PL 8 |
| 5  | 土師器 | 坏    | 11.6  | (3.7)  | -   | 長石・石英・赤色粒子    | 褐色    | 普通 | 口縁ナデ                            | 覆土       | 50%      |
| 6  | 土師器 | 坏    | -     | (1.7)  | 4.4 | 長石・石英・赤色粒子    | 褐色    | 普通 | 底部回転糸切り 底部内面焼成面同心円状の縁割 焼成後縁割「+」 | P 3 覆土中層 | 10%      |
| 7  | 土師器 | 坏    | -     | (1.0)  | 4.9 | 長石・石英・赤色粒子    | 褐色    | 普通 | 底部回転糸切り                         | 覆土下層     | 10%      |
| 8  | 土師器 | 高台付坏 | [135] | 6.0    | 9.1 | 長石・石英・赤色粒子    | にぶい褐色 | 普通 | 高台貼付後ナデ                         | 覆土上層     | 30%      |
| 9  | 土師器 | 甕    | [230] | (15.3) | -   | 長石・石英・赤色粒子    | にぶい褐色 | 普通 | 体部外面格子叩き 内面ナデ                   | 覆土       | 20% PL 8 |
| 10 | 土師器 | 甕    | [188] | (6.5)  | -   | 長石・石英         | にぶい褐色 | 普通 | 口縁部横ナデ                          | 覆土下層     | 5%       |
| 11 | 土師器 | 甕    | [158] | (8.8)  | -   | 長石・石英         | 褐色    | 普通 | 体部外面ヘラ削り 内面ナデ                   | 覆土上層     | 10%      |
| 12 | 土師器 | 甕    | [169] | (9.4)  | -   | 長石・石英・雲母・赤色粒子 | にぶい褐色 | 普通 | 体部外面ヘラ削り 内面ナデ                   | 覆土上層     | 10%      |

| 番号 | 器種   | 長さ     | 幅     | 厚さ    | 重量      | 材質 | 特徴       | 出土位置 | 備考   |
|----|------|--------|-------|-------|---------|----|----------|------|------|
| 13 | 刀子   | (5.3)  | (1.8) | (0.2) | (9.95)  | 鉄  | 切先部      | 覆土下層 | PL 8 |
| 14 | 小刀   | (11.2) | (2.5) | (0.2) | (16.89) | 鉄  | 両端 目釘孔あり | 覆土上層 | PL 8 |
| 15 | 釘    | (2.4)  | 0.4   | 0.3   | (1.03)  | 鉄  | 断面四角形    | 覆土下層 | PL 8 |
| 16 | 不明工具 | (13.9) | 0.3   | 0.3   | (10.25) | 鉄  | 断面四角形    | 覆土下層 | PL 8 |
| 17 | 不明工具 | (4.8)  | (0.3) | (0.2) | (1.52)  | 鉄  | 断面長方形    | 覆土下層 | PL 8 |

## 第6号竪穴建物跡(第20・21図 第15表 PL 2・8・9)

**位置** 調査区北部の I E O 4 区、標高 21 m ほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第10号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

**規模と形状** 長軸 3.40 m、短軸 3.38 m の不整形で、主軸方向は N-3°-E である。壁は高さ 13 ~ 24 cm で、外傾している。

**床** 平坦で、中央部が硬化している。北壁と南東コーナー部の壁下を除いて壁溝が巡っている。

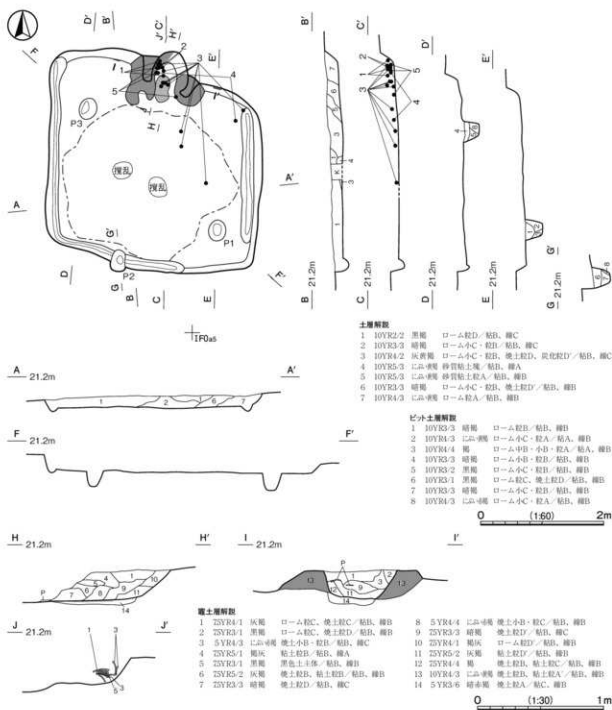
**竈** 北壁の中央部に位置している。規模は焚口から煙道部まで 99 cm で、燃烧部幅は 35 cm である。燃烧部・左袖部の下部は、地山を 6 cm ほど掘りくぼめ、第14層を埋土して整地している。袖部は、地山と整地面の上に須恵器甕片を補強材にして砂質粘土を主体とした第13層を積み上げて構築している。火床部は、床面とはほぼ同じ高さである。火床面は第14層上面で、赤変硬化している。火床部奥側の左袖寄りから、須恵器甕片がまとも土出している。煙道部は壁外に 25 cm ほど張り出し、外傾して立ち上がっている。

**ピット** 3 か所。P 1 ~ P 3 は深さ 25 ~ 27 cm で、性格は不明である。

**覆土** 7 層に分層できる。不自然な堆積状況を呈していることから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 土師器片 31 点(坏 4、甕 27)、須恵器片 36 点(甕)、鉄滓 1 点が出土している。ほかに混入した縄文土器片 13 点が出土している。遺物は主に北東部の覆土下層と竈の覆土中から出土している。1・2 は竈の覆土下層から出土している。3・4 は竈の覆土下層から出土した破片と中央部や北東コーナー部の覆土下層から出土した破片が、それぞれ接合したものである。5 は竈の火床部から出土した破片と竈の右袖部際の床面付近から出土した破片が接合したものである。

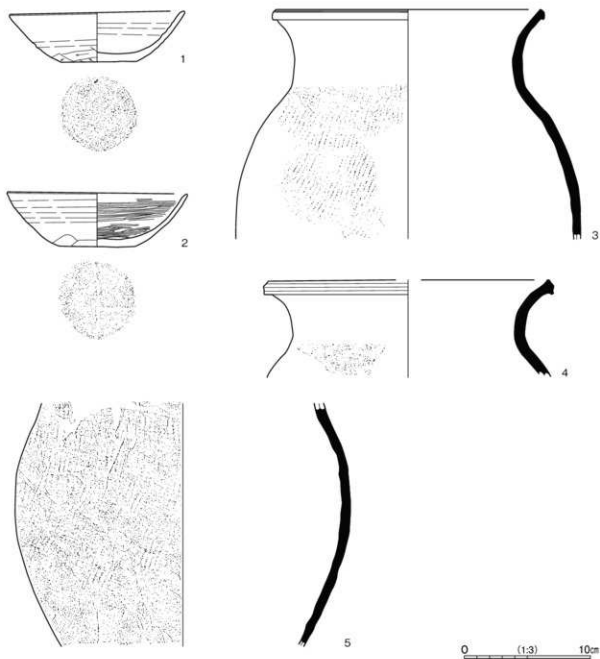
**所見** 時期は、出土土器から 10 世紀中葉と考えられる。竈を挟んで左右の壁が一直線にならず食い違っていることから、竈の右側には棚状施設が存在した可能性がある。



第20図 第6号竪穴建物跡実測図

第15表 第6号竪穴建物跡出土遺物一覧(第21図)

| 番号 | 種別  | 器種 | 口径     | 器高     | 底径 | 胎土         | 色調   | 焼成 | 特徴                            | 出土位置           | 備考               |
|----|-----|----|--------|--------|----|------------|------|----|-------------------------------|----------------|------------------|
| 1  | 土師器 | 坏  | 139    | 40     | 60 | 長石・石英      | 橙    | 普通 | 底部下端手持ちへう張り 底部一方向のへう張り        | 竈裡土下層          | 80% PL 9<br>二次焼成 |
| 2  | 土師器 | 坏  | 143    | 43     | 60 | 長石・石英・赤色粘土 | 橙    | 普通 | 底部下端手持ちへう張り 底部一方向のへう張り 内面へう張り | 竈裡土下層          | 80% PL 9<br>二次焼成 |
| 3  | 須恵器 | 甕  | 21.0   | (18.2) | -  | 長石・石英      | 橙    | 不良 | 体部外面平行叩き 内面ナデ                 | 竈裡土下層<br>竈裡土下層 | 20% PL 8         |
| 4  | 須恵器 | 甕  | [22.2] | (17.7) | -  | 長石・石英      | にぶみ黄 | 不良 | 体部外面格子叩き 内面ナデ                 | 竈裡土下層<br>竈裡土下層 | 5%               |
| 5  | 須恵器 | 甕  | -      | (19.3) | -  | 長石・石英      | にぶみ黄 | 不良 | 体部外面格子叩き へう張り 内面当て具痕          | 竈裡土下層<br>竈裡土下層 | 20%<br>二次焼成      |



第21図 第6号竪穴建物跡出土遺物実測図

#### 第8号竪穴建物跡（第22・23図 第16表 PL.3）

**位置** 調査区北部のIEOh2区、標高21mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第3号土坑を掘り込んでいる。

**規模と形状** 北西部と南部が攪乱のため確認できた規模は、長軸2.73m、短軸2.35mである。台形と推定でき、主軸方向は $N-90^{\circ}-E$ である。壁は高さ11～17cmで、外傾している。

**床** 平坦で、中央部が硬化している。南東コーナー部を除いた南壁下に壁溝が巡っている。

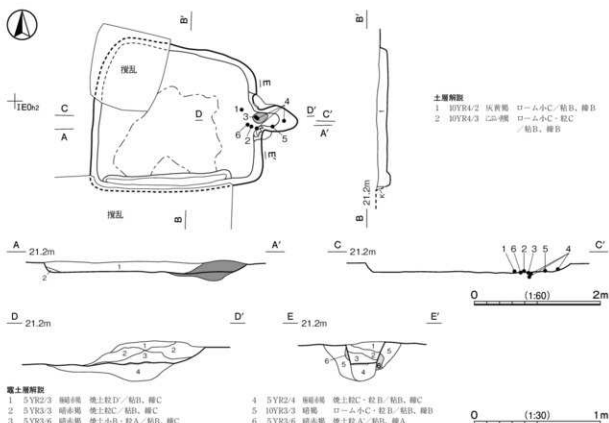
**竈** 東壁の中央部に位置している。規模は、焚口から煙道部まで102cmで、燃焼部幅は20cmである。燃焼部の下部は地山を土坑状に27cmほど掘りくぼめ、第4～6層を埋土して整地している。袖部は左右ともに埋土の

第5・6層を利用し、その先端部のやや内側に補強材として土師器甕片を貼り付けて構築している。火床部は床面とは同じ高さである。火床面は第4層上面で、燃焼部の内壁とともに赤変硬化している。煙道部は壁外に60cmほど張り出し、外傾して立ち上がっている。

**覆土** 2層に分層できる。いずれの層もロームブロックを不均質に含むことから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 土師器片65点(坏6、甕59)、須恵器片6点(甕)、灰釉陶器片1点(瓶)、礫2点が出土している。遺物は主に竈の覆土中から出土している。1・2・6は竈の焚口部の覆土下層から、3は火床面から、5は竈の覆土下層から、それぞれ出土している。4は竈の右袖内部から出土した破片と竈の火床面と煙道部底面から出土した破片が接合したものである。また、竈の覆土中からは、火熱を受けた砂質粘土が付着した土師器甕片が出土している。

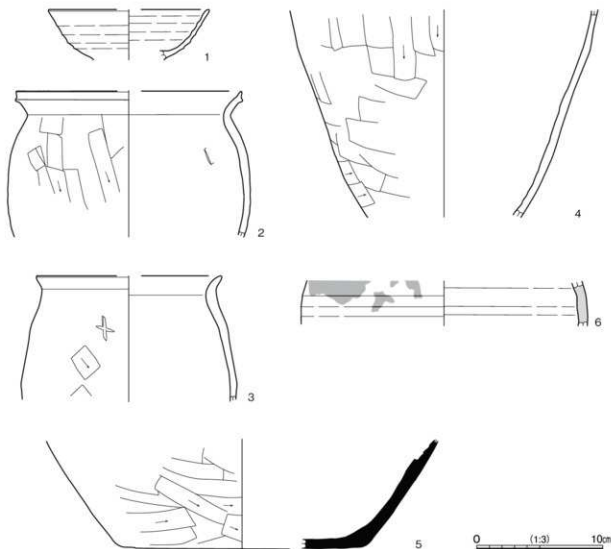
**所見** 時期は、出土土器から10世紀中葉と考えられる。



第22図 第8号竪穴建物跡実測図

第16表 第8号竪穴建物跡出土遺物一覧(第23図)

| 番号 | 種別   | 器種 | 口径    | 器高    | 底径    | 胎土         | 色調   | 焼成 | 特徴                | 出土位置          | 備考            |
|----|------|----|-------|-------|-------|------------|------|----|-------------------|---------------|---------------|
| 1  | 土師器  | 坏  | [128] | (40)  | -     | 長石・石英      | 橙    | 普通 | ロクロナデ             | 覆土下層          | 30%           |
| 2  | 土師器  | 甕  | [178] | (116) | -     | 長石・石英・赤色粘土 | にぶい橙 | 普通 | 体部外面へラ削り 内面ナデ     | 覆土下層          | 5%            |
| 3  | 土師器  | 甕  | [146] | (109) | -     | 長石・石英      | 明赤褐  | 普通 | 体部外面へラ削り 内面ナデ     | 火床面           | 5%<br>ヘラ書き「×」 |
| 4  | 土師器  | 甕  | -     | (165) | -     | 長石・石英・赤色粘土 | 橙    | 普通 | 体部外面へラ削り 内面ナデ     | 煙道部底面<br>竈石袖内 | 10%           |
| 5  | 須恵器  | 甕  | -     | (87)  | [192] | 長石・石英      | 灰黄褐  | 普通 | 体部外平行叩き後へラ削り 内面潤滑 | 竈覆土下層         | 20%           |
| 6  | 灰釉陶器 | 瓶  | -     | (36)  | -     | 長石・石英      | 灰黄褐  | 普通 | ロクロナデ 体部外面回転へラ削り  | 覆土下層          | 5%            |



第23図 第8号竈穴建物跡出土遺物実測図

## 第12号竈穴建物跡（第24図 PL.3）

**位置** 調査区南部のIH0e3区、標高20mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第90号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸3.00m、短軸2.98mの不整形で、主軸方向はN-71'-Eである。壁は高さ6～14cmで、外傾している。

**床** 平坦で、中央部が硬化している。

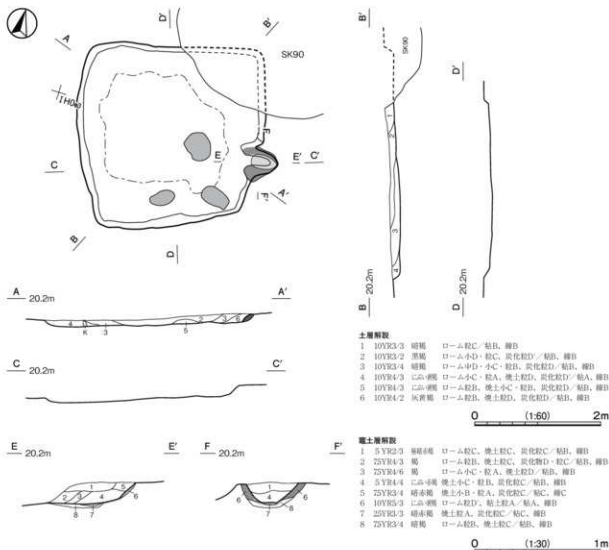
**竈** 東壁の中央部やや南寄りに位置している。規模は焚口から煙道部まで57cmで、燃焼部幅は15cmである。燃焼部・煙道部の下部は、地山を土坑状に20cmほど掘りくぼめ、第7・8層を埋土して整地している。袖部は掘り残した地山の内側に、粘土粒子を含む第6層を貼付けて構築している。火床部は床面とほぼ同じ高さである。火床面は第7層上面で、煙道部の底面とともに赤変硬化している。煙道部は壁外に20cmほど張り出し、外傾して立ち上がっている。

**覆土** 6層に分層できる。レンズ状の堆積状況を呈していることから、自然堆積である。

**遺物出土状況** 土師器片1点（甕）が出土している。細片のため図示できない。ほかに混入した縄文土器片2

点が出土している。焼土塊が中央部と南部の覆土下層の3か所から出土している。これらの焼土塊のほかに炭化材などが出土していないことから、本跡の廃絶後に焼土塊を廃棄したものと考えられる。

**所見** 時期を判断できる遺物が出土していないため、詳細な時期は不明である。当遺跡で確認した東壁に竈を付設する堅穴建物跡は、10世紀中葉以降であることから、本跡も10世紀代と推測される。竈を挟んで左右の壁が一直線にならず食い違っていることから、竈の右側には棚状施設が存在した可能性がある。



第24図 第12号堅穴建物跡実測図

第17表 平安時代の堅穴建物跡一覧

| 番号 | 位置   | 主軸方向     | 平面形状       | 規模<br>長軸×短軸(m) | 壁高<br>(cm) | 床面 | 壁溝 | 内部施設 |     |     |     |    | 竈土 | 主な出土遺物           | 時期                | 備考      |
|----|------|----------|------------|----------------|------------|----|----|------|-----|-----|-----|----|----|------------------|-------------------|---------|
|    |      |          |            |                |            |    |    | 柱穴   | 出入口 | ピット | 炉・竈 | 貯蔵 |    |                  |                   |         |
| 1  | 1G0d | N-105°-E | 方形・<br>長方形 | (3.50)×(2.20)  | 11         | 平坦 | -  | -    | -   | -   | 竈1  | -  | 自然 | 土師器 須恵器          | 10世紀中葉            |         |
| 2  | 1E01 | N-96°-E  | 長方形        | 3.52×3.07      | 20~36      | 平坦 | 一部 | -    | 1   | 3   | 竈1  | -  | 人為 | 土師器 須恵器<br>万子 小刀 | 10世紀末葉-<br>11世紀初葉 | SI11→本跡 |
| 3  | 1E02 | N-3°-E   | 不整形        | 3.40×3.38      | 13~24      | 平坦 | 一部 | -    | -   | 3   | 竈1  | -  | 人為 | 土師器 須恵器<br>残片    | 10世紀中葉            | SI10→本跡 |
| 4  | 1E02 | N-90°-E  | 台形         | 2.73×(2.35)    | 11~17      | 平坦 | 一部 | -    | -   | -   | 竈1  | -  | 人為 | 土師器 須恵器<br>灰釉陶器  | 10世紀中葉            | SK 3→本跡 |
| 5  | 1H0d | N-71°-E  | 不整形        | 3.00×2.98      | 6~14       | 平坦 | -  | -    | -   | -   | 竈1  | -  | 自然 | 土師器              | 10世紀代             | 本跡→SK90 |

(2) 火葬墓

第1号火葬墓 (第25図 第18表 PL3・9)

**位置** 調査区中央部のIF0il区、標高19mほどの台地平坦部に位置している。

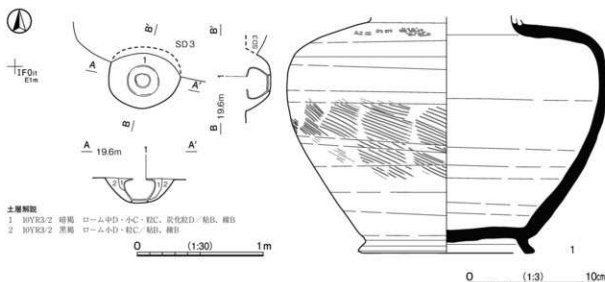
**重複関係** 第3号溝に掘り込まれている。

**規模と形状** 掘方は土坑状で、長径0.57m、短径0.48mの楕円形を呈している。長径方向はN-86°-Wである。深さは20cmで、底面は皿状である。壁は外傾している。

**覆土** 2層に分層できる。いずれの層もロームブロックを不均質に含む、土器を埋納した際の埋土である。

**遺物出土状況** 須恵器1点(短頸壺)、骨(人骨)が出土している。1は頸部を打ち欠き、掘方中央部の底面に正位の状態で埋納している。内部には、焼成された頭骨や四肢骨などが遺存していた。

**所見** 時期は、出土土器から8世紀後葉と考えられる。蔵骨器を埋納した火葬墓である。鑑定の結果、出土した人骨は、性別不明の成人個体1個体と推定されている(「付章 竜沼遺跡・竜場遺跡出土人骨」参照)。



土層解説

- 1 10Y23-2 埴輪 ローム中ロ・小ロ・粒ロ、灰化粒ロ/粒ロ、細ロ  
2 10Y23-2 黒黒 ローム小ロ・粒ロ/粒ロ、細ロ

第25図 第1号火葬墓・出土遺物実測図

第18表 第1号火葬墓出土遺物一覧 (第25図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 器高 | 底径 | 胎土 | 色調 | 焼成 | 特徴 | 出土位置 | 備考 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|----|
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|----|

|   |     |     |   |        |      |               |    |    |                      |    |         |
|---|-----|-----|---|--------|------|---------------|----|----|----------------------|----|---------|
| 1 | 須恵器 | 短頸壺 | — | (18.6) | 13.8 | 長石・石英・雲母・赤色粘土 | 褐色 | 普通 | 体部外面平行叩き後ロクナデ 内面当て具痕 | 底面 | 95% PL9 |
|---|-----|-----|---|--------|------|---------------|----|----|----------------------|----|---------|

(3) 土坑

第85号土坑 (第26図 第19表 PL3・9)

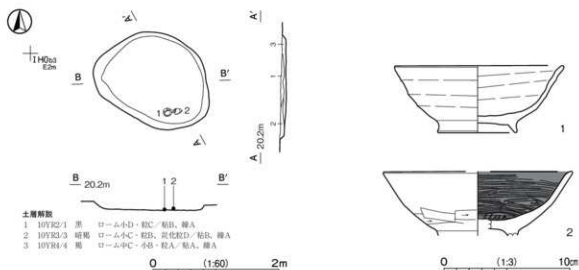
**位置** 調査区南部のIH0b3区、標高20mほどの台地平坦部に位置している。

**規模と形状** 長径1.94m、短径1.42mの不整楕円形で、長径方向はN-56°-Wである。深さは6~11cmで、底面は平坦である。壁は外傾している。

**覆土** 3層に分層できる。ロームブロックを不均質に含むことから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 土師器片3点(坏1、高台付坏2)が出土している。1・2は南部の覆土下層から斜位の状態です出土している。

**所見** 時期は、出土土器から10世紀中葉と考えられる。



第26図 第85号土坑・出土遺物実測図

第19表 第85号土坑出土遺物一覧（第26図）

| 番号 | 種別  | 器種         | 口径    | 器高  | 底径  | 胎土         | 色調   | 焼成      | 特徴                        | 出土位置      | 備考        |
|----|-----|------------|-------|-----|-----|------------|------|---------|---------------------------|-----------|-----------|
| 1  | 土師器 | 高台付杯       | 135   | 5.3 | 6.3 | 灰褐         | 普通   | 高台貼付後ナデ |                           | 覆土下層      | 100% PL.9 |
| 2  | 土師器 | 高台付杯 [149] | (5.1) | —   | —   | 長石・石英・赤色粒子 | にぶい腔 | 普通      | 体部下層手持ちへう張り<br>前へう張り 黒色児児 | 高台貼付後ナデ 内 | 覆土下層 40%  |

### 3 江戸時代の遺構と遺物

溝跡3条、井戸跡1基を確認した。以下、遺構と遺物について記述する。

#### (1) 溝跡（平面図は遺構全体図参照）

##### 第1号溝跡（第27・28図 第20表 PL.3）

**位置** 調査区北部のIE0j5～IE0e5区、標高21mほどの台地平坦部に位置している。

**規模と形状** IE0j5区から南西方向（N-8°-E）に直線状に延び、IE0b5区で南方向（N-0°）に向きを変えてIE0e5区まで直線状に延びている。北端が調査区域外のため、確認できた長さは20.1mである。上幅0.42～0.99m、下幅0.23～0.61m、深さ13～25cmで、断面形は浅い逆台形状である。壁は外傾している。底面は平坦で、南に向かって緩やかに下っている。

**覆土** 3層に分層できる。いずれの層も含有物が少なく、周囲からの流入を示す堆積状況から、自然堆積である。

**遺物出土状況** 土師質土器片2点（焙烙）が出土している。ほかに混入した縄文土器片1点、土師器片1点が出土している。1は中央部の覆土上層から出土している。

**所見** 時期は、出土土器から18世紀後半と考えられる。



第27図 第1号溝跡実測図



第28図 第1号溝跡出土遺物実測図

第20表 第1号溝跡出土遺物一覧（第28図）

| 番号 | 種別    | 器種 | 口径     | 器高  | 底径     | 胎土            | 色調     | 焼成 | 特徴                   | 出土位置 | 備考 |
|----|-------|----|--------|-----|--------|---------------|--------|----|----------------------|------|----|
| 1  | 土師質土器 | 焙烙 | [28.8] | 3.2 | (27.3) | 長石・石英・雲母・赤色粒子 | にぶい黄褐色 | 普通 | 口縁部焼ナデ 焼成後径4mmの穿孔1か所 | 覆土上層 | 5% |

第2号溝跡（第29図 第21表）

**位置** 調査区中央部の I F 0 h5～I F 0 h6 区、標高 20 m ほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第13号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** I F 0 h5 区から東方向（N-97°-E）に直線状に延びている。東端が調査区域外のため、確認できた長さは 4.8 m である。上幅 0.84～1.31 m、下幅 0.34～0.72 m、深さ 17～25 cm で、断面形は浅い U 字状と逆台形状である。壁は外傾している。底面は平坦で、東西の高低差はない。

**覆土** 単一層である。層厚が薄いため、堆積状況は不明である。

**遺物出土状況** 土師質土器片 1 点（焙烙）が出土している。ほかに混入した縄文土器片 3 点、土師器片 2 点が出土している。1 は東部の覆土下層から出土している。

**所見** 時期は、出土土器から 18 世紀後半と考えられる。



第29図 第2号溝跡・出土遺物実測図

第21表 第2号溝跡出土遺物一覧（第29図）

| 番号 | 種別    | 器種 | 口径 | 器高    | 底径 | 胎土       | 色調     | 焼成 | 特徴  | 出土位置 | 備考 |
|----|-------|----|----|-------|----|----------|--------|----|-----|------|----|
| 1  | 土師質土器 | 焙烙 | -  | (4.1) | -  | 長石・石英・雲母 | にぶい黄褐色 | 普通 | 焼ナデ | 覆土下層 | 5% |

第4号溝跡（第30図 第22表 PL 4・9）

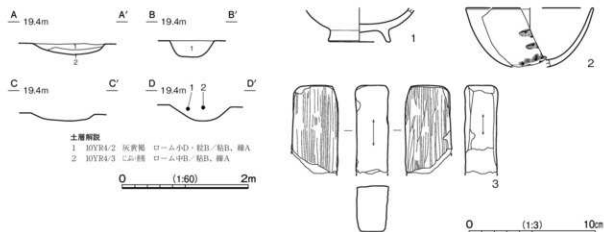
**位置** 調査区中央部の I G 0 b1～I G 0 d1 区、標高 19 m ほどの台地平坦部に位置している。

**規模と形状** I G 0 b1 区から南方向（N-6°-E）に直線状に延びている。長さは 8.1 m で、上幅 0.67～1.15 m、下幅 0.22～0.70 m、深さ 10～25 cm で、断面形は浅い U 字状と逆台形状である。壁は外傾している。底面は平坦で、南北の高低差はない。

**覆土** 2層に分層できる。層厚が薄いため、堆積状況は不明である。

**遺物出土状況** 土師質土器片 3 点（皿 1、甕 2）、陶器片 1 点（碗）、磁器片 1 点（碗）、石器 1 点（凝灰岩製砥石）が出土している。ほかに混入した縄文土器片 2 点、土師器片 1 点が出土している。1・2 は南部の覆土上層から、3 は南部の覆土中から、それぞれ出土している。

所見 時期は、出土遺物から18世紀前半と考えられる。



第30図 第4号溝跡・出土遺物実測図

第22表 第4号溝跡出土遺物一覧(第30図)

| 番号 | 種別 | 器種 | 口径    | 器高   | 底径  | 胎土・色調   | 特徴        | 釉薬        | 産地 | 出土位置 | 備考      |
|----|----|----|-------|------|-----|---------|-----------|-----------|----|------|---------|
| 1  | 陶器 | 碗  | —     | (27) | 4.9 | 緻密 浅黄褐色 | 段し輪 量付面取り | 灰釉        | 肥前 | 覆土上層 | 5% PL 9 |
| 2  | 磁器 | 碗  | [100] | (47) | —   | 緻密 灰白   | 体部外面染付草本文 | 透明釉<br>鉄絵 | 肥前 | 覆土上層 | 5% PL 9 |

| 番号 | 器種 | 長さ    | 幅   | 厚さ  | 重量      | 材質  | 特徴         | 出土位置 | 備考 |
|----|----|-------|-----|-----|---------|-----|------------|------|----|
| 3  | 紙石 | (7.0) | 3.6 | 2.6 | (11233) | 凝灰岩 | 紙面2面 側面線条痕 | 覆土   |    |

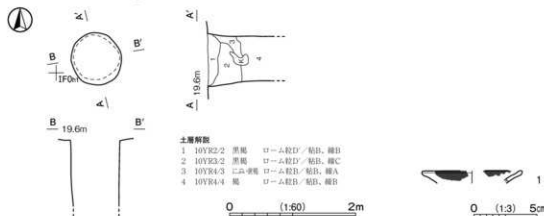
第23表 江戸時代の溝跡一覧

| 番号 | 位置                       | 方向         | 平面形  | 断面     |                |                |         | 断面         | 壁面 | 覆土 | 主な出土遺物           | 時期     | 備考      |
|----|--------------------------|------------|------|--------|----------------|----------------|---------|------------|----|----|------------------|--------|---------|
|    |                          |            |      | 長さ(m)  | 上幅(m)          | 下幅(m)          | 深さ(m)   |            |    |    |                  |        |         |
| 1  | 1 E 0 J 5 ~<br>1 F 0 g 5 | N ~ 8° ~ E | くの字状 | (20.1) | 0.42 ~<br>0.59 | 0.23 ~<br>0.61 | 13 ~ 25 | 逆台形        | 外傾 | 自然 | 土師質土器            | 18世紀後半 |         |
| 2  | 1 F 0 h 5 ~<br>1 F 0 h 6 | N ~ 9° ~ E | 直線状  | (4.8)  | 0.84 ~<br>1.31 | 0.34 ~<br>0.72 | 17 ~ 25 | U字状<br>逆台形 | 外傾 | 不明 | 土師質土器            | 18世紀後半 | 本跡→SK13 |
| 4  | 1 G 0 h 1 ~<br>1 G 0 h 1 | N ~ 6° ~ E | 直線状  | 8.1    | 0.67 ~<br>1.15 | 0.22 ~<br>0.70 | 10 ~ 25 | U字状<br>逆台形 | 外傾 | 不明 | 土師質土器・陶<br>磁器・凝灰 | 18世紀前半 |         |

## (2) 井戸跡

### 第1号井戸跡(第31図 第25表 PL 4)

位置 調査区中央部の1 F 0 g 1区、標高20mほどの台地平坦部に位置している。



第31図 第1号井戸跡・出土遺物実測図

**規模と形状** 平面形は、長径 0.85 m、短径 0.80 m の円形で、断面は円筒状を呈している。崩落の恐れがあったため、確認面から深さ 105cm までの調査とした。

**覆土** 4 層を確認した。いずれの層もローム粒子を不均質に含むことから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 土師質土器片 1 点（皿）が出土している。ほかに混入した縄文土器片 2 点、土師器片 3 点が出土している。1 は覆土上層から出土している。

**所見** 時期は、出土土器から江戸時代と推定される。

第 24 表 第 1 号井戸跡出土遺物一覧（第 31 図）

| 番号 | 種別    | 器種 | 口径    | 器高    | 底径 | 胎土    | 色調   | 他成 | 特徴            | 出土位置 | 備考 |
|----|-------|----|-------|-------|----|-------|------|----|---------------|------|----|
| 1  | 土師質土器 | 皿  | [7.8] | (1.0) | -  | 長石・石英 | 明赤褐色 | 普通 | ロクロ成形・口縁部油煙付着 | 覆土上層 | 5% |

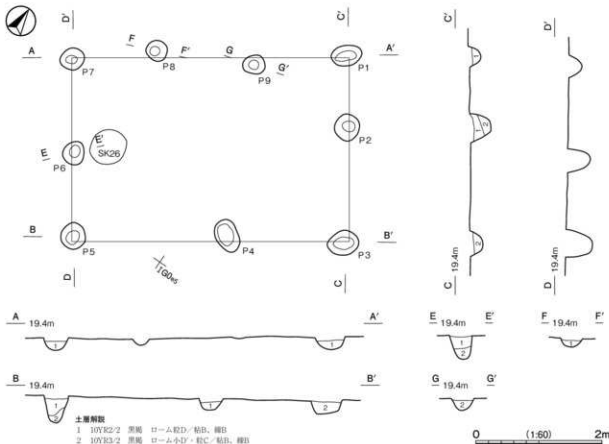
#### 4 時期不明の遺構と遺物

掘立柱建物跡 2 棟、溝跡 1 条、柱穴列 3 条、土坑 78 基、ピット群 4 か所を確認した。以下、遺構と遺物について記述する。

##### (1) 掘立柱建物跡

##### 第 2 号掘立柱建物跡（第 32 図 PL 4）

**位置** 調査区中央部の I G 0 d4 区、標高 19 m ほどの台地平坦部に位置している。



第 32 図 第 2 号掘立柱建物跡実測図

**重複関係** 第26号土坑との関係は不明である。

**規模と形状** 桁行3間、梁行2間の隅柱建物跡で、桁行方向がN-56°-Eの東西棟である。規模は桁行4.42m、梁行2.91m、面積は12.86㎡である。柱間寸法は、北桁行が西から1.34m、1.57m、1.51m、南桁行が西から2.47m、1.95mで、西梁行が北から1.50m、1.41m、東梁行が北から1.09m、1.82mである。北桁行を除き、柱筋はほぼ揃っている。

**柱穴** 9か所。平面形は円形と楕円形で、長径34～53cm、短径30～40cmである。深さは14～44cmである。覆土は、いずれも柱抜き取り後の流入土である。

**遺物出土状況** 混入した縄文土器片1点が出土している。

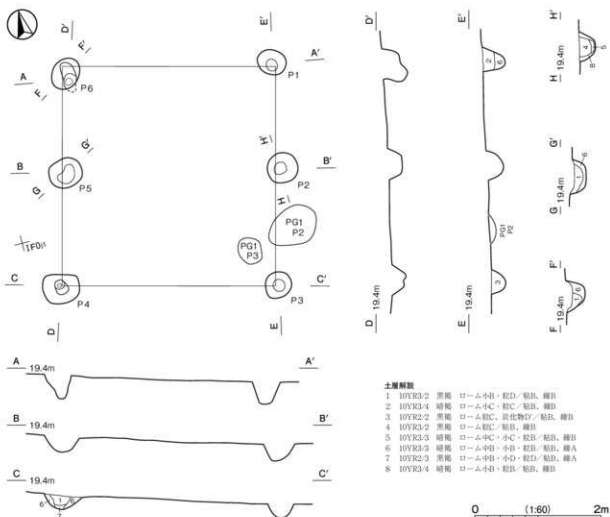
**所見** 遺構に伴う遺物が出土していないため、時期は不明である。

#### 第4号掘立柱建物跡 (第32図 PL4)

**位置** 調査区中央部のI F Oil区、標高19mほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第1号ピット群P1を掘り込んでいる。第1号ピット群P2・P3との関係は不明である。

**規模と形状** 桁行2間、梁行1間の隅柱建物跡で、桁行方向がN-14°-Eの南北棟である。規模は桁行3.48



第33図 第4号掘立柱建物跡実測図

m、梁行 3.40 m、面積は 11.83m<sup>2</sup>である。柱間寸法は、西桁行が北から 1.73 m、1.75 m、東桁行が北から 1.63 m、1.85 mである。柱筋はほぼ揃っている。

**柱穴** 6か所。平面形は円形と楕円形で、長径 45 ～ 58cm、短径 38 ～ 47cmである。深さは 22 ～ 40cmである。覆土は、第 1 ～ 5 層が柱抜き取り後の流入土で、第 6 ～ 8 層が掘方の埋土である。

**所見** 遺物が出土していないため、時期は不明である。

第 22 表 時期不明の掘立柱建物跡一覧

| 番号 | 位置   | 桁行方向    | 柱間数  |           | 規模    | 面積        | 柱間寸法      |       | 柱 穴 |        |       | 主な出土遺物 | 備 考     |
|----|------|---------|------|-----------|-------|-----------|-----------|-------|-----|--------|-------|--------|---------|
|    |      |         | 桁×梁間 | 桁×梁間(m)   |       |           | 桁間(m)     | 梁間(m) | 構造  | 柱穴数    | 平面形   |        |         |
| 2  | 1G0a | N-56°-E | 3×2  | 4.42×2.91 | 12.86 | 1.34～2.47 | 1.09～1.82 | 側柱    | 9   | 円形・楕円形 | 14～44 | 縄文土器   |         |
| 4  | 1F0b | N-14°-E | 2×1  | 3.48×3.40 | 11.83 | 1.63～1.85 | 3.40      | 側柱    | 6   | 円形・楕円形 | 22～40 |        | PG 1→本跡 |

## (2) 溝 跡 (平面図は遺構全体図参照)

### 第 3 号溝跡 (第 34 図 第 26 表 PL. 4)

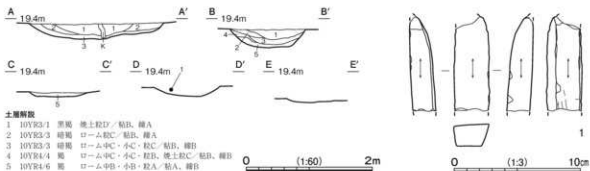
**位置** 調査区中央部の 1F0h1～1G0a2 区、標高 19 m ほどの台地平坦部に位置している。

**規模と形状** 1F0h1 区から東方向 (N-5°-E) にくの字状に延び、1F0i2 区で南方向 (N-17°-E) に向きを変え直線状に延びている。長さは 13.6 m で、上幅 0.68 ～ 2.24 m、下幅 0.32 ～ 1.53 m、深さ 7 ～ 28 cm で、断面形は浅い U 字状である。壁は外傾している。底面は平坦で、南に向かって緩やかに下っている。

**覆土** 5 層に分層できる。いずれの層も焼土粒子やロームブロック・粒子を不均質に含むことから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 石器 1 点 (凝灰岩製砥石) が出土している。ほかに混入した縄文土器片 6 点、土師器片 5 点が出土している。1 は中央部の覆土上層から出土している。

**所見** 時期は不明である。



第 34 図 第 3 号溝跡・出土遺物実測図

第 26 表 第 3 号溝跡出土遺物一覧 (第 34 図)

| 番号 | 品 種 | 長さ    | 幅   | 厚さ  | 重量      | 材 質 | 特 徴    | 出土位置 | 備 考 |
|----|-----|-------|-----|-----|---------|-----|--------|------|-----|
| 1  | 砥石  | (7.5) | 2.8 | 1.8 | (56.29) | 凝灰岩 | 砥面 4 面 | 覆土上層 |     |

### (3) 柱穴列

#### 第3号柱穴列 (第35図 PL 4)

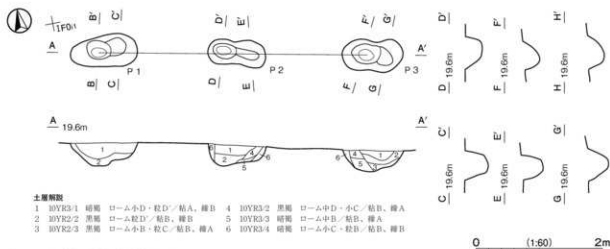
**位置** 調査区中央部のIF01区、標高19mほどの台地平坦部に位置している。

**規模と形状** 東西5.28mの間に3か所の柱穴を配列している。配列方向はN-79°-Wである。推定される柱間寸法は、西から1.95m、2.25mの合計5.20mとなり、柱筋はほぼ揃っている。

**柱穴** 3か所。平面形は楕円形と不整楕円形で、長径92～108cm、短径41～51cm、深さ26～35cmである。覆土は、第1～5層が柱抜き取り後の流入土、第6層が掘方の埋土である。

**遺物出土状況** 混入した縄文土器片3点が出土している。

**所見** 時期は不明である。



第35図 第3号柱穴列実測図

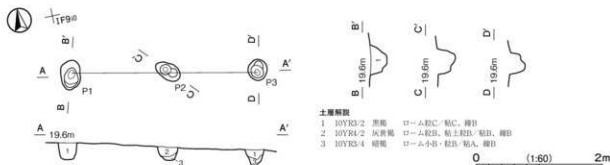
#### 第4号柱穴列 (第36図 PL 4)

**位置** 調査区中央部のIF90区、標高19mほどの台地平坦部に位置している。

**規模と形状** 東西3.28mの間に3か所の柱穴を配列している。配列方向はN-79°-Wである。推定される柱間寸法は、西から1.48m、1.47mの合計2.95mとなり、柱筋はほぼ揃っている。

**柱穴** 3か所。平面形は楕円形で、長径34～48cm、短径26～31cm、深さ25～29cmである。覆土は、いずれも柱抜き取り後の流入土である。

**所見** 時期は不明である。



第36図 第4号柱穴列実測図

第5号柱穴列 (第37図 PL 4)

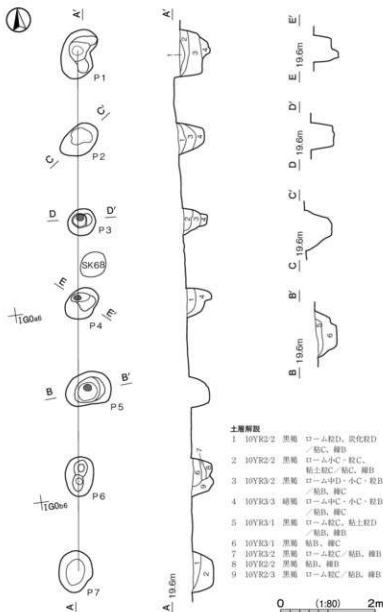
**位置** 調査区中央部の I F 016 区、標高 19 m ほどの台地平坦部に位置している。

**重複関係** 第 68 号土坑との関係は不明である。

**規模と形状** 南北 11.92 m の間に 7 か所の柱穴を配列している。配列方向は N-7°-E である。推定される柱間寸法は、北から 1.82 m、1.74 m、1.69 m、1.90 m、1.89 m、2.00 m の合計 11.04 m となり、柱筋はほぼ揃っている。

**柱穴** 7 か所。平面形は円形と楕円形で、長径 60 ~ 108 cm、短径 55 ~ 72 cm、深さ 44 ~ 69 cm である。P 3 ~ P 5 の底面で柱当たりと考えられる硬化部分を確認した。覆土は、いずれも柱抜き取り後の流入土である。

**所見** 時期は不明である。掘立柱建物跡の可能性もあるが、東側が調査区域外のため詳細は不明である。



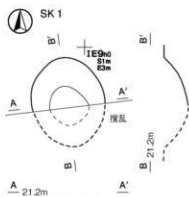
第37図 第5号柱穴列実測図

第27表 時期不明の柱穴一覧

| 番号 | 位置      | 配列方向    | 長さ(m) | 柱間 (m)      | 柱 穴 |                |          |         |         | 主な出土遺物 | 備 考 |
|----|---------|---------|-------|-------------|-----|----------------|----------|---------|---------|--------|-----|
|    |         |         |       |             | 柱穴数 | 平面形            | 長径(m)    | 短径(m)   | 深さ(cm)  |        |     |
| 3  | I F 011 | N-79°-W | 5.20  | 1.95 ~ 2.25 | 3   | 楕円形・<br>不規則楕円形 | 92 ~ 108 | 41 ~ 51 | 26 ~ 35 | 縄文土器   |     |
| 4  | I F 940 | N-79°-W | 2.95  | 1.47 ~ 1.48 | 3   | 楕円形            | 34 ~ 48  | 26 ~ 31 | 25 ~ 29 |        |     |
| 5  | I F 016 | N-7°-E  | 11.04 | 1.69 ~ 2.00 | 7   | 円形・楕円形         | 60 ~ 108 | 55 ~ 72 | 44 ~ 69 |        |     |

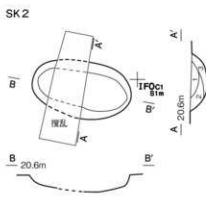
(4) 土坑

実測図 (第38 ~ 45図) と一覧 (第28・29表) で記載する。



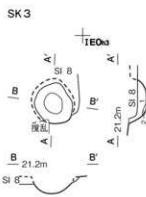
第1号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐色 ローム小粒・粒D/粘土、細B
- 2 10YR3/3 暗褐色 ローム小粒/粘土、細A
- 3 10YR3/4 暗褐色 ローム粒C/粘土、細A
- 4 10YR4/4 褐色 ローム粒C/粘土、細A



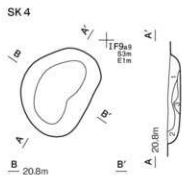
第2号土坑土層解説

- 1 10YR4/1 褐色 ローム粒D/粘土、細B
- 2 10YR4/3 石灰褐色 ローム粒D/粘土、細B
- 3 10YR4/4 褐色 ローム中粒・小粒・粒D/粘土、細B、細C



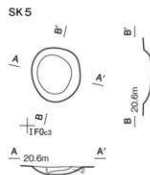
第3号土坑土層解説

- 1 7.5YR3/3 暗褐色 ローム粒B、焼土粒C、炭化粒C/粘土、細B
- 2 7.5YR4/3 褐色 ローム粒B/粘土、細B



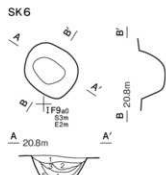
第4号土坑土層解説

- 1 7.5YR3/4 暗褐色 ローム中粒・小粒・粒C/粘土、細B
- 2 7.5YR4/3 暗褐色 ローム小粒・粒B、炭化粒D/粘土、細B
- 3 7.5YR4/6 褐色 ローム大粒・中粒/粘土A、細C



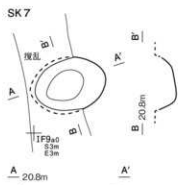
第5号土坑土層解説

- 1 7.5YR4/4 褐色 ローム中粒・小粒・粒A/粘土、細B
- 2 7.5YR4/6 褐色 ローム大粒・中粒・小粒・粒B/粘土、細B



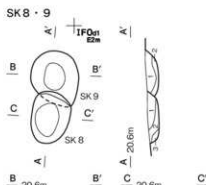
第6号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐色 ローム小粒/粘土、細B
- 2 10YR3/3 暗褐色 ローム小粒/粘土、細B
- 3 10YR4/3 石灰褐色 ローム小粒・粒B/粘土、細B
- 4 10YR4/2 灰黄色 ローム粒B/粘土、細B
- 5 10YR5/2 灰黄色 ローム粒A/粘土、細A



第7号土坑土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐色 ローム小粒/粘土、細A
- 2 10YR3/2 黒褐色 ローム粒C/粘土、細A
- 3 10YR4/2 灰黄色 ローム粒C/粘土、細A

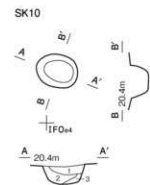


第8号土坑土層解説

- 1 7.5YR4/4 褐色 ローム粒A、焼土粒C、炭化粒D/粘土、細B
- 2 7.5YR4/6 褐色 ローム粒A、焼土粒C/粘土A、細B
- 3 7.5YR4/6 褐色 ローム粒A、焼土粒B、炭化粒C/粘土A、細B

第9号土坑土層解説

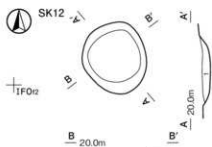
- 1 7.5YR3/3 暗褐色 ローム粒C、炭化粒D/粘土、細B
- 2 7.5YR4/6 褐色 ローム粒A、炭化粒D/粘土、細B



第10号土坑土層解説

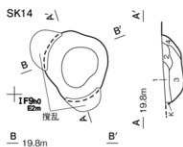
- 1 10YR2/2 黒褐色 黒土/粘土、細B
- 2 10YR3/2 黒褐色 ローム粒C/粘土、細B
- 3 10YR4/2 灰黄色 ローム粒C/粘土、細B

第38図 時期不明の土坑実測図(1)



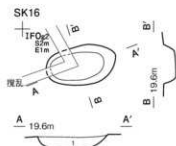
第12号土坑土層解説

- 1 10YR4/2 灰青褐色 ローム粒C、焼土粒D、炭化粒D  
／粘土、細砂



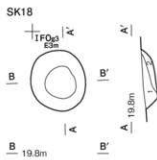
第14号土坑土層解説

- 1 10YR3/1 黒褐色 黒色土／粘土、細砂  
2 10YR3/2 黒褐色 ローム中D／粘土、細砂  
3 10YR3/3 暗褐色 ローム小C／粘土、細砂  
4 10YR2/3 黒褐色 黒色土／粘土、細砂



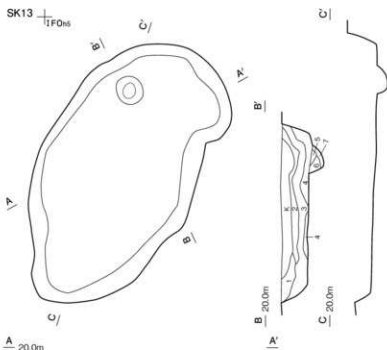
第16号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐色 ローム粒C／粘土、細砂



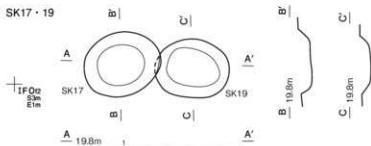
第18号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐色 ローム粒D／粘土、細砂  
2 10YR3/4 暗褐色 ローム粒C／粘土、細砂



第13号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐色 粘土粒D／粘土、細砂  
2 10YR3/3 暗褐色 ローム小D／粘土、細砂  
3 10YR3/2 黒褐色 ローム粒D／粘土、細砂  
4 10YR4/2 灰青褐色 ローム粒D／粘土、細砂  
5 10YR4/3 暗褐色 ローム粒D／粘土、細砂  
6 10YR4/3 暗褐色 ローム小D／粘土、細砂  
7 10YR4/2 灰青褐色 ローム粒D／粘土、細砂

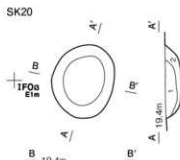


第17号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐色 ローム粒D／粘土、細砂  
2 10YR3/4 暗褐色 ローム粒D／粘土、細砂

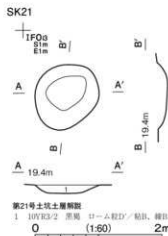
第19号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐色 ローム粒C／粘土、細砂



第20号土坑土層解説

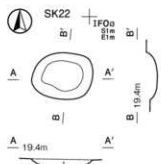
- 1 10YR3/2 黒褐色 ローム粒D／粘土、細砂  
2 10YR3/4 暗褐色 ローム粒D／粘土、細砂



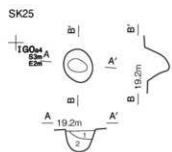
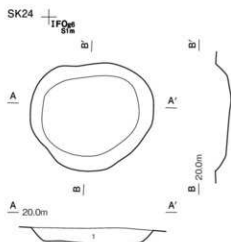
第21号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐色 ローム粒D／粘土、細砂

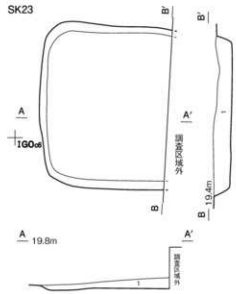
第39図 時期不明の土坑実測図(2)



第22号土坑土層解説  
1 10YR3/2 黒褐色 ローム粒D・粘B、粘B



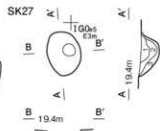
第24号土坑土層解説  
1 10YR3/3 暗褐色 ローム小D・粘B・粘B、粘B  
第25号土坑土層解説  
1 10YR3/2 黒褐色 ローム粒C・粘B、粘B  
2 10YR3/3 暗褐色 ローム小D・粘C・粘B、粘B



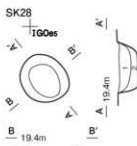
第23号土坑土層解説  
1 7.5YR2/1 黒褐色 ローム粒D・粘土粒D・粘B、粘B



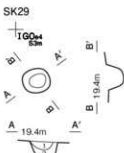
第26号土坑土層解説  
1 10YR2/2 黒褐色 粘B、粘B  
2 10YR3/3 暗褐色 ローム粒D・粘B、粘B



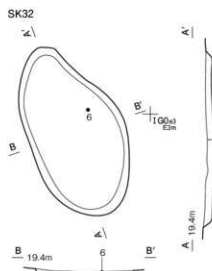
第27号土坑土層解説  
1 10YR3/1 黒褐色 粘B、粘B  
2 10YR3/2 黒褐色 ローム粒D・粘B、粘B  
3 10YR3/3 暗褐色 ローム粒C・粘B、粘B



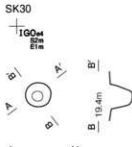
第28号土坑土層解説  
1 10YR3/1 黒褐色 粘B、粘B  
2 10YR3/2 黒褐色 ローム粒D・粘B、粘B



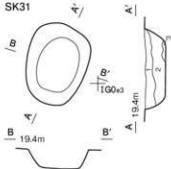
第29号土坑土層解説  
1 10YR3/1 黒褐色 ローム粒D・粘B、粘B  
2 10YR3/2 黒褐色 ローム粒C・粘B、粘B



第32号土坑土層解説  
1 10YR3/3 暗褐色 ローム粒D・粘C・粘B、粘B



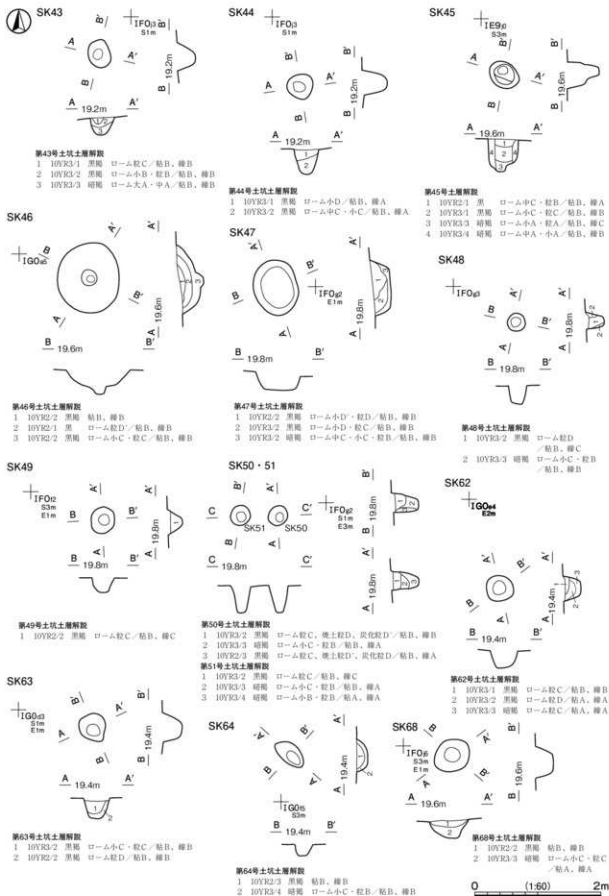
第30号土坑土層解説  
1 10YR3/1 黒褐色 ローム粒D・粘B、粘B  
2 10YR3/2 黒褐色 ローム粒C・粘B、粘B



第31号土坑土層解説  
1 10YR3/3 暗褐色 粘B、粘B  
2 10YR3/2 黒褐色 ローム中D・小D・粘D・粘B、粘B  
3 10YR3/4 暗褐色 ローム中A・粘B、粘B

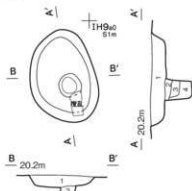


第40図 時期不明の土坑実測図(3)



第41図 時期不明の土坑実測図(4)

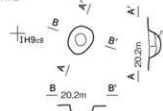
SK69



第69号土坑土層解説

- 1 10YR4/2 灰黄褐色 ローム粒C、使土粒D、炭化粒D、粘B、雜A
- 2 10YR3/3 暗褐色 ローム粒B、粘B、雜B
- 3 10YR3/2 暗褐色 ローム中心・小C・粒B、粘B、雜B
- 4 10YR4/4 褐色 ローム小B・粒A、粘B、雜B

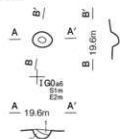
SK72



第72号土坑土層解説

- 1 10YR4/3 土黄褐色 ローム小C・粒B、粘B、雜B
- 2 10YR3/4 暗褐色 炭化粒D、粘B、雜A

SK75



第75号土坑土層解説

- 1 10YR3/4 暗褐色 ローム小C・粒B、粘B、雜B
- 2 10YR4/3 土黄褐色 ローム粒B、粘B、雜B

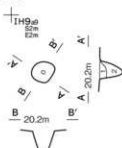
SK78



第78号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐色 ローム粒C、粘B、雜B
- 2 10YR3/4 暗褐色 ローム小C・粒B、粘B、雜B
- 3 10YR2/2 黒褐色 ローム粒C、粘B、雜C

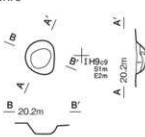
SK70



第70号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐色 ローム小C・粒C、粘C、雜B
- 2 10YR3/3 暗褐色 ローム小C・粒B、粘B、雜C

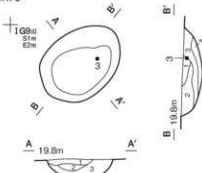
SK73



第73号土坑土層解説

- 1 10YR3/4 暗褐色 ローム小C・粒B、粘B、雜B
- 2 10YR4/4 褐色 ローム小B・粒B、粘B、雜B

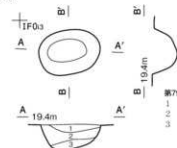
SK76



第76号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐色 ローム小D・粒C、使土粒D、粘B、雜B
- 2 10YR3/1 黒褐色 ローム中C・小C・粒C、使土粒D、粘B、雜B
- 3 10YR3/3 暗褐色 ローム中D・小C・粒C、使土粒D、粘B、雜B
- 4 10YR4/4 褐色 ローム中B・小B・粒B、粘B、雜B

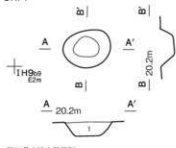
SK79



第79号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐色 ローム小C・粒C、粘B、雜B
- 2 10YR3/3 暗褐色 ローム中C・小C・粒B、粘B、雜B
- 3 10YR4/4 褐色 ローム中C・小B・粒A、粘B、雜B

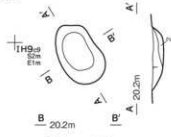
SK71



第71号土坑土層解説

- 1 10YR3/2 黒褐色 ローム小C・粒C、使土粒D、炭化粒D、粘C、雜B

SK74



第74号土坑土層解説

- 1 10YR3/4 暗褐色 ローム小B・粒B、粘B、雜C
- 2 10YR3/2 黒褐色 ローム小D・粒C、粘C、雜C

SK77

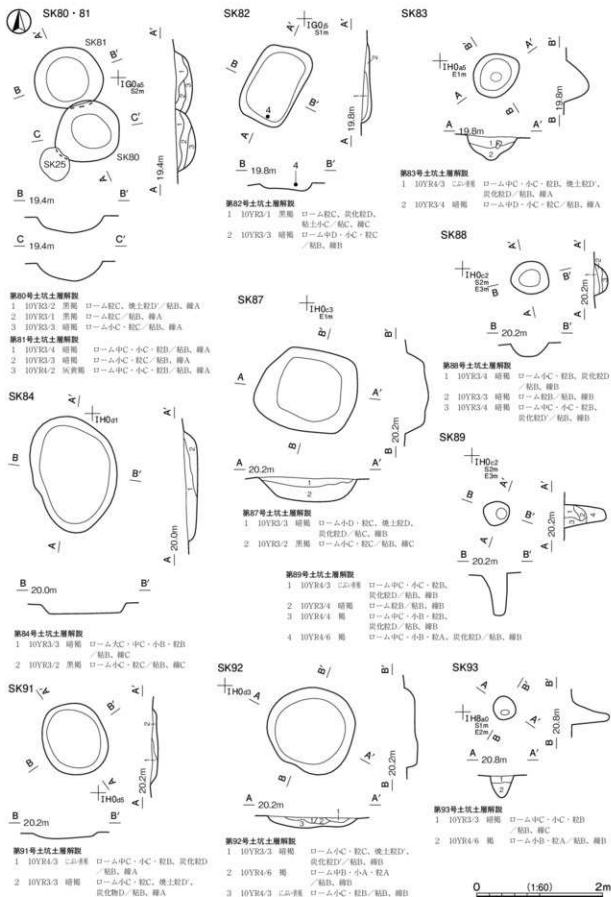


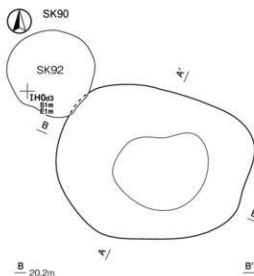
第77号土坑土層解説

- 1 10YR3/3 暗褐色 ローム粒B、粘B、雜C
- 2 10YR3/2 黒褐色 ローム粒C、粘B、雜C
- 3 10YR3/4 黒褐色 ローム小C・粒B、粘B、雜B

0 (1:60) 2m

第42図 時期不明の土坑実測図(5)

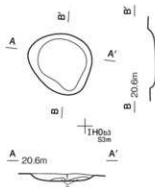




#### 第90号土坑土層解説

- 1 10YR3/4 埴間 ローム中C・小C・粒C、焼土粒D' /粘土、礫B
- 2 10YR4/3 土間層 ローム小D・粒D /粘土、礫B
- 3 10YR4/3 土間層 ローム中D・小D・粒C /粘土、礫B
- 4 10YR3/4 埴間 ローム小C・粒C /粘土、礫B
- 5 10YR3/4 埴間 ローム中D'・小C・粒C /粘土、礫B
- 6 10YR3/3 埴間 ローム小D'・粒C /粘土、礫B
- 7 10YR4/3 土間層 ローム中C・小D・粒C /粘土、礫B

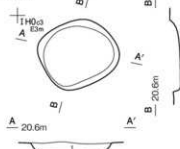
#### SK99



#### 第99号土坑土層解説

- 1 10YR3/4 埴間 ローム中B・小B /粘土、礫B
- 2 10YR4/6 間 ローム粒A /粘土、礫A

#### SK101



#### 第101号土坑土層解説

- 1 10YR4/3 土間層 ローム中C・小C・粒A /粘土、礫B

#### SK94



#### 第94号土坑土層解説

- 1 10YR4/4 間 ローム中B・小B・粒B /粘土、礫B
- 2 10YR4/6 間 ローム中C・小B・粒A /粘土、礫B

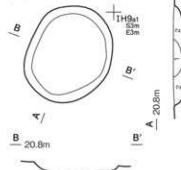
#### SK95



#### 第95号土坑土層解説

- 1 10YR3/4 埴間 ローム中C・小C・粒B、焼土粒D' /粘土、礫A
- 2 10YR4/6 間 ローム大C・中C・小B・粒A、炭化物D' /粘土、礫A

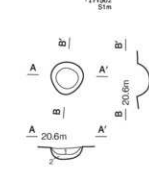
#### SK96



#### 第96号土坑土層解説

- 1 10YR4/3 土間層 ローム中C・小C・粒B、  
焼土粒D'、炭化物D' /粘土、礫B
- 2 10YR4/4 間 ローム大B・中C・小C・粒B /粘土、礫A

#### SK97



#### 第97号土坑土層解説

- 1 10YR3/4 埴間 ローム小C・粒B、  
焼土粒D' /粘土、礫B
- 2 10YR4/3 土間層 ローム中C・小B、  
粒B /粘土、礫B

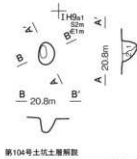
#### SK100



#### 第100号土坑土層解説

- 1 10YR3/4 埴間 ローム小C・粒C /粘土、礫B
- 2 10YR4/3 土間層 ローム小C・粒A /粘土、礫B
- 3 10YR4/4 間 ローム小B・粒B /粘土、礫B
- 4 10YR4/6 間 ローム大B・中B・小A・粒A /粘土、礫B

#### SK104

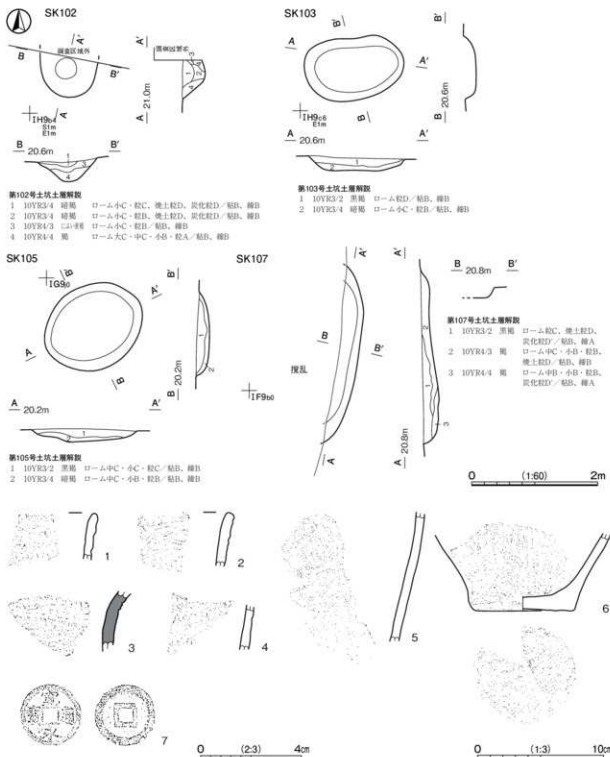


#### 第104号土坑土層解説

- 1 10YR4/3 土間層 ローム中C・小B、  
粒B /粘土、礫B
- 2 10YR4/6 間 ローム粒A /粘土、礫B

0 (1:60) 2m

第 44 図 時期不明の土坑実測図 (7)



第45図 時期不明の土坑・出土遺物実測図

第28表 時期不明の土坑出土遺物一覧(第45図 PL.9)

| 番号 | 種別   | 器種 | 口径 | 器高    | 底径 | 胎土       | 色調     | 焼成 | 特徴                            | 出土位置      | 備考          |
|----|------|----|----|-------|----|----------|--------|----|-------------------------------|-----------|-------------|
| 1  | 縄文土器 | 深鉢 | -  | (3.7) | -  | 長石・石英    | 灰褐色    | 普通 | 口縁部条線帯 具段状文 三角文               | SK31 覆土   | 5% PL.9 浮島式 |
| 2  | 縄文土器 | 深鉢 | -  | (4.2) | -  | 長石・石英・雲母 | にぶい橙   | 普通 | 半截竹管による平行波線文                  | SK101 覆土  | 5% PL.9 浮島式 |
| 3  | 縄文土器 | 深鉢 | -  | (4.8) | -  | 長石・石英・雲母 | にぶい赤褐色 | 普通 | 半截竹管による押引文 円形竹管による刺突文 内面目取条線文 | SK26 覆土上層 | 5% PL.9 浮島式 |
| 4  | 縄文土器 | 深鉢 | -  | (3.5) | -  | 長石・石英    | 灰褐色    | 普通 | 三角文                           | SK82 覆土上層 | 5% PL.9     |

| 番号 | 種 別  | 器種 | 口径 | 器高    | 底径 | 胎 土   | 色 調 | 焼 成 | 特 徴         | 出土位置      | 備 考              |
|----|------|----|----|-------|----|-------|-----|-----|-------------|-----------|------------------|
| 5  | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (102) | —  | 長石・石英 | 灰褐色 | 普通  | 格子状の条線文     | SK14 覆土   | 5% PL 9<br>前期—中期 |
| 6  | 縄文土器 | 深鉢 | —  | (61)  | 80 | 長石・石英 | 灰褐色 | 普通  | 樹洞系工具による条線文 | SK12 覆土上層 | 10%              |

| 番号 | 銭 種  | 径    | 孔 径  | 厚さ   | 重量     | 材質 | 初測年  | 特 徴 | 出土位置    | 備 考  |
|----|------|------|------|------|--------|----|------|-----|---------|------|
| 7  | 寛永通寶 | 2.40 | 0.55 | 0.10 | (2.25) | 銅  | 1636 | 古寛永 | SK13 覆土 | PL 9 |

第 29 表 時期不明の土坑一覧

| 番号 | 位 置      | 長径方向    | 平面形      | 規 模             |         | 地 面 | 底 面 | 覆 土 | 主 な 出 土 遺 物  | 備 考                 |
|----|----------|---------|----------|-----------------|---------|-----|-----|-----|--------------|---------------------|
|    |          |         |          | 長径×短径 (m)       | 深さ (cm) |     |     |     |              |                     |
| 1  | 1 E 9 10 | N-12'-W | [楕円形]    | [1.44] × 1.14   | 42      | 外傾  | 皿状  | 自然  |              |                     |
| 2  | 1 F 9 e0 | N-81'-W | 楕円形      | 1.58 × 0.91     | 26      | 外傾  | 皿状  | 自然  |              |                     |
| 3  | 1 E 0 12 | N-30'-W | [楕円形]    | [0.72] × [0.65] | 27      | 外傾  | 皿状  | 人為  | 縄文土器 土師器     | 本跡→SK 8             |
| 4  | 1 F 9 a0 | N-33'-E | 楕円形      | 1.44 × 1.13     | 19      | 外傾  | 平皿  | 人為  |              |                     |
| 5  | 1 F 0 13 | —       | 円形       | 0.86 × 0.79     | 13      | 外傾  | 皿状  | 人為  |              |                     |
| 6  | 1 F 9 a0 | N-56'-W | 楕円形      | 0.87 × 0.74     | 41      | 外傾  | 平皿  | 自然  |              |                     |
| 7  | 1 F 9 a0 | N-78'-E | [楕円形]    | [1.21] × [0.88] | 32      | 外傾  | 平皿  | 自然  |              |                     |
| 8  | 1 F 0 11 | N-10'-E | 楕円形      | 0.84 × 0.60     | 17      | 外傾  | 平皿  | 人為  | 土師器          | SK 9→本跡             |
| 9  | 1 F 0 11 | N-29'-W | 楕円形      | 0.93 × 0.76     | 20      | 外傾  | 皿状  | 人為  | 土師器          | 本跡→SK 8             |
| 10 | 1 F 0 11 | N-69'-W | 楕円形      | 0.67 × 0.53     | 28      | 外傾  | 平皿  | 自然  | 土師器          |                     |
| 12 | 1 F 0 12 | N-22'-W | 楕円形      | 1.13 × 1.00     | 14      | 外傾  | 皿状  | 不明  |              | SI 9→本跡             |
| 13 | 1 F 0 15 | N-32'-E | 不整形円形    | 4.57 × 2.58     | 48      | 外傾  | 平皿  | 人為  | 縄文土器 陶器 寛永通寶 | SD 2→本跡<br>底面にビッドあり |
| 14 | 1 F 9 a0 | N-20'-W | [楕円形]    | [1.12] × 1.02   | 30      | 外傾  | 平皿  | 人為  | 縄文土器         |                     |
| 16 | 1 F 0 12 | N-78'-E | 楕円形      | [1.11] × 0.62   | 19      | 外傾  | 平皿  | 不明  | 縄文土器         |                     |
| 17 | 1 F 0 12 | N-80'-E | 楕円形      | 1.22 × 1.00     | 20      | 外傾  | 平皿  | 人為  | 縄文土器         | SK19→本跡             |
| 18 | 1 F 0 13 | N-11'-W | 楕円形      | 0.96 × 0.86     | 21      | 外傾  | 平皿  | 自然  |              |                     |
| 19 | 1 F 0 12 | N-88'-W | 楕円形      | [1.20] × 0.92   | 19      | 外傾  | 皿状  | 不明  |              | 本跡→SK17             |
| 20 | 1 F 0 13 | N-15'-E | 楕円形      | 1.16 × 0.95     | 25      | 外傾  | 平皿  | 自然  |              |                     |
| 21 | 1 F 0 13 | N-38'-E | 楕円形      | 1.11 × 0.95     | 16      | 外傾  | 平皿  | 不明  |              |                     |
| 22 | 1 F 0 13 | N-77'-W | 楕円形      | 1.00 × 0.75     | 14      | 外傾  | 平皿  | 不明  |              |                     |
| 23 | 1 G 0 16 | N-1'-E  | [方形・長方形] | 2.58 × (2.05)   | 27      | 外傾  | 平皿  | 不明  | 土師器          |                     |
| 24 | 1 F 0 15 | N-73'-E | 楕円形      | 1.95 × 1.70     | 24      | 外傾  | 平皿  | 人為  |              |                     |
| 25 | 1 G 0 11 | N-22'-W | 楕円形      | 0.54 × 0.45     | 37      | 外傾  | 皿状  | 人為  |              | SK30→本跡<br>柱穴。      |
| 26 | 1 G 0 11 | N-25'-E | 楕円形      | 0.60 × 0.54     | 37      | 外傾  | 平皿  | 人為  |              | 柱穴。                 |
| 27 | 1 G 0 15 | N-14'-W | 楕円形      | 0.70 × 0.53     | 33      | 外傾  | 皿状  | 人為  |              | 柱穴。                 |
| 28 | 1 G 0 15 | N-41'-W | 楕円形      | 0.80 × 0.71     | 33      | 外傾  | 平皿  | 自然  | 縄文土器         |                     |
| 29 | 1 G 0 11 | N-60'-E | 楕円形      | 0.43 × 0.38     | 26      | 外傾  | 皿状  | 人為  |              | 柱穴。                 |
| 30 | 1 G 0 11 | —       | 円形       | 0.41 × 0.38     | 33      | 外傾  | 皿状  | 人為  |              | 柱穴。                 |
| 31 | 1 G 0 12 | N-13'-E | 楕円形      | 1.30 × 0.98     | 32      | 外傾  | 平皿  | 人為  | 縄文土器 土師質土器   |                     |
| 32 | 1 G 0 13 | N-23'-W | 楕円形      | 2.86 × 1.54     | 13      | 外傾  | 平皿  | 不明  | 縄文土器 土師器     |                     |
| 43 | 1 F 0 12 | N-21'-W | 楕円形      | 0.44 × 0.34     | 29      | 外傾  | 皿状  | 人為  |              | 柱穴。                 |
| 44 | 1 F 0 13 | —       | 円形       | 0.40 × 0.40     | 39      | 外傾  | 皿状  | 人為  |              | 柱穴。                 |
| 45 | 1 E 9 10 | N-54'-W | 楕円形      | 0.49 × 0.40     | 51      | 外傾  | 有段  | 人為  | 縄文土器         | 柱穴                  |
| 46 | 1 G 0 15 | N-90'   | 楕円形      | 1.11 × 0.98     | 30      | 外傾  | 皿状  | 人為  |              | 底面にビッドあり            |
| 47 | 1 F 0 12 | N-16'-W | 楕円形      | 0.88 × 0.70     | 29      | 外傾  | 平皿  | 人為  |              |                     |
| 48 | 1 F 0 13 | —       | 円形       | 0.29 × 0.28     | 29      | 外傾  | 皿状  | 人為  |              | 柱穴                  |
| 49 | 1 F 0 12 | N-2'-W  | 楕円形      | 0.42 × 0.36     | 23      | 外傾  | 皿状  | 人為  |              | 柱穴。                 |
| 50 | 1 F 0 12 | N-17'-E | 楕円形      | 0.33 × 0.30     | 44      | 外傾  | 皿状  | 人為  |              | 柱穴。                 |

| 番号  | 位置       | 長径方向    | 平面形   | 規 模             |         | 壁 面 | 底 面 | 覆 土 | 主な出土遺物 | 備 考                 |
|-----|----------|---------|-------|-----------------|---------|-----|-----|-----|--------|---------------------|
|     |          |         |       | 長径×短径 (m)       | 深さ (cm) |     |     |     |        |                     |
| 51  | I F 0 a2 | -       | 円形    | 0.32 × 0.31     | 42      | 外縁  | 皿状  | 人為  |        | 柱穴                  |
| 62  | I G 0 e4 | -       | 円形    | 0.45 × 0.42     | 28      | 外縁  | 平坦  | 人為  |        |                     |
| 63  | I G 0 d3 | N-30°-W | 楕円形   | 0.47 × 0.43     | 33      | 外縁  | 皿状  | 人為  |        | 柱穴                  |
| 64  | I G 0 b5 | N-52°-W | 楕円形   | 0.56 × 0.29     | 18      | 外縁  | 平坦  | 人為  |        | 柱穴                  |
| 68  | I F 0 b6 | N-53°-E | 楕円形   | 0.62 × 0.52     | 28      | 外縁  | 皿状  | 人為  |        |                     |
| 69  | I H 9 a9 | N-12°-W | 楕円形   | 1.49 × 1.05     | 24      | 外縁  | 平坦  | 人為  |        | 底面にビッドあり            |
| 70  | I H 9 a9 | N-69°-E | 楕円形   | 0.38 × 0.33     | 42      | 外縁  | 皿状  | 人為  |        | 柱穴                  |
| 71  | I H 9 a9 | N-86°-E | 楕円形   | 0.76 × 0.60     | 22      | 外縁  | 平坦  | 人為  | 縄文土器   |                     |
| 72  | I H 9 c9 | N-22°-E | 楕円形   | 0.46 × 0.37     | 20      | 外縁  | 皿状  | 人為  |        | 柱穴                  |
| 73  | I H 9 c9 | N-23°-W | 楕円形   | 0.55 × 0.48     | 16      | 外縁  | 平坦  | 人為  |        | 柱穴                  |
| 74  | I H 9 c9 | N-34°-W | 楕円形   | 1.03 × 0.64     | 17      | 外縁  | 平坦  | 自然  |        |                     |
| 75  | I G 0 a6 | N-85°-W | 楕円形   | 0.31 × 0.25     | 14      | 外縁  | 皿状  | 人為  | 縄文土器   | 土師質土器               |
| 76  | I G 0 d0 | N-46°-E | 楕円形   | 1.43 × 1.03     | 31      | 外縁  | 皿状  | 人為  | 縄文土器   |                     |
| 77  | I G 0 b6 | -       | 円形    | 0.29 × 0.29     | 27      | 外縁  | 皿状  | 人為  |        | 柱穴                  |
| 78  | I G 0 a6 | N-25°-W | 楕円形   | 0.43 × 0.39     | 66      | 外縁  | 皿状  | 人為  |        | 柱穴                  |
| 79  | I F 0 c3 | N-82°-E | 楕円形   | 0.98 × 0.71     | 40      | 外縁  | 皿状  | 人為  |        |                     |
| 80  | I G 0 a4 | -       | 円形    | [1.07] × 0.98   | 31      | 外縁  | 皿状  | 人為  |        | SK81 → 本跡<br>→ SK25 |
| 81  | I G 0 a4 | -       | 円形    | 1.08 × [1.00]   | 27      | 外縁  | 皿状  | 人為  |        | 本跡 → SK80           |
| 82  | I G 0 b4 | N-28°-E | 長方形   | 1.32 × 0.83     | 14      | 外縁  | 平坦  | 人為  | 縄文土器   | 砥石                  |
| 83  | I H 0 a5 | N-54°-E | 楕円形   | 0.80 × 0.66     | 37      | 外縁  | 皿状  | 人為  |        |                     |
| 84  | I H 9 d0 | N-13°-W | 楕円形   | 1.87 × 1.33     | 21      | 外縁  | 平坦  | 人為  |        |                     |
| 87  | I H 0 c3 | N-80°-W | 不整形   | 1.54 × 1.30     | 37      | 外縁  | 皿状  | 人為  |        |                     |
| 88  | I H 0 c3 | N-77°-E | 楕円形   | 0.60 × 0.52     | 22      | 外縁  | 皿状  | 人為  |        |                     |
| 89  | I H 0 c2 | -       | 円形    | 0.41 × 0.39     | 66      | 外縁  | 皿状  | 人為  |        | 柱穴                  |
| 90  | I H 0 d3 | N-81°-E | 楕円形   | 3.15 × 2.45     | 65      | 外縁  | 皿状  | 人為  | 縄文土器   | SI2 → 本跡<br>→ SK92  |
| 91  | I H 0 c4 | N-34°-W | 楕円形   | 1.18 × 1.03     | 10      | 外縁  | 平坦  | 人為  |        |                     |
| 92  | I H 0 d3 | -       | 円形    | 1.40 × 1.37     | 18      | 外縁  | 皿状  | 人為  | 磁器     | SK90 → 本跡           |
| 93  | I H 8 a0 | -       | 円形    | 0.38 × 0.35     | 59      | 外縁  | 皿状  | 人為  |        | 柱穴                  |
| 94  | I H 9 a1 | N-59°-E | 楕円形   | 0.36 × 0.27     | 21      | 外縁  | 皿状  | 人為  |        | 柱穴                  |
| 95  | I H 9 a1 | -       | 円形    | 0.48 × 0.47     | 35      | 外縁  | 皿状  | 人為  |        | 柱穴                  |
| 96  | I H 9 a1 | N-26°-E | 楕円形   | 1.58 × 1.33     | 16      | 外縁  | 平坦  | 人為  |        |                     |
| 97  | I H 9 b1 | -       | 円形    | 0.51 × 0.49     | 20      | 外縁  | 皿状  | 人為  | 縄文土器   | 柱穴                  |
| 99  | I H 0 b2 | N-50°-W | 楕円形   | 1.04 × 0.92     | 12      | 外縁  | 平坦  | 人為  |        |                     |
| 100 | I H 9 b3 | N-16°-E | [楕円形] | 0.96 × (0.92)   | 41      | 外縁  | 平坦  | 人為  |        |                     |
| 101 | I H 0 c3 | N-64°-E | 楕円形   | 1.20 × 1.05     | 17      | 外縁  | 平坦  | 不明  | 縄文土器   |                     |
| 102 | I H 9 b4 | N-10°-E | [楕円形] | 0.94 × (0.63)   | 36      | 外縁  | 皿状  | 人為  |        | 柱穴                  |
| 103 | I H 9 b6 | N-79°-E | 楕円形   | 1.56 × 0.97     | 22      | 外縁  | 平坦  | 自然  |        |                     |
| 104 | I H 9 a1 | N-4°-W  | 楕円形   | 0.35 × 0.25     | 23      | 外縁  | 皿状  | 人為  | 縄文土器   | 柱穴                  |
| 105 | I G 9 d0 | N-60°-E | 楕円形   | 1.65 × 1.34     | 20      | 外縁  | 皿状  | 人為  | 縄文土器   |                     |
| 107 | I F 9 a0 | N-23°-E | [楕円形] | (2.83) × (0.34) | 25      | 外縁  | 平坦  | 人為  |        | 変形版 SI 5            |

## (5) ビッド群

4 か所を確認した。平面図は遺構全体図（付図）に掲載し、規模は計測表（第30～33表）で記載する。

第30表 第1号ビット群計測表

| 番号 | 位置      | 平面形 | 規 模 (cm) |    |    |
|----|---------|-----|----------|----|----|
|    |         |     | 長径       | 短径 | 深さ |
| 1  | I F 0 2 | 楕円形 | [76]     | 40 | 22 |
| 2  | I F 0 2 | 楕円形 | 83       | 61 | 17 |
| 3  | I F 0 3 | 楕円形 | 44       | 38 | 39 |
| 4  | I F 0 2 | 円形  | 45       | 42 | 14 |
| 5  | I G 0 a | 楕円形 | 54       | 39 | 19 |
| 6  | I F 0 3 | 楕円形 | 89       | 75 | 12 |

| 番号  | 位置      | 平面形 | 規 模 (cm) |      |    |
|-----|---------|-----|----------|------|----|
|     |         |     | 長径       | 短径   | 深さ |
| 7   | I F 9 0 | 不定形 | 62       | 60   | 12 |
| 8 A | I F 9 0 | 楕円形 | 75       | 63   | 45 |
| 8 B | I F 9 0 | 楕円形 | 105      | [80] | 38 |
| 9   | I F 9 0 | 楕円形 | 46       | 36   | 61 |
| 10  | I F 9 0 | 円形  | 67       | 62   | 87 |
| 11  | I F 9 0 | 楕円形 | 65       | [42] | 86 |

| 番号 | 位置      | 平面形   | 規 模 (cm) |      |    |
|----|---------|-------|----------|------|----|
|    |         |       | 長径       | 短径   | 深さ |
| 12 | I F 9 0 | 不整楕円形 | 73       | 70   | 82 |
| 13 | I F 9 0 | 楕円形   | 72       | 60   | 50 |
| 14 | I F 9 0 | 楕円形   | 82       | 66   | 52 |
| 15 | I F 0 3 | 円形    | 45       | 41   | 18 |
| 16 | I F 0 3 | 円形    | 31       | 25   | 36 |
| 17 | I F 9 0 | 不整楕円形 | 94       | [50] | 19 |

第31表 第2号ビット群計測表

| 番号 | 位置      | 平面形 | 規 模 (cm) |    |    |
|----|---------|-----|----------|----|----|
|    |         |     | 長径       | 短径 | 深さ |
| 1  | I F 0 b | 円形  | 30       | 28 | 24 |
| 2  | I F 0 b | 円形  | 35       | 34 | 25 |
| 3  | I F 0 b | 円形  | 30       | 28 | 23 |
| 4  | I F 0 b | 円形  | 40       | 35 | 36 |
| 5  | I F 9 0 | 楕円形 | 35       | 28 | 24 |
| 6  | I F 9 0 | 楕円形 | 44       | 37 | 19 |

第32表 第3号ビット群計測表

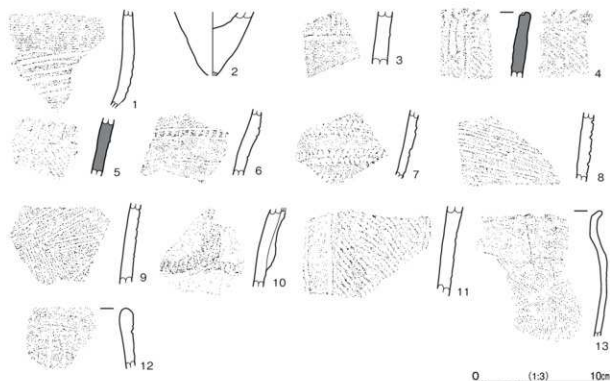
| 番号 | 位置      | 平面形 | 規 模 (cm) |    |    |
|----|---------|-----|----------|----|----|
|    |         |     | 長径       | 短径 | 深さ |
| 1  | I G 0 b | 楕円形 | 59       | 50 | 29 |
| 2  | I G 0 b | 楕円形 | 47       | 40 | 32 |
| 3  | I G 0 b | 円形  | 57       | 53 | 58 |
| 4  | I G 0 b | 楕円形 | 39       | 26 | 45 |
| 5  | I G 0 b | 楕円形 | 40       | 32 | 54 |
| 6  | I G 0 b | 円形  | 49       | 49 | 47 |
| 7  | I G 0 b | 楕円形 | 36       | 32 | 31 |
| 8  | I G 0 b | 楕円形 | 53       | 45 | 48 |
| 9  | I G 0 b | 不定形 | 45       | 37 | 45 |
| 10 | I G 0 c | 楕円形 | 66       | 51 | 28 |
| 11 | I G 0 c | 楕円形 | 45       | 33 | 42 |

第33表 第4号ビット群計測表

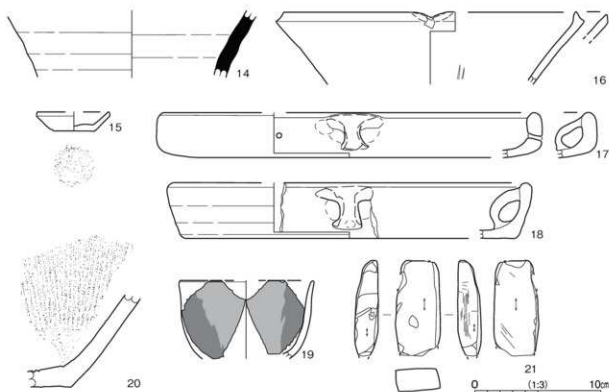
| 番号 | 位置      | 平面形 | 規 模 (cm) |    |    |
|----|---------|-----|----------|----|----|
|    |         |     | 長径       | 短径 | 深さ |
| 1  | I H 0 b | 円形  | 22       | 21 | 20 |
| 2  | I H 0 b | 円形  | 27       | 27 | 17 |
| 3  | I H 0 b | 楕円形 | 29       | 25 | 23 |
| 4  | I H 0 b | 楕円形 | 38       | 34 | 30 |

## 5 遺構外出土遺物(第46・47図 第34表 PL10)

遺構外出土遺物の主なものについて、実測図と一覧表で記載する。



第46図 遺構外出土遺物実測図(1)



第 47 図 遺構外出土遺物実測図 (2)

第 34 表 遺構外出土遺物一覧 (第 46・47 図)

| 番号 | 種 別   | 器種    | 口径    | 器高     | 底径      | 胎 土            | 色 調           | 焼成    | 特 徴                             | 出土位置     | 備 考              |
|----|-------|-------|-------|--------|---------|----------------|---------------|-------|---------------------------------|----------|------------------|
| 1  | 縄文土器  | 深鉢    | —     | (7.8)  | —       | 長石・石英          | 灰褐色           | 普通    | 半截竹管による平行沈線文                    | SK106 覆土 | 5% PL10<br>出口下層式 |
| 2  | 縄文土器  | 深鉢    | —     | (5.0)  | —       | 長石・石英・赤色粘土     | 褐色            | 普通    | 鋭角尖底                            | 表土       | 5% PL10          |
| 3  | 縄文土器  | 深鉢    | —     | (4.2)  | —       | 長石・石英          | にぶい褐色         | 普通    | 縦位・横位相隣起線文                      | 表土       | 5% PL10<br>野島式   |
| 4  | 縄文土器  | 深鉢    | —     | (5.2)  | —       | 長石・石英・繊維       | 明褐色           | 普通    | 口唇部キザミ 条痕文 縦位・斜位相隣起線文           | SI 7     | 5% PL10<br>細ヶ島式  |
| 5  | 縄文土器  | 深鉢    | —     | (4.6)  | —       | 長石・石英・繊維       | 褐色            | 普通    | 条痕文 縦位・横位相隣起線文                  | SD 2     | 5% PL10          |
| 6  | 縄文土器  | 深鉢    | —     | (5.2)  | —       | 長石・石英          | 明赤褐色          | 普通    | 貝殻痕線文                           | SI 6     | 5% PL10<br>前期晩季  |
| 7  | 縄文土器  | 深鉢    | —     | (5.4)  | —       | 長石・石英          | 褐色            | 普通    | 半截竹管による爪形文                      | 表土       | 5% PL10<br>浮島式   |
| 8  | 縄文土器  | 深鉢    | —     | (5.5)  | —       | 長石・石英・赤色粘土     | にぶい褐色         | 普通    | 半截竹管による平行沈線文                    | 表土       | 5% PL10          |
| 9  | 縄文土器  | 深鉢    | —     | (6.4)  | —       | 長石・石英          | 褐色            | 普通    | 半截竹管による平行沈線 爪形文                 | 表土       | 5% PL10          |
| 10 | 縄文土器  | 深鉢    | —     | (6.2)  | —       | 長石・石英・赤色粘土     | 明赤褐色          | 普通    | 隆帯貼付け 半截竹管による爪形文                | SI11     | 5% PL10<br>阿玉台式  |
| 11 | 縄文土器  | 深鉢    | —     | (7.1)  | —       | 長石・石英          | 褐色            | 普通    | 磨消型差文 縦位・無筋縄文                   | 表土       | 5% PL10<br>加賀和玉式 |
| 12 | 縄文土器  | 深鉢    | —     | (4.8)  | —       | 長石・石英          | 明赤褐色          | 普通    | 縦位・横位沈線文                        | 表土       | 5% PL10          |
| 13 | 縄文土器  | 深鉢    | —     | (10.0) | —       | 長石・石英          | 褐色            | 普通    | 口唇部2対1単位の突起 樹歯条工具による条痕文         | SI 2 覆土  | 5% PL10<br>晩期中葉  |
| 14 | 須恵器   | 短頸瓶   | —     | (5.3)  | —       | 長石・石英          | 褐色            | 普通    | 口口ロナデ                           | 表土       | 5%               |
| 15 | 土師質土器 | 皿     | [5.7] | 1.5    | 3.3     | 長石・石英・雲母・赤色粘土  | 明赤褐色          | 普通    | 底部回転糸切り残ナデ                      | 表土       | 70% PL10         |
| 16 | 土師質土器 | 深鉢    | [232] | (3.7)  | —       | 長石・石英・雲母・赤色粘土  | 褐色            | 普通    | 片口 2条1単位の間目                     | 表土       | 5%               |
| 17 | 土師質土器 | 始壺    | [206] | 3.6    | [298]   | 長石・石英・雲母       | にぶい褐色         | 普通    | 口縁部横ナデ 下層横方向のヘラ痕り 焼成後径4mmの穿孔1か所 | 表土       | 5%               |
| 18 | 土師質土器 | 始壺    | [280] | 4.4    | [263]   | 長石・石英・雲母・赤色粘土  | 褐色            | 普通    | 口縁部横ナデ 下層横方向のヘラ痕り               | 表土       | 5%               |
| 番号 | 種 別   | 器種    | 口径    | 器高     | 底径      | 胎土・色調          | 特 徴           | 軸 索   | 産 地                             | 出土位置     | 備 考              |
| 19 | 陶器    | 碗     | [105] | (6.2)  | —       | 浅黄褐色           | 天目茶碗 ロクロ成形 施軸 | 鉄軸 灰軸 | 瀬戸・美濃                           | 表土       | 5%<br>16世紀       |
| 20 | 陶器    | 深鉢    | —     | (7.3)  | —       | 長石・石英・繊維にぶい赤褐色 | 6条1単位の間目      | 無軸    | 堺・明石                            | 表土       | 5%               |
| 番号 | 器 種   | 長さ    | 幅     | 厚さ     | 重量      | 材 質            | 特 徴           | 出土位置  | 備 考                             |          |                  |
| 21 | 砥石    | (7.6) | 3.6   | 1.9    | (76.12) | 凝灰岩            | 砥面4面          | 表土    | PL10                            |          |                  |

## 第4章 竈 場 遺 跡

### 第1節 調 査 の 概 要

竈場遺跡は常総市の南部に位置し、鬼怒川右岸の標高約21mの台地に立地している。遺跡の地形は、台地上はほぼ平坦で、西側に位置する竈沼遺跡との間には南側から谷津が入り込んでいる。台地上と低地面との比高差は約7mである。調査面積は282㎡で、調査前の現況は畑地である。

調査の結果、竪穴建物跡1棟（縄文時代）、溝跡1条（時期不明）、柱穴列1条（時期不明）、土坑11基（時期不明）、不明遺構1か所（縄文時代）を確認した。

遺物は、遺物収納コンテナ（60×40×20cm）に1箱出土している。主な遺物は、縄文土器（深鉢）、土師器（坏・甕）、須恵器（甕）、石器（片刃石器・石皿）、金属製品（不明鉄製品）、銭貨（寛永通寶）である。

### 第2節 遺 構 と 遺 物

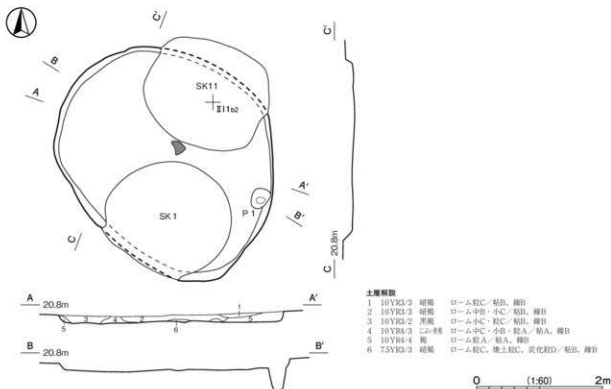
#### 1 縄文時代の遺構と遺物

竪穴建物跡1棟、不明遺構1か所を確認した。以下、遺構と遺物について記述する。

##### (1) 竪穴建物跡

##### 第1号竪穴建物跡（第48図 PL11）

位置 調査区西部のⅡ11b1区、標高21mほどの台地平坦部に位置している。



第48図 第1号竪穴建物跡実測図

**重複関係** 第1・11号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 重複のため確認できた規模は、長径3.85m、短径3.25mの楕円形で、主軸方向はN-35°-Wである。壁は高さ15cmで、外傾している。

**床** 平坦である。

**炉** 中央部に位置している。規模は、長軸25cm、短軸20cmの不整形で、床面とはほぼ同じ高さの地床炉である。炉床面は赤変硬化している。

**ピット** 1か所。P1は深さ35cmで、性格は不明である。覆土は人為堆積である。

**覆土** 6層に分層できる。ロームブロックを含み、不自然な堆積状況を示すことから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片1点（深鉢）、石器1点（剥片）が出土している。ほかに混入した土師器片6点が出土している。

**所見** 時期は、遺構の形状などから縄文時代と推定されるが、出土した縄文土器片が底部片であるため、詳細な時期は不明である。

## (2) 不明遺構

### 第1号不明遺構（第49・50図 第35表 PL11・12）

**位置** 調査区東部のⅡ17区、標高21mほどの台地平坦部に位置している。

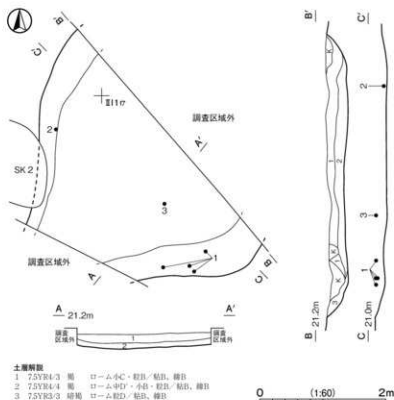
**重複関係** 第2号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 北東部と南西部が調査区域外のため確認できた規模は、長径4.60m、短径2.60mで、不整楕円形と推定できる。長軸方向はN-36°-Wである。底面は概ね平坦で、深さは最大で30cmである。壁は外傾している。

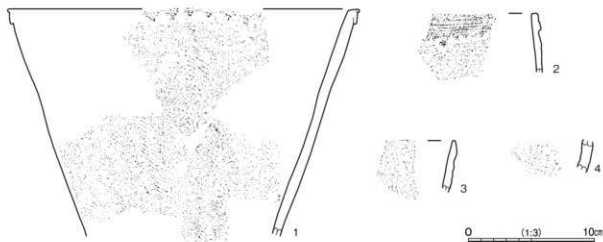
**覆土** 3層に分層できる。周囲からの流入を示す堆積状況から、自然堆積である。

**遺物出土状況** 縄文土器片56点（深鉢）、石器1点（剥片）が出土している。ほかに混入した金属製品（不明鉄製品）が出土している。遺物は、主に南部の第1層中から出土している。1は南部、3は中央部南寄りの覆土上層から、2は北部の覆土下層から、それぞれ出土している。

**所見** 時期は、出土土器から中前期頭と考えられる。形状が不整で壁の立ち上がりも緩やかなため、自然の窪地や埋没谷の可能性もある。



第49図 第1号不明遺構実測図



第50図 第1号不明遺構出土遺物実測図

第35表 第1号不明遺構出土遺物一覧(第50図)

| 番号 | 種別   | 器種 | 口径     | 器高     | 底径 | 胎土         | 色調    | 焼成 | 特徴                         | 出土位置 | 備考                |
|----|------|----|--------|--------|----|------------|-------|----|----------------------------|------|-------------------|
| 1  | 縄文土器 | 深鉢 | (27.8) | (18.0) | -  | 長石・石英・赤色粒子 | 明赤褐   | 普通 | 複合口縁下部断面状文・結節した縦位1本車筋縄文    | 覆土上層 | 10% PL12<br>五領+台式 |
| 2  | 縄文土器 | 深鉢 | -      | (4.7)  | -  | 長石・石英      | にぶい赤褐 | 普通 | 複合口縁下部断面・手載竹管による押引文・縞状の縞付文 | 覆土下層 | 5% PL12           |
| 3  | 縄文土器 | 深鉢 | -      | (4.1)  | -  | 長石・石英      | にぶい橙  | 普通 | 縦位結節縄文                     | 覆土上層 | 5% PL12           |
| 4  | 縄文土器 | 深鉢 | -      | (2.6)  | -  | 長石・石英・金箔母  | 赤褐    | 普通 | 手載竹管による平行沈線文               | 覆土   | 5% PL12           |

## 2 時期不明の遺構と遺物

溝跡1条、柱穴列1条、土坑11基を確認した。以下、遺構と遺物について記述する。

### (1) 溝跡(平面図は遺構全体図参照)

#### 第1号溝跡(第51図 PL11)

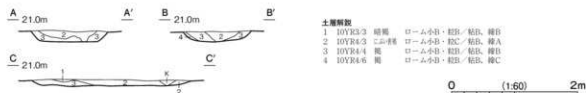
**位置** 調査区東部のⅡI1d4区～ⅡI1e6区、標高21mほどの台地平坦部に位置している。

**規模と形状** ⅡI1e6区から北西方向(N-70°-W)に直線状に延び、ⅡI1d4区で南西方向(N-48°-E)に向きを変える。東西端ともに調査区域外のため、確認できた長さは9.2mである。上幅0.79～1.50m、下幅0.48～1.14m、深さ6～17cmで、断面形は浅い逆台形状である。壁は外傾している。底面は平坦で、東西の高低差はない。

**覆土** 4層に分層できる。いずれの層もローム粒子を不均質に含むことから、人為堆積である。

**遺物出土状況** 混入した縄文土器片11点(深鉢)、石器1点(安山岩製片刃石器)が出土している。

**所見** 時期は不明である。



第51図 第1号溝跡実測図

(2) 柱穴列

第1号柱穴列 (第52図 PL11)

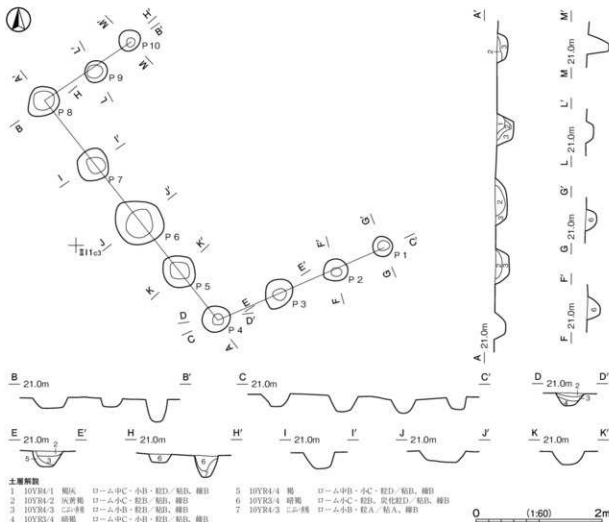
**位置** 調査区中央部のⅡI 1b3区、標高21mほどの台地平坦部に位置している。

**規模と形状** 東西5.80m、南北4.80mの範囲に10か所の柱穴がコの字状に並んでいる。それぞれの柱穴列の長さや配列方向は、P1～P4までの列が3.27mでN-67°-E、P4～P8までの列が4.85mでN-39°-W、P8～P10までの列が2.15mでN-56°-Eである。柱穴間の長さは、P1から順番に、0.85m、0.97m、1.07m、0.98m、0.98m、1.17m、1.20m、0.93m、0.74mである。

**柱穴** 10か所。平面形は円形と楕円形で、長径32～80cm、短径32～73cm、深さ13～34cmである。覆土は、いずれも柱抜き取り後の流入土である。

**遺物出土状況** 混入した縄文土器片7点(深鉢)、石器1点(多孔質安山岩製石皿)が出土している。

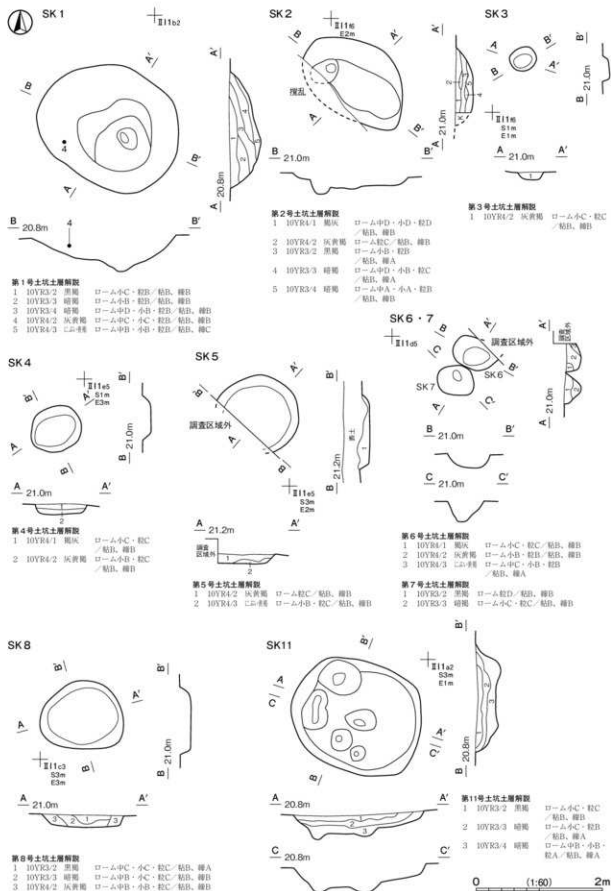
**所見** 時期は不明である。



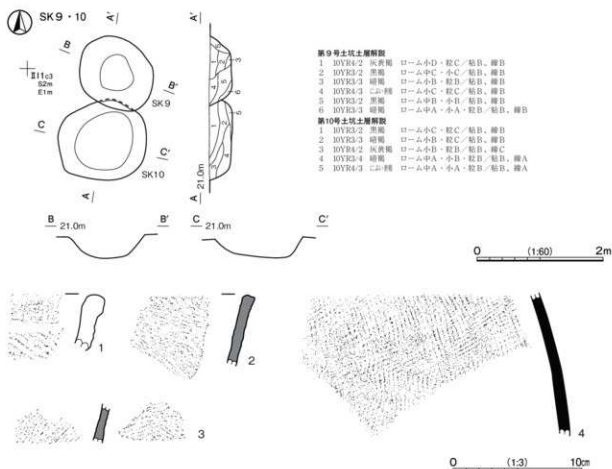
第52図 第1号柱穴列実測図

(3) 土坑

実測図(第53・54図)と一覧(第36・37表)で記載する。



第53図 時期不明の土坑実測図



第54図 時期不明の土坑・出土遺物実測図

第36表 時期不明の土坑出土遺物一覧(第54図 PL12)

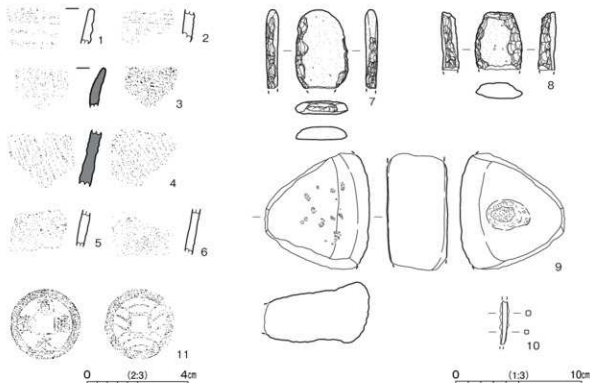
| 番号 | 種別   | 器種 | 口径 | 器高     | 底径 | 胎土       | 色調  | 焼成 | 特徴                | 出土位置     | 備考               |
|----|------|----|----|--------|----|----------|-----|----|-------------------|----------|------------------|
| 1  | 縄文土器 | 深鉢 | -  | (4.3)  | -  | 長石・石英    | 橙   | 普通 | 無筋縄文              | SK 2覆土   | 5% PL12<br>加普利E式 |
| 2  | 縄文土器 | 深鉢 | -  | (5.5)  | -  | 長石・石英・繊維 | 明赤褐 | 普通 | 口唇部刻み 条痕文         | SK10覆土   | 5% PL12          |
| 3  | 縄文土器 | 深鉢 | -  | (3.0)  | -  | 長石・石英・繊維 | 赤褐  | 普通 | 条痕文               | SK 7覆土   | 5% PL12          |
| 4  | 須恵器  | 甕  | -  | (11.1) | -  | 長石・石英・繊維 | 黄灰  | 普通 | 体部外面縦格子状の平行印き 自然釉 | SK 1覆土上層 | 5% PL12          |

第37表 時期不明の土坑一覧

| 番号 | 位置      | 長径方向    | 平面形  | 規模          |         | 壁面 | 底面 | 覆土 | 主な出土遺物       | 備考             |
|----|---------|---------|------|-------------|---------|----|----|----|--------------|----------------|
|    |         |         |      | 長径×短径 (m)   | 深さ (cm) |    |    |    |              |                |
| 1  | II 11b1 | N-62°-W | 楕円形  | 2.28×1.86   | 55      | 外傾 | 皿状 | 人為 | 縄文土器 土師器 須恵器 | SI 1→本跡        |
| 2  | II 11b6 | N-50°-W | 楕円形  | 1.85×[1.25] | 30      | 外傾 | 凹凸 | 人為 | 縄文土器 陶器      | SK 1→本跡        |
| 3  | II 11b6 | N-65°-E | 楕円形  | 0.42×0.37   | 13      | 外傾 | 平坦 | 不明 |              | 柱穴。            |
| 4  | II 11c3 | N-55°-E | 楕円形  | 0.84×0.70   | 16      | 外傾 | 平坦 | 人為 | 縄文土器         |                |
| 5  | II 11c5 | N-47°-W | [円形] | 1.29×(0.90) | 14      | 外傾 | 平坦 | 人為 | 縄文土器         |                |
| 6  | II 11d5 | N-73°-W | 楕円形  | 0.74×0.49   | 23      | 外傾 | 皿状 | 人為 | 縄文土器         | 柱穴。            |
| 7  | II 11d5 | N-70°-W | 楕円形  | 0.60×0.52   | 33      | 外傾 | 皿状 | 人為 | 縄文土器         | 柱穴。            |
| 8  | II 11c3 | N-74°-E | 楕円形  | 1.32×1.12   | 20      | 外傾 | 平坦 | 人為 | 縄文土器         |                |
| 9  | II 11c3 | N-50°-W | 楕円形  | 1.28×1.07   | 36      | 外傾 | 皿状 | 人為 | 縄文土器         | SK10→本跡<br>柱穴。 |
| 10 | II 11c3 | -       | 円形   | 1.40×[1.30] | 40      | 外傾 | 平坦 | 人為 | 縄文土器         | 本跡→SK 9        |
| 11 | II 11a1 | N-72°-W | 楕円形  | 2.10×1.75   | 42      | 外傾 | 凹凸 | 人為 | 土師器          | SI 1→本跡        |

### 3 遺構外出土遺物 (第55図 第38表 PL12)

遺構外出土遺物の主なものについて、実測図と一覧表で記載する。



第55図 遺構外出土遺物実測図

第38表 遺構外出土遺物一覧 (第55図)

| 番号 | 種別   | 器種    | 口径          | 器高          | 底径      | 胎土       | 色調                      | 焼成       | 特徴                   | 出土位置         | 備考                |
|----|------|-------|-------------|-------------|---------|----------|-------------------------|----------|----------------------|--------------|-------------------|
| 1  | 縄文土器 | 深鉢    | —           | (28)        | —       | 長石・石英・雲母 | にぶい黄褐色                  | 普通       | 半截竹管による平行沈線文         | 表土           | 5% PL12<br>SD1下層土 |
| 2  | 縄文土器 | 深鉢    | —           | (26)        | —       | 長石・石英    | にぶい赤褐色                  | 普通       | 半截竹管による平行沈線文         | 表土           | 5% PL12           |
| 3  | 縄文土器 | 深鉢    | —           | (31)        | —       | 長石・石英・繊維 | 橙                       | 普通       | 条痕文                  | SA1<br>P10層土 | 5% PL12           |
| 4  | 縄文土器 | 深鉢    | —           | (45)        | —       | 長石・石英・繊維 | 橙                       | 普通       | 条痕文                  | SA1<br>P5層土  | 5% PL12           |
| 5  | 縄文土器 | 深鉢    | —           | (29)        | —       | 長石・石英    | にぶい赤褐色                  | 普通       | 横位結束したし・R無筋縄文による羽状縄文 | 表土           | 5% PL12           |
| 6  | 縄文土器 | 深鉢    | —           | (36)        | —       | 長石・石英    | にぶい橙                    | 普通       | 格子状の条痕文              | 表土           | 5% PL12           |
| 番号 | 器種   | 長さ    | 幅           | 厚さ          | 重量      | 材質       | 特徴                      |          |                      | 出土位置         | 備考                |
| 7  | 片刃石器 | (6.2) | 4.2         | 1.0         | (38.83) | 安山岩      | 扁平な楕円確実材 側縁部片側からの連続した調整 |          |                      | 表土           | PL12              |
| 8  | 片刃石器 | (4.6) | 3.8         | 1.4         | (35.73) | 安山岩      | 扁平な楕円確実材 側縁部片側からの連続した調整 |          |                      | SD1<br>層土下層  | PL12              |
| 9  | 石皿   | (9.2) | (8.3)       | 4.8         | (47.16) | 多孔質安山岩   | 表面凹部あり                  |          |                      | SA1<br>P4層土  | PL12              |
| 番号 | 器種   | 長さ    | 幅           | 厚さ          | 重量      | 材質       | 特徴                      |          |                      | 出土位置         | 備考                |
| 10 | 不明遺品 | (3.4) | 0.3—<br>0.4 | 0.3—<br>0.4 | (1.73)  | 鉄        | 断面方形                    |          |                      | SA1<br>層土    | PL12              |
| 番号 | 銭種   | 径     | 孔距          | 厚さ          | 重量      | 材質       | 初鋳年                     | 特徴       |                      | 出土位置         | 備考                |
| 11 | 寛永通寶 | 2.80  | 0.70        | 0.10        | 4.19    | 銅        | 1768                    | 新寛永 背十一波 |                      | 表土           | PL12              |

## 第5章 総 括

### 1 はじめに

今回の調査で、竈沼遺跡では堅穴建物跡11棟、掘立柱建物跡2棟、火葬墓1基、溝跡4条、井戸跡1基、柱穴列3条、土坑81基、ピット群4か所、不明遺構1か所、竈場遺跡では堅穴建物跡1棟、溝跡1条、柱穴列1条、土坑11基、不明遺構1か所を確認した。これらの遺構は出土土器から縄文時代、奈良・平安時代、江戸時代に位置づけられ、断続的ではあるが長期間にわたる土地利用の状況が明らかになった。

ここでは、時代順に特徴ある遺構と遺物について概観するとともに、若干の考察を行い総括とする。

### 2 縄文時代の遺構と遺物

当時代の堅穴建物跡からは、羽状縄文系の繊維土器と竹管文・貝殻文系土器が出土している。出土した土器から前期前半に位置づけられる堅穴建物跡は、竈沼遺跡の第2・4・9・11号堅穴建物跡の4棟である。第2号堅穴建物跡には、その埋没の過程で貝層が形成されている。出土土器の大半は関山Ⅱ式と考えられ、胎土に繊維を含み、器面全体に単節縄文を施しているものが主体で、縄文原体にはRLとLRともに確認できる。横位施文を基本とし、羽状構成のものが多く、ほかには組紐縄文や直前段合巻縄文なども確認できる。第9号堅穴建物跡からは、口唇部外面に工具で縦位に刺突した条線帯を有する興津式と考えられる小片が出土している。第7号堅穴建物跡は、出土土器から晩期（安行3b式期）に位置づけられる。器面には縄文が施されず、条線文が確認できる。また、第106号土坑は、規模と形状、覆土の堆積状況から堅穴建物跡の可能性もあるが、大半が調査区域外に位置し、炬と柱穴などが確認できなかったために土坑とした。時期は、出土土器から中期後半（加曾利EⅢ式期）に位置づけられる。遺構外などからは、早期の田戸下層式、中期前半の五領ヶ台式、阿玉台式などの土器片も出土しており、当遺跡は早期から晩期にかけて断続的に生活の場であったことがうかがえる。石器は、竈沼遺跡から磨石、凹石、剥片がそれぞれ1点、竈場遺跡から片刃石器2点、石皿と剥片が1点ずつ出土しているだけである。竈場遺跡から出土した片刃石器2点は、いずれも安山岩を用いて片側から側縁部に連続した調整を施したもので、早期に見られるものである。

第2号堅穴建物跡内の地点貝塚からは、貝殻の水洗選別により94,444点を回収し、貝種は20種を確認した。回収した貝殻の99%が汽水域に生息するヤマトシジミで占められ、当時は縄文海進により当遺跡の周辺まで汽水域の内海が広がっていたと考えられる。また、貝層から出土した土器は関山Ⅱ式のもので、層位による時期差は認められず、廃絶された建物が埋没していく過程で短期間にヤマトシジミを主体とする貝殻を廃棄したものと考えられる。

### 3 奈良・平安時代の遺構と遺物

当時代の堅穴建物跡は、竈沼遺跡の第1・3・6・8・12号堅穴建物跡である。第6・12号堅穴建物跡は、その平面形から棚状施設をもつ堅穴建物の可能性がある。棚状施設については、桐生直彦氏が定義と構築方法・平面形による分類を行なっている。この分類によれば、第6・12号堅穴建物跡は、I群1類Aラインタイプに該当する。竈に向かって右側の壁に棚状施設が設けられるもので、棚状施設がある右側の辺が左側の辺よりも短い堅穴建物跡である。竈を付設した壁は、第6号堅穴建物跡が北壁で、第12号堅穴建物跡が東壁であるが、いずれも長軸が3mほどの不整形で、竈の右側の壁が左側にくらべて建物内部に位置してい

る。また、第6号竪穴建物跡の竈右袖には須恵器甕の体部片を、第8号竪穴建物跡の竈には土師器甕の体部片を補強材としている。平面形だけでなく、竪穴建物の構築方法にも共通点が見られる。

第1号竪穴建物跡からは、製塩土器の可能性のある粗製鉢が出土している。器厚が0.7cmほどで、器高16.6cm、底径9.8cmの平底と推定され、体部から口縁部にかけて緩やかに外傾した片口の鉢形を呈している。内外面とも摩滅が著しいが、体部下半に僅かにヘラ削りの痕跡が認められる。東北地方南部の製塩土器に見られる円筒形の土器に近い形状で、今後の類例に期待したい。第3号竪穴建物跡から出土した土師器坏3点には刻書が確認できた。それぞれの土器の体部外面と見込みには、先端の尖った工具を使用して浅く細い線で「+」字状に刻書している。第19図4の土器の見込みの刻書は一部が二重になっており、刻み直したように見える。なお、墨書と墨痕の認められる土器は出土していない。

竈沼遺跡の第1号火葬墓は、8世紀後葉に位置づけられる須恵器の短頸壺を蔵骨器としている。蓋は後世の擾乱などで失われ、内部には成人1個体と推定される焼成人骨が遺存していた。火葬墓は拠点的な場所に群をなすことが多いが、当遺跡の周辺では官衙などの公的な建物跡や村落内寺院跡などは知られていない。調査範囲が狭いため不明な点も多いが、当該期の集落は当遺跡の東側に展開していたと推測される。県内における蔵骨器の大半は9世紀代の土師器と須恵器の甕で、当遺跡の蔵骨器は时期的に若干古い時期のものである。

#### 4 江戸時代と時期不明の遺構と遺物

竈沼遺跡の第1・2・4号溝跡からは、18世紀代の遺物が出土している。第1号溝跡と第2号溝跡は、主軸方向が直交するように延びており、時期は、いずれも18世紀後半に位置づけられる。両溝跡は8mほど離れているが、掘方の形状と出土遺物、主軸方向などから一連のものと推測できる。また、調査区中央部に位置する時期不明の第4号掘立柱建物跡と第3・4号柱穴跡は、東西軸方向がほぼ同じで関連性がうかがえる。さらにこの北方4mほどには、土師質土器の皿の小片が出土した井戸跡が位置しており、第4号掘立柱建物跡とその周辺に建物などが存在していた可能性がある。

#### 5 おわりに

今回の調査結果から、両遺跡は縄文時代、奈良・平安時代、江戸時代にかけての集落跡であり、一つの集落跡として捉えることができるといえる。縄文時代前期前半の竪穴建物跡に形成された地点貝塚の存在から、縄文海進による内海の拡大とともに多くの海の恵みを受けていたことが明らかになった。奈良・平安時代の火葬墓は、両遺跡の周辺に公的な建物や寺院、富豪層の存在の可能性を示している。今回の調査結果が当地域の歴史研究の一助になれば幸いである。

#### 引用・参考文献

- ・小林達雄（編）2008年『総覧 縄文土器』株式会社アム・プロモーション
- ・桐生直彦 2001年「甕をもつ竪穴建物跡にみられる棚状施設の研究－関東地方の事例を中心に－」
- ・吉澤 悟 2006年「火葬の広がり」と古代の東国社会『火葬と古代社会－死をめぐる文化の受容－』上高津貝塚ふるさと歴史の広場
- ・糸川道行 2024年「奈良・平安時代における東鑑の諸生産」『研究連絡誌』千葉県教育振興財団文化財センター

# 付 章 自 然 科 学 分 析

## 第 1 節 竈沼遺跡・竜場遺跡出土人骨

(独) 国立科学博物館人類研究部

梶ヶ山真里・坂上和弘

### 1 はじめに

当該遺跡は、鬼怒川右岸の標高 18～21 m の台地上にある遺跡で、常総市坂手町字龍場 2893 番 2 はかに所在する。令和 4 年 8 月から 10 月にわたり、茨城県教育財団によって発掘調査が行われ、縄文時代から江戸時代の遺構や遺物が出土している。人骨は奈良時代の須恵器の中から焼骨が検出されており、その焼骨についての所見を記載する。通常、焼成を受けた成人骨 1 個体分が概ね約 900g～約 4,000g といわれ (Ubelaker 2009)、これを 1 個体分の目安とする。焼骨は骨蔵器から取り出されて当研究部に運び込まれたことから、焼骨がどのような層位で検出されたのかは不明である。

### 2 人骨所見

表 1

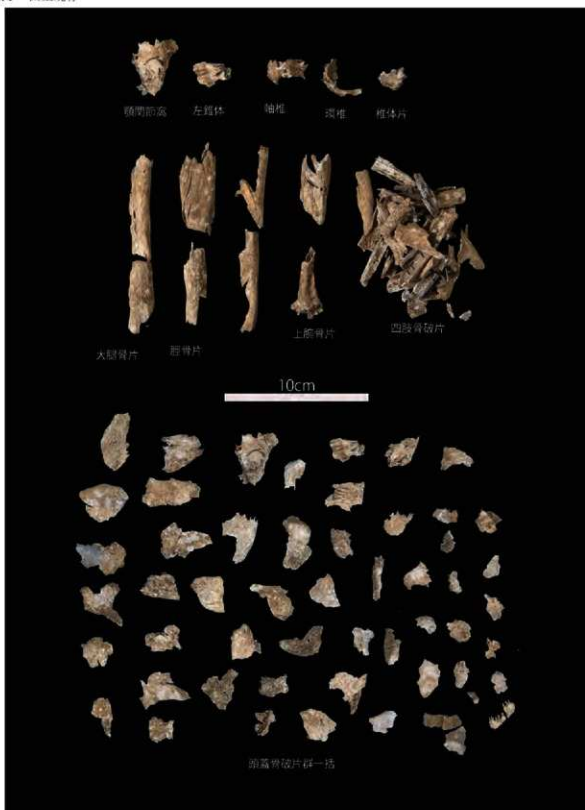
| 焼骨部位  | 重量 (g) | 所見                  | 備考     |
|-------|--------|---------------------|--------|
| 頭骨    | 69.9   | 左錐体、左顎関節窩、頭頂骨矢状縫合開離 | 収縮、亀裂多 |
| 椎骨    | 9.2    | 軸椎、環椎、頸椎椎体一部        |        |
| 四肢骨   | 102.0  | 左右不明上腕骨体            | 収縮、亀裂多 |
| 骨頭、骨端 | 12.8   | 上腕骨骨頭、上腕骨遠位端一部      |        |
| 寛骨    | 7.7    | 耳上面、関節臼一部           |        |
| 肋骨    | 12.5   |                     |        |
| その他   | 72.7   | 胸骨体一部               |        |
| 合計    | 286.8  |                     |        |

表 1 に示す通り、焼骨の総重量は 286.8 g である。いずれの部位も 1 個体分のみ残存する。最も大きな破片は長さ 5 cm 程度で、部位同定可能な破片および不明大破片の長さは概ね 2～3 cm である。明らかな部位の重複が認められず、重量も 1 個体分を超えないことから、最小個体数は 1 個体と推定される。死亡年齢・性別は、推定の根拠となる部位が残存しておらず不明である。ただし、明らかに未成年と思われる破片は認められなかった。

色調は、概ね白色から灰白色を呈する。骨の色調は、焼成の進行とともに変化し、初期段階では黄色、有機物の炭化が進む段階 (600 度程度) では黒色ないしは暗灰色、炭化物の燃焼が進む段階 (800～1,000 度程度) では明灰色ないしは白色を呈する傾向がある (Walker et al. 2008)。本遺構出土の焼骨は、その色調から、有機物の燃焼が進む程度まで、比較的高温の焼成を受けたと推測される。

骨片の形状として骨体の一部には収縮や亀裂があり、歪みが大きい。高温の被熱と火力を受けることで、骨の有機物が蒸発することで生じたものである。おおむね 800 度以上の温度と推定される。一部に黒色部分があるのは、その部分の被熱温度が低かったか、被熱時間が短時間であり、蒸し焼き状態が部分的にあったと推定される。

図版1 出土焼骨



以上のことから、軟部が付いた状態で、高い温度（800 度以上）で長時間焼かれたと思われる。これは色調も高温では灰白色を呈する事と矛盾がない。

**年齢・性別：**死亡年齢は、年齢推定に使用する箇所が保存されていないので詳細は不明で、成人であると言えない。しかし、頭蓋の縫合は明瞭に開離していることを考えると、それほど年齢は進んでいないよ

うである。性別についても、性別判定に使用する箇所が保存されておらず、不明である。この被葬者は、性別不明の成人個体と判断される。

### 3 おわりに

焼骨の残存量は1体分を大きく下回る。部位の重複もなく最小個体数は1個体と推定された。焼骨の色調は白色ないし灰白色を呈し、有機物の燃焼が進むまで高温の焼成を受けた可能性が認められ、頭蓋骨や四肢骨を含む全身の様々な部位の破片が確認された。被葬者の死亡年齢と性別は、推定の根拠となる部位が残存しておらず、明らかに未成年と思われる痕跡も確認されていない。

#### 参考文献

- Ubelaker, D. H. 2009. The forensic evaluation of burned skeletal remains: A synthesis. *Forensic Science International* 183 (1-3), pp.1-5.
- Walker, P. L., Miller, K. W. P., & Richman, R. 2008. Time, temperature, and oxygen availability: An experimental study of the effects of environmental conditions on the color and organic content of cremated bone. In C. W. Schmidt & S. A. Symes (Eds.), *The Analysis of Burned Human Remains*. San Diego: Academic Press, pp.129-135.

## 第2節 竈沼遺跡・竈場遺跡の自然科学分析

パリオ・サーヴェイ株式会社

### はじめに

竈沼遺跡および竈場遺跡（茨城県常総市坂手町字竈場に所在）は、鬼怒川右岸の猿島台地、標高約18～21mの台地及び谷津に位置し、竈沼遺跡では縄文時代と平安時代の集落跡、須恵器壺を蔵骨器とした火葬墓が確認され、竈場遺跡では縄文時代の堅穴建物跡と遺物集中地点が確認されている。この内、竈沼遺跡の縄文時代前期の堅穴建物跡からは、縄文土器とともに廃棄された貝殻が出土し、廃棄された建物の窪地に形成された小規模な貝塚が検出されている。今回、竈沼遺跡の堅穴建物跡で検出された貝層について分類・同定を行い、当時の動物利用に関する情報を得ることにした。その報告を行う。

### 1 試料

縄文時代前期の堅穴建物跡SI-2から50cmメッシュ一括採取とされる貝層土壌サンプル1（No.26）、サンプル2（No.61）の2試料である。貝層土壌サンプル2は2袋に分かれていたが、ここでは一括して取り扱う。それぞれの分析重量は、貝層土壌サンプル1が6,720.7g、貝層土壌サンプル2が16,543.2gである。

### 2 分析方法

試料を自然乾燥させた後、試料重量を計測する。その後、4mm、2mm、1mm、0.5mmの篩を用いて水洗し、それぞれの篩上の残留物を集めて自然乾燥させ、肉眼および実体顕微鏡で観察する。今回、0.5mmの篩上の残留物は対象外とし、2mm以上は全残留物を対象として、0.5～1mmは特徴的な生物遺体を、それぞれ抽出して形態的特徴から種・部位を同定し、各種類の乾燥重量を計量する。また、必要に応じてデジタルノギスを用いて計測する。なお、貝類の生態等については、奥谷ほか（2000）、奥谷編著（2004）を参考とする。



表2 貝同定結果2)

| 遺構<br>番号 | 遺物番号              | 層  | 種類           | 部位 | 左右 | 状態等 | 被熱 | 数量    | 重量 (g)   | 備考     |
|----------|-------------------|----|--------------|----|----|-----|----|-------|----------|--------|
| SI 2     | 貝 層 土 塚<br>サンプル 2 | 4m | アマガイ         | 殻  |    | 略完  |    | 1     | 0.44     |        |
|          |                   |    | ヒロクチカノコ      | 殻  |    | 略完  |    | 1     | 0.44     |        |
|          |                   |    | カワアイ         | 殻  |    | 破片  |    | 2     | 1.42     |        |
|          |                   |    | 腹足綱          | 殻  |    | 破片  |    | 3     | 0.13     |        |
|          |                   |    | マガキ          | 殻  | 左  | 略完  |    | 2     | 10.56    |        |
|          |                   |    |              |    | 左  | 破片  |    | 1     | 4.00     |        |
|          |                   |    |              |    | 右  | 略完  |    | 3     | 10.59    |        |
|          |                   |    | カキ類          | 殻  |    | 破片  |    | 8     | 3.13     |        |
|          |                   |    | シオフキ         | 殻  | 左  | 破片  |    | 1     | 2.35     |        |
|          |                   |    |              |    | 右  | 略完  |    | 1     | 5.78     |        |
|          |                   |    |              |    | 右  | 破片  |    | 1     | 2.26     |        |
|          |                   |    | ウネナシトマガイ     | 殻  | 左  | 破片  |    | 1     | 0.09     | # 1366 |
|          |                   |    |              |    | 右  | 略完  |    | 1     | 0.04     | # 1255 |
|          |                   |    | ヤマトシジミ       | 殻  | 左右 | 略完  |    | 1     | 0.76     | 合貝     |
|          |                   |    |              |    | 左  | 略完  |    | 2,584 | 1,902.07 |        |
|          |                   |    |              |    | 左  | 破片  |    | 779   | 410.64   |        |
|          |                   |    |              |    | 右  | 略完  |    | 2,593 | 1,887.25 |        |
|          |                   |    |              |    | 右  | 破片  |    | 704   | 363.21   |        |
|          |                   |    |              |    |    | 破片  |    | 78    | 39.03    |        |
|          |                   |    | アサリ          | 殻  | 左  | 略完  |    | 20    | 62.64    |        |
|          |                   |    |              |    | 左  | 破片  |    | 42    | 46.43    |        |
|          |                   |    |              |    | 右  | 略完  |    | 23    | 80.25    |        |
|          |                   |    |              |    | 右  | 破片  |    | 46    | 47.45    |        |
|          |                   |    | ハマグリ         | 殻  | 左  | 破片  |    | 5     | 22.75    |        |
|          |                   |    |              |    | 右  | 略完  |    | 1     | 1.70     |        |
|          |                   |    |              |    | 右  | 破片  |    | 4     | 9.31     |        |
|          |                   |    | ヌマコダキガイ      | 殻  | 左  | 破片  |    | 2     | 0.13     |        |
|          |                   |    |              |    | 右  | 破片  |    | 1     | 0.26     |        |
|          |                   |    | フジツボ類        | 本体 |    | 破片  |    | 1     | 0.05     |        |
|          |                   |    | 二枚貝綱         | 殻  |    | 破片  |    | 多数    | 192.57   |        |
|          |                   |    | 植物遺体         |    |    |     |    |       | 1.08     |        |
|          |                   |    | 土器           |    |    | 破片  |    | 9     | 59.60    |        |
|          |                   |    | 残渣           |    |    |     |    |       | 24.18    |        |
| SI 2     | 貝 層 土 塚<br>サンプル 2 | 2m | 腹足綱          | 殻  |    | 破片  |    | 7     | 0.07     |        |
|          |                   |    | ウネナシトマガイ (幼) | 殻  | 左  | 略完  |    | 1     | 0.01     |        |
|          |                   |    |              |    | 左  | 破片  |    | 2     | 0.02     |        |
|          |                   |    |              |    | 右  | 略完  |    | 2     | 0.02     |        |
|          |                   |    |              |    | 右  | 破片  |    | 4     | 0.04     |        |
|          |                   |    | ヤマトシジミ       | 殻  | 左  | 破片  |    | 11    | 0.41     |        |
|          |                   |    |              |    | 右  | 破片  |    | 9     | 0.29     |        |
|          |                   |    |              |    | 右  | 破片  | ○  | 1     | 0.07     |        |
|          |                   |    | ヤマトシジミ (幼)   | 殻  | 右  | 略完  |    | 1     | 0.01     |        |
|          |                   |    | ヌマコダキガイ (幼)  | 殻  | 左  | 略完  |    | 2     | 0.01     |        |
|          |                   |    |              |    | 左  | 破片  |    | 1     | 0.00     |        |
|          |                   |    |              |    | 右  | 破片  |    | 2     | 0.02     |        |
|          |                   |    | 二枚貝綱         | 殻  |    | 破片  |    | 多数    | 27.47    |        |
|          |                   |    |              |    |    | 破片  | ○  | 40    | 1.30     |        |
|          |                   |    | フジツボ類        | 本体 |    | 破片  |    | 2     | 0.04     |        |
|          |                   |    | 残渣           |    |    |     |    |       | 60.99    |        |

表2 貝同定結果(3)

| 遺構<br>番号 | 遺物番号              | 箇     | 種類            | 部位     | 左右 | 状態等 | 焼熱 | 数量 | 重量 (g) | 備考 |
|----------|-------------------|-------|---------------|--------|----|-----|----|----|--------|----|
| SI 2     | 貝 層 土 壤<br>サンプル 2 | 1mm   | アマオブネガイ科?     | 殻      |    | 破片  |    | 3  | 0.00   |    |
|          |                   |       | ツブカワザンショウ?    | 殻      |    | 略定  |    | 2  | 0.00   |    |
|          |                   |       | カワザンショウガイ     | 殻      |    | 略定  |    | 13 | 0.03   |    |
|          |                   |       |               |        |    | 破片  |    | 7  | 0.01   |    |
|          |                   |       | オカチョウジガイ      | 殻      |    | 略定  |    | 1  | 0.00   |    |
|          |                   |       |               |        |    | 破片  |    | 3  | 0.01   |    |
|          |                   |       | コハクガイ科        | 殻      |    | 略定  |    | 4  | 0.01   |    |
|          |                   |       |               |        |    | 破片  |    | 2  | 0.00   |    |
|          |                   |       | 腕足綱           | 殻      |    | 破片  |    | 93 | 0.09   |    |
|          |                   |       | ウネナシトマヤガイ     | 殻      | 左  | 破片  |    | 1  | 0.00   |    |
|          |                   |       |               |        | 右  | 破片  |    | 2  | 0.02   |    |
|          |                   |       | ウネナシトマヤガイ (幼) | 殻      | 左  | 破片  |    | 3  | 0.01   |    |
|          |                   |       |               |        | 右  | 略定  |    | 1  | 0.00   |    |
|          |                   |       |               |        | 右  | 破片  |    | 1  | 0.00   |    |
|          |                   |       | ヤマトシジミ        | 殻      | 左  | 破片  |    | 6  | 0.03   |    |
|          |                   |       |               |        | 右  | 破片  |    | 4  | 0.03   |    |
|          |                   |       | ヤマトシジミ (幼)    | 殻      | 左  | 破片  |    | 1  | 0.01   |    |
|          |                   |       | ヌマコダキガイ       | 殻      | 左  | 破片  |    | 1  | 0.00   |    |
|          |                   |       |               |        | 右  | 破片  |    | 1  | 0.00   |    |
|          |                   |       | ヌマコダキガイ (幼)   | 殻      | 左右 | 略定  |    | 1  | 0.00   |    |
|          |                   |       |               |        | 左  | 略定  |    | 13 | 0.03   |    |
|          |                   |       |               |        | 左  | 破片  |    | 5  | 0.01   |    |
|          |                   |       |               |        | 右  | 略定  |    | 13 | 0.04   |    |
|          |                   |       |               |        | 右  | 破片  |    | 11 | 0.01   |    |
|          |                   |       | 二枚貝綱          | 殻      | 左  | 破片  |    | 2  | 0.01   |    |
|          |                   |       | フジツボ類         | 本体     |    | 破片  |    | 1  | 0.01   |    |
|          |                   |       | タイ科?          | 歯(臼歯状) |    | 破片  |    | 1  | 0.00   |    |
|          |                   |       | 脊椎動物門         | 骨      |    | 破片  | ○  | 2  | 0.01   |    |
|          |                   |       | 残渣            |        |    |     |    |    | 97.90  |    |
|          |                   | 0.5mm | 残渣            |        |    |     |    |    | 131.60 |    |

表3 ヤマトシジミ計測結果(1)

| 単位: mm     |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |
|------------|-------|------------|-------|------------|-------|------------|-------|------------|-------|------------|-------|------------|-------|
| 試料名        | 殻長    | 試料名        | 殻長    | 試料名        | 殻長    | 試料名        | 殻長    | 試料名        | 殻長    | 試料名        | 殻長    | 試料名        | 殻長    |
| サンプル<br>#1 | 11.07 | サンプル<br>#1 | 15.76 | サンプル<br>#1 | 16.63 | サンプル<br>#1 | 17.44 | サンプル<br>#1 | 18.45 | サンプル<br>#1 | 19.43 | サンプル<br>#1 | 21.17 |
|            | 13.46 |            | 15.77 |            | 16.69 |            | 17.65 |            | 18.49 |            | 19.44 |            | 21.30 |
|            | 13.55 |            | 15.81 |            | 16.77 |            | 17.78 |            | 18.54 |            | 19.49 |            | 21.31 |
|            | 14.13 |            | 15.91 |            | 16.78 |            | 17.80 |            | 18.68 |            | 19.53 |            | 21.36 |
|            | 14.49 |            | 16.09 |            | 16.89 |            | 17.87 |            | 18.69 |            | 19.64 |            | 21.39 |
|            | 14.66 |            | 16.12 |            | 16.92 |            | 17.95 |            | 18.72 |            | 19.79 |            | 21.69 |
|            | 14.67 |            | 16.12 |            | 17.05 |            | 17.96 |            | 18.75 |            | 20.12 |            | 21.72 |
|            | 14.85 |            | 16.14 |            | 17.09 |            | 18.11 |            | 19.02 |            | 20.14 |            | 21.73 |
|            | 15.13 |            | 16.22 |            | 17.21 |            | 18.22 |            | 19.12 |            | 20.54 |            | 22.05 |
|            | 15.21 |            | 16.37 |            | 17.22 |            | 18.26 |            | 19.22 |            | 20.66 |            | 22.08 |
|            | 15.21 |            | 16.38 |            | 17.27 |            | 18.27 |            | 19.22 |            | 20.87 |            | 22.16 |
|            | 15.49 |            | 16.46 |            | 17.33 |            | 18.34 |            | 19.27 |            | 21.03 |            | 22.22 |
|            | 15.56 |            | 16.49 |            | 17.35 |            | 18.36 |            | 19.35 |            | 21.08 |            | 22.22 |
|            | 15.72 |            | 16.51 |            | 17.41 |            | 18.38 |            | 19.37 |            | 21.08 |            | 22.24 |
|            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            | 22.25 |
|            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            | 22.26 |
|            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            | 22.33 |
|            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            | 22.38 |
|            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            | 22.52 |
|            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            | 22.74 |
|            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            | 22.77 |
|            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            | 22.88 |
|            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            | 22.99 |
|            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            | 23.15 |
|            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            | 23.19 |
|            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            | 23.34 |
|            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            | 23.37 |
|            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            | 23.47 |
|            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            |       |            | 23.50 |

表3 ヤマトシジミ計測結果(2)

| 表 1 各種試験結果 (単位: mm) |       |             |       |             |       |             |       |             |       |             |       |             |       |
|---------------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|
| 試験名                 | 数値    | 試験名         | 数値    | 試験名         | 数値    | 試験名         | 数値    | 試験名         | 数値    | 試験名         | 数値    | 試験名         | 数値    |
| サンプル<br>S-2         | 15.44 | サンプル<br>S-2 | 16.98 | サンプル<br>S-2 | 17.78 | サンプル<br>S-2 | 18.39 | サンプル<br>S-2 | 19.49 | サンプル<br>S-2 | 19.96 | サンプル<br>S-2 | 21.07 |
|                     | 15.52 |             | 17.00 |             | 17.81 |             | 18.48 |             | 19.53 |             | 20.08 |             | 21.20 |
|                     | 15.59 |             | 17.21 |             | 17.97 |             | 18.78 |             | 19.59 |             | 20.26 |             | 21.29 |
|                     | 16.03 |             | 17.28 |             | 18.09 |             | 18.79 |             | 19.69 |             | 20.35 |             | 21.45 |
|                     | 16.27 |             | 17.33 |             | 18.14 |             | 19.03 |             | 19.74 |             | 20.46 |             | 21.61 |
|                     | 16.33 |             | 17.34 |             | 18.14 |             | 19.07 |             | 19.74 |             | 20.46 |             | 21.72 |
|                     | 16.46 |             | 17.47 |             | 18.24 |             | 19.11 |             | 19.76 |             | 20.50 |             | 21.79 |
|                     | 16.69 |             | 17.52 |             | 18.31 |             | 19.14 |             | 19.80 |             | 20.53 |             | 21.81 |
|                     | 16.88 |             | 17.63 |             | 18.33 |             | 19.20 |             | 19.86 |             | 20.58 |             | 21.83 |
|                     | 16.89 |             | 17.73 |             | 18.36 |             | 19.21 |             | 19.87 |             | 20.63 |             | 21.88 |

表4 アサリ計測結果

| 単位：mm     |       |       |           |       |       |           |       |       |           |       |       |
|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|
| 試験片       | 縦筋    | 横筋    | 試験片       | 縦筋    | 横筋    | 試験片       | 縦筋    | 横筋    | 試験片       | 縦筋    | 横筋    |
| サンパ<br>#1 | 30.85 | 23.43 | サンパ<br>#1 | 31.91 | 23.58 | サンパ<br>#1 | 37.75 | 27.13 | サンパ<br>#1 | 41.69 | 29.91 |
|           | 31.14 | 23.76 |           | 35.17 | 26.48 |           | 39.12 | 29.29 |           | 42.83 | 31.38 |
|           | 31.28 | 23.53 |           | 35.22 | 24.03 |           | 40.05 | 30.22 |           | 43.28 | 32.65 |
|           | 31.38 | 24.41 |           | 36.31 | 25.15 |           | 40.04 | 26.97 |           | 43.53 | 30.67 |

#### 4 考察

試料中に貝類が占める量は、貝層土壌サンプル1が6,720.7g中366.37g (5.5%)、貝層土壌サンプル2が16,543.2g中5,137.88g (31.1%)である。また、10kg当りに含まれる貝類の量、および種類数ともに貝層土壌サンプル2で多く、焼けた貝殻、魚骨や焼骨も僅かであるが検出されている。このようなことから、貝層土壌サンプル2は、サンプル1よりも廃棄の中心となっていた可能性がある。

各種類の最小個体数を表5に示す。分析重量が異なる2試料を比較するため、表5で求めた最小個体数に基づき試料10kg当りに含まれる最小個体数を算出したものを表6に示す。また、最小個体数の総数を基数として百分率で算出した目録組成を図1に示す。

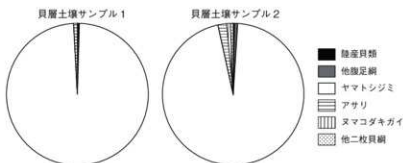


図1 最小個体数からみた試料別貝類組成

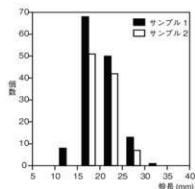


図2 ヤマトシジミ殻長分布(左殻)

検出される種類をみると、オカチョウジガイ、コハクガイ科は陸産貝類が僅かに検出されており、これらは遺構を利用している時期から廃棄するまでの期間、近辺に棲息していたものが混入したと考えられる。本貝層では、殻長 15 ~ 25mm のヤマトシジミが主体で、アサリを伴う。これらの種類は、いずれも食用とされていたものであろう。この他にも、マガキ、シオフキ、ハマグリなども食用とされていたと考えられる。

表5 最小個体数

| 種類            |     | 11層土壌サンプル1 |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|---------------|-----|------------|------|------|-----|--|-----|----|----|-----|-----|---|---|
|               |     | 4m         |      |      |     |  | 2m  |    |    |     | 1m  |   |   |
|               |     | L/R        | L    | R    | L/R |  | L/R | L  | R  | L/R | L/R | L | R |
| アマゴイ          | NBP |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| ヒロタネモノ        | NBP |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| アマゴブネゴイ科?     | NBP |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| オウゴン          | NBP |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| ツバキワザンショウ?    | NBP |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| オウゴンショウゴイ     | NBP |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| オウゴンショウゴイ (?) | NBP |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| コハナゴイ科        | NBP |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| マゴイ・オネ        | NBP |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| シキフキ          | NBP |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| ウネナシトマゴイ      | NBP |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| サマトシジミ        | NBP |            | 233  | 187  | 25  |  |     | 1  | 2  |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| アザリ           | NBP |            | 2    |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| ハマダリ          | NBP |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| オマコダネゴイ       | NBP |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| 種類            |     | 11層土壌サンプル2 |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               |     | 4m         |      |      |     |  | 2m  |    |    |     | 1m  |   |   |
|               |     | L/R        | L    | R    | L/R |  | L/R | L  | R  | L/R | L/R | L | R |
| アマゴイ          | NBP |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| ヒロタネモノ        | NBP |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| アマゴブネゴイ科?     | NBP |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| オウゴン          | NBP |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| ツバキワザンショウ?    | NBP |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| オウゴンショウゴイ     | NBP |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| オウゴンショウゴイ (?) | NBP |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| コハナゴイ科        | NBP |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| マゴイ・オネ        | NBP |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| シキフキ          | NBP |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| ウネナシトマゴイ      | NBP |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| サマトシジミ        | NBP |            | 3363 | 3297 | 78  |  |     | 11 | 10 |     |     | 6 | 4 |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| アザリ           | NBP |            | 62   | 69   |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| ハマダリ          | NBP |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
| オマコダネゴイ       | NBP |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |
|               | MNI |            |      |      |     |  |     |    |    |     |     |   |   |

注) NPS: 同定確片数 MNI: 最小個体数

陸産貝類を除く種類の生態性は、ヤマトシジミが河口付近の汽水域砂底、アサリが潮間帯中部～水深10mの砂礫泥底、マガキが汽水性内湾の潮間帯～潮下帯の砂礫底・泥底とされている。また、それ以外の種類をみると、アマガイが潮間帯上部のやや内湾的な岩礁、ヒロクチカノコが内湾性の泥上転石、カワアイが内湾潮間帯の泥地、ツブカワザンショウが内湾奥部潮間帯転石下、カワザンショウガイが河川汽水域アシ原の泥上、シオフキが潮間帯下部～水深20mの細砂底、ウネナシトマヤガイが汽水域潮間帯の礫などに足糸で付着、ヌマコダキガイが汽水の沼の水深2～12mの泥底とされている。縄文時代

前期の遺跡において、より海岸線に近い稲敷市小佐倉貝塚（小林,1999）ではハマグリが、稲敷市所作貝塚（寺門,1981）ではマガキ、チョウセンハマグリ、アサリ、サルボウ、バカガイ、ハイガイ、ハマグリ、オキシジミが多産することが報告されている。本遺跡でヤマトシジミが主体として内湾性の貝類が多いのは、内湾奥部の河口付近で採取活動が行われていたと考えられ、周辺の環境をよく反映している結果と言える。

なお、本貝層では、2mm以下の区分でウネナシトマヤガイ、ヤマトシジミ、ヌマコダキガイの幼貝、ツブカワザンショウ？、カワザンショウガイの極めて微小な完形殻が検出されているが、これらを意図的に採取したとは考えられない。牛久市山王前遺跡の縄文時代早期後葉の灰覆土層にみられる貝層から焼けたカワザンショウガイの可能性のある破片が検出されている（獅子内・バリノ・サーヴェイ株式会社,2020）。なお、黒住（2010a,b）によると、縄文時代後期の美浦村陸平貝塚からカワザンショウガイ、クリイロカワザンショウ、ヨシダカワザンショウ？、キヌカツギハマシイノミ？、カワグチツボなどが検出され、これらが枯死したアシと共に持ち込まれて利用されたことを推定している。本遺跡でも黒住（2010a,b）が指摘するようにアシなどが持ち込まれていた可能性もある。ただし、本遺跡の場合、カワザンショウガイ以外にも、微小貝が検出されている点を考慮すると、枯死したアシの持ち込みの他、ヤマトシジミを採取する際、川底の土ごと採取し、遺跡内に持ち帰り、そこからヤマトシジミを抽出して残渣を廃棄した可能性もある。

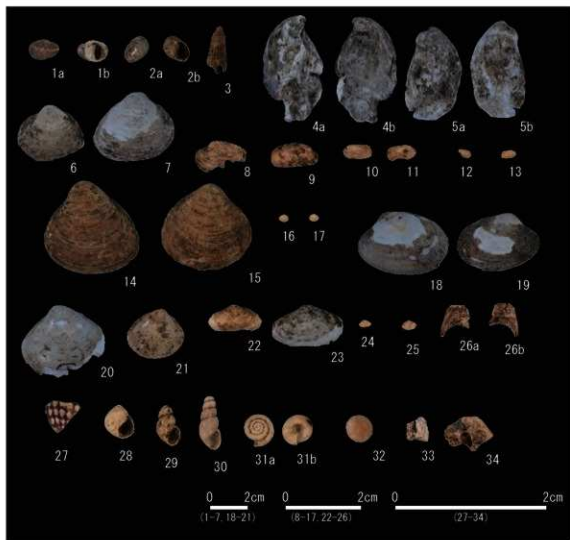
#### 引用文献

- 黒住耐二,2010a,陸平貝塚から得られた微小貝類遺体,陸平研究所叢書5,茨城県稲敷郡美浦村 陸平貝塚 -調査研究報告書4・1987年度確認調査の成果-,美浦村教育委員会,p.145-154.
- 黒住耐二,2010b,微小貝類遺体,陸平研究所叢書6,茨城県稲敷郡美浦村 陸平貝塚 -調査研究報告書5・2008年度確認調査の成果-,美浦村教育委員会,p.77-83.
- 奥谷喬司・窪寺恒己・黒住耐二・斎藤寛・佐々木猛智・土田英治・土屋英太郎・長谷川和範・濱谷敏・連水格・堀成夫・松原明彦,2000,日本近海産貝類図鑑,奥谷喬司編,東海大学出版会,1173p.
- 奥谷喬司編著,2004,改訂新版 世界文化生物大図鑑 貝類,株式会社世界文化社,399p.
- 小林園子,1999,科学分析-中佐倉貝塚出土の貝類について-,茨城県稲敷郡江戸崎町 秋平遺跡・池平遺跡・中佐倉貝塚-ザ・インベリアル・ゴルフクラブ建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-,江戸崎町佐倉地区遺跡発掘調査会,p.182.
- 獅子内一成・バリノ・サーヴェイ株式会社,2020,茨城県教育財団文化財調査報告第441集 小貝塚台遺跡・山王前遺跡 一般国道6号牛久土浦バイパス建設事業地内埋蔵文化財調査報告書,国土交通省関東地方整備局常総国道事務所・公益財団法人茨城県教育財団,218p.
- 寺門義範,1981,茨城県台門貝塚の採集遺物と周辺遺跡,千葉市加賀貝塚博物館,貝塚博物館紀要,7,p.21-32

表6 試料10kgあたりに含まれる最小個体数

| 種類              | 試料10kgあたりの<br>最小個体数 |               | 試料10kgあたりの<br>最小個体数 |               |
|-----------------|---------------------|---------------|---------------------|---------------|
|                 | 貝類土層<br>サンプル1       | 貝類土層<br>サンプル2 | 貝類土層<br>サンプル1       | 貝類土層<br>サンプル2 |
| アマガイ            |                     | 1             | 00                  | 006           |
| ヒロクチカノコ         |                     | 1             | 00                  | 006           |
| カワアイ            |                     | 2             | 00                  | 12            |
| ツブカワザンショウ       |                     | 2             | 00                  | 12            |
| カワザンショウガイ       |                     | 30            | 00                  | 121           |
| オキシジミ・ワザンガイ (?) | 1                   | 4             | 15                  | 30            |
| ヨシダガイ類          |                     | 5             | 00                  | 30            |
| ツボガイ・オキナ        |                     | 5             | 00                  | 18            |
| シオフキ            |                     | 2             | 00                  | 12            |
| ウネナシトマヤガイ       | 1                   | 12            | 15                  | 75            |
| ヤマトシジミ          | 200                 | 3303          | 3012                | 20449         |
| アサリ             | 2                   | 69            | 30                  | 417           |
| ハマグリ            |                     | 5             | 00                  | 30            |
| ヌマコダキガイ         |                     | 31            | 00                  | 187           |
| 分析量 (g)         | 67207               | 165412        |                     |               |

図版1 腹側網・二枚貝網・顎脚綱



- |                              |                              |
|------------------------------|------------------------------|
| 1. ヒロクチチノコ殻(貝層土壌2:4mm)       | 2. アマガイ殻(貝層土壌2:4mm)          |
| 3. カワアイ殻(貝層土壌2:4mm)          | 4. マガキ左殻(貝層土壌2:4mm)          |
| 5. マガキ右殻(貝層土壌2:4mm)          | 6. シオフキ左殻(貝層土壌2:4mm)         |
| 7. シオフキ右殻(貝層土壌2:4mm)         | 8. ウネナシトマヤガイ左殻(貝層土壌2:4mm)    |
| 9. ウネナシトマヤガイ右殻(貝層土壌2:4mm)    | 10. ウネナシトマヤガイ幼貝左殻(貝層土壌2:2mm) |
| 11. ウネナシトマヤガイ幼貝右殻(貝層土壌2:2mm) | 12. ウネナシトマヤガイ幼貝左殻(貝層土壌2:1mm) |
| 13. ウネナシトマヤガイ幼貝右殻(貝層土壌2:1mm) | 14. ヤマトシジミ左殻(貝層土壌2:4mm)      |
| 15. ヤマトシジミ右殻(貝層土壌2:4mm)      | 16. ヤマトシジミ幼貝左殻(貝層土壌1:1mm)    |
| 17. ヤマトシジミ幼貝右殻(貝層土壌1:1mm)    | 18. アサリ左殻(貝層土壌2:4mm)         |
| 19. アサリ右殻(貝層土壌2:4mm)         | 20. ハマグリ左殻(貝層土壌2:4mm)        |
| 21. ハマグリ右殻(貝層土壌2:4mm)        | 22. ヌマコダキガイ左殻(貝層土壌2:4mm)     |
| 23. ヌマコダキガイ右殻(貝層土壌2:4mm)     | 24. ヌマコダキガイ幼貝左殻(貝層土壌2:1mm)   |
| 25. ヌマコダキガイ幼貝右殻(貝層土壌2:1mm)   | 26. フジツボ類本体(貝層土壌サンプル2:4mm)   |
| 27. アマオブネガイ科?殻(貝層土壌2:1mm)    | 28. ツブカワザンショウ?殻(貝層土壌2:1mm)   |
| 29. カワザンショウガイ殻(貝層土壌2:1mm)    | 30. オカチョウジガイ殻(貝層土壌2:1mm)     |
| 31. コハクガイ科殻(貝層土壌2:1mm)       | 32. タイ科?歯(臼歯状)(貝層土壌2:1mm)    |
| 33. 脊椎動物門骨(貝層土壌2:1mm)        | 34. 脊椎動物門骨(貝層土壌2:1mm)        |

## 写 真 図 版



簗沼遺跡・簗場遺跡調査区全景（北西から）



PL1



第2号竖穴建物跡貝層出土状況(1)



第2号竖穴建物跡貝層出土状況(2)



第2号竖穴建物跡貝層出土状況(3)



第2号竖穴建物跡



第4号竖穴建物跡



第7号竖穴建物跡



第9号竖穴建物跡



第10号竖穴建物跡

PL2



第11号竖穴建物跡



第106号土坑



第1号不明遺構遺物出土状況



第3号竖穴建物跡



第3号竖穴建物跡



第6号竖穴建物跡竈遺物出土状況



第6号竖穴建物跡



第6号竖穴建物跡竈

PL3



第8号竖穴建物跡竈遺物出土状況



第8号竖穴建物跡



第8号竖穴建物跡竈



第12号竖穴建物跡



第1号火葬墓藏骨器出土状況



第1号溝跡



第85号土坑遺物出土状況

PL4



第4号溝跡



第1号井戸跡



第2号掘立柱建物跡



第4号掘立柱建物跡・第3号柱穴列



第3号溝跡



第1号ピット群・第4号柱穴列

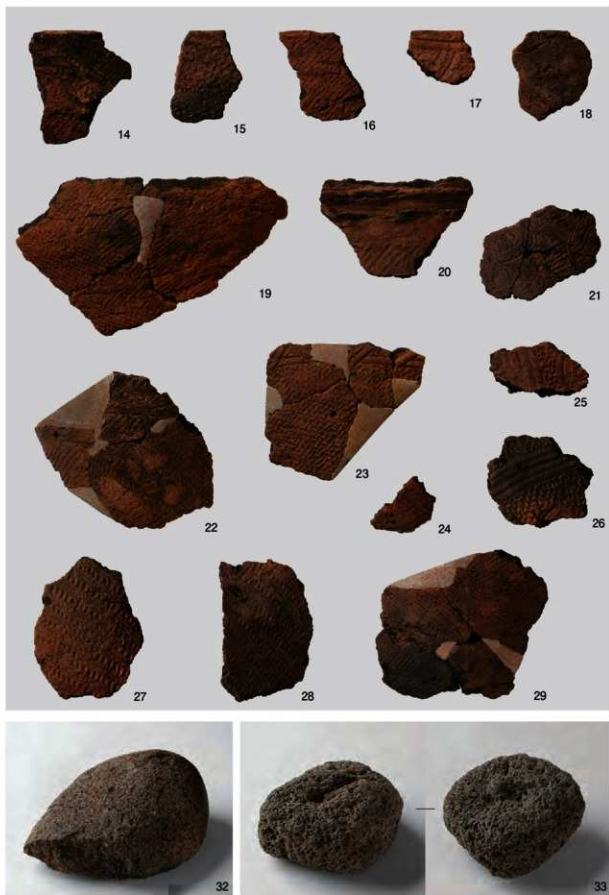


第5号柱穴列



第2号竖穴建物跡出土遺物(1)

PL6



第2号竖穴建物跡出土遺物(2)

PL7



第4・7・9・11号竪穴建物跡、第67・106号土坑、第1号不明遺構出土遺物

PL8



第1・3・6号竖穴建物跡出土遺物

PL9



SI 6-1



SI 6-2



第1号火葬墓-1



SK 85-1



SD 4-1



SD 4-2



SK 14-5



SK 31-1



SK 82-4



SK 76-3



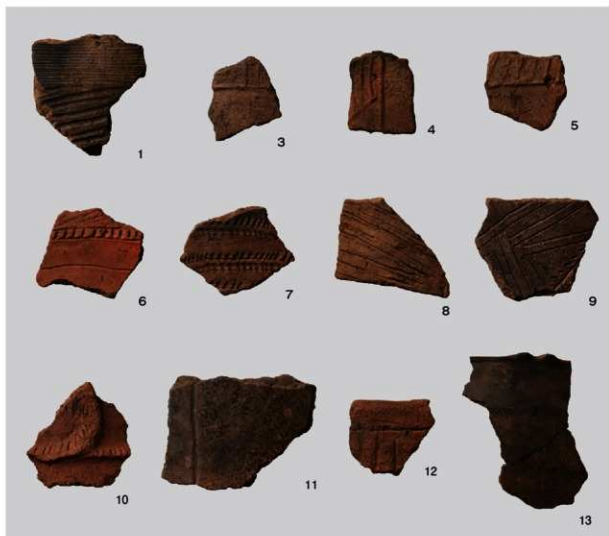
SK 101-2



SK 13-7

第6号竖穴建物跡、第1号火葬墓、第4号溝跡出土遺物、第13・14・31・76・82・85・101号土坑

PL10



遺構外出土遺物

製鉄関連遺物

製鉄関連遺物

PL11



第1号竪穴建物跡



第1号不明遺構遺物出土状況



第1号不明遺構



第1号溝跡



第1号柱穴列

PL12



第1号不明遺構、第1・2・7・10号土坑、遺構外出土遺物

## 抄 錄

[illegible]

## 印刷仕様

|          |          |                                                      |
|----------|----------|------------------------------------------------------|
| 編集       | OS       | Microsoft Windows 11 Pro                             |
| 編集       |          | Adobe InDesign 2025                                  |
| 図版作成     |          | Adobe Illustrator 2024                               |
| 写真調整     |          | Adobe Photoshop 2024                                 |
| Scanning |          | EPSON ES-G11000                                      |
| 使用Font   | OpenType | リュウミンPro L-KL、太ゴB101 Pro Bold<br>中ゴシックBBB Pro Medium |
| 写真       | 線数       | カラー210線以上                                            |
| 印刷       |          | 印刷所へは、Adobe InDesign 2025 でデータ入稿                     |

### 茨城県教育財団文化財調査報告第480集

#### 常総市

## 竜沼遺跡 竜場遺跡

### 県道取手豊岡線バイパス整備事業 地内埋蔵文化財調査報告書

令和7（2025）年 3月21日 発行

発行 公益財団法人茨城県教育財団  
〒310-0911 水戸市見和1丁目356番地の2  
茨城県水戸生涯学習センター分館内  
TEL 029-225-6587  
HP <https://www.ibaraki-maibun.org>

印刷 いばらき印刷株式会社  
〒319-1112 那珂郡東海村村松字平原3115-3  
TEL 029-282-0370